

第八十一回帝國議會
衆議院

日本證券取引所法案外四件委員會會議錄(速記)第五回

昭和十八年二月六日(土曜日)午後一時二十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 山本 厚三君

理事瀧澤 七郎君 理事古田喜三太君
理事山田 順策君 理事吉田敬太郎君

理事渡邊善十郎君

小笠原三九郎君

小山倉之助君

小谷 節夫君

篠原 陸朗君

鶴 惣市君

中井 一夫君

濱野 清吾君

廣野規矩太郎君

三木與吉郎君

渡邊 泰邦君

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 賀屋 興宣君

出席政府委員左ノ如シ

大藏省理財局長 田中 恒二君

大藏省銀行局長 山際 正道君

大藏書記官 阪田 泰二君

大藏書記官 松田 一隆君

大藏書記官 平田敬一郎君

大藏書記官 森永貞一郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
日本證券取引所法案(政府提出)(第三八號)
市街地信用組合法案(政府提出)(第三九號)

○山本委員長 是ヨリ開會致シマス——松田正一君

○松田(正)委員 昨日ノ委員會ニ於キマシテ他ノ委員ヨリ時間ヲ餘計取リマシテ洵ニ失禮致シマシタ、簡單ニ理財局長ニ御尋ネ致シテ置キタイト思ヒマス、此ノ日本證券取引所ガ出來ルト云フコトニナリマスルト、株式投資ノ魅力ト云フモノハ、ドノ點カラ眺メマシテモ幾ラカ殺ガレテ行クモノト言ハナケレバナラスノデアリマス、時節柄特ニ清算取引等ニ於テ賭博類似ノコトヲヤリ、株式取引所株ガ現株ノ三十數倍ノ値デ賣買出來ル、是ハ吉野商工大臣當時ニ商工大臣ニ質問シタコトガアツテ、時節ガ段々斯ウ云フコトニナツテ來ルノニ、ソシテ博奕ヲスルヤウナコトデハイカヌデハナイカト云フ質問ヲ致シタコトモアツタノデアリマシマス、清算取引ト云フモノハナクナリハシマセヌケレドモ、取引所株ノ如キモノハ自然上場サレナイヤウナコトニナツテ行クト、一般株式投資ノ資金ト云フモノハ、魅力ヲ段々失ツテ行キマスカラ幾ラカ餘ツテ來ルノデハナイカ、サウシマス、其ノ株式投

資ニ流シテ居ツタ資金ガ、他ノ方面ニ流レルヤウニナラナケレバ辻褄ガ合ハヌコトニナリマスガ、大藏省ノ方デハ、其ノ資金ガ何處ヘ流レテ行クト思ハレテ居リマスカ伺ヒタイ

○田中(豐)政府委員 證券取引所制度ヲ今回改革スルコトニ依ツテ株式投資ニ對スル妙味ト云フモノガ失ハレル、サウスルト今マデ株式ニ集ツテ居ツタ資金ガ何處ヘ行クカ、斯ウ云フ御質問デゴザイマシタガ、御話ノ如ク今回ノ取引所制度ノ改革ハ、過當投機ヲ排除スルト云フ所ニ相當ノ重點ヲ置イテ居リマス、隨ヒマシテ本改革案ガ實施セラレマシタ曉ニ於キマシテハ、株式ノ妙味ト云フモノガ從來ヨリハ少クナルコトハ是ハ改革ノ狙ヒデモアリ、當然ノコトダト思フノデアリマスガ、併シナガラ飽クマデモソレハ過當ナル投機ヲ排除スルト云フコトニアルノデアリマシテ、産業資金調達ノ手段トシテノ株式、之ニ必要ナル資金ガ集マルト云フコトハ絕對ニ今後ト雖モ必要ナノデアリマス、サウ云フ意味ニ於キマシテ國民大衆ガ株式ニ相當ノ投資ヲスルト云フコトハ、將來モ確保シテ參ラネバナラスコトデアリ、又サウ云フ意味ニ於テ運用ヲ致シタイト存ジテ居ル次第デアリマス、隨ヒマシテ御質問ノ今マデ株式ニ集マツテ居ツ

タ資金ガ何處ヘ行クカト云フコトニナリマス、株式ノ數量ハ今後ト雖モ別ニ變ル譯デハナイノデアリマシテ、唯御話ニナリマシタヤウナ當所株、斯ウ云ツタヤウナ投機株ニ向ツテ居ツタ金ガ外ヘ行クト云フコトニ相成ルト思フノデアリマス、サウ云フヤウナ過當投機ニ向ケラレテ居ツタ資金、ソレガ株式ノ方面ニ集マツテ居ツタノガイケナイ、之ヲ適當ナ方ニ流スト云フコトモ今回改革ノ一ツノ目的デゴザイマシテ、資金動員ヲ適正ニ致シマシテ資金ノ吸收策ヲ十分講ジマシテ、從來過當投機ニ流レテ居ツタ資金ト云フモノガ國債消化ナリ、其ノ他健全ナル産業資金消化ナリ、貯蓄ナリ、斯ウ云フ方向ニ向フコトヲ期待シテ居ル次第デアリマス

○松田(正)委員 御答辯洵ニ御尤モデ、私モサウ云フ風ニ殘ツタ資金ハ流レテ行クコトヲ希望致シテ居リマスガ、併シハハ枘デ量ツタヤウニ、物指デ計ツタヤウニ行クモノデハナイ、御承知ノ如ク時局柄甚ダ不謹慎トモ申サネバナリマセヌケレドモ、人間ニハ自然ノ慾望ト云フモノガアルノデゴザイマス、ソレデ金利其ノ他ノ方カラ考ヘテ行クトカ、色々ノ考ヘ方カラ今政府ガ期待ヲ致シテ居ル如ク、吾々モサウ考ヘテ居ルノデアリマスガ、實際ニハサウ云フ部分ガ

付託議案
日本證券取引所法案(政府提出)(第三八號)
市街地信用組合法案(政府提出)(第三九號)
外貨債處理法案(政府提出)(第四〇號)
爲替交易調整特別會計設置等爲替交易調整法案(政府提出)(第四一號)
特殊財産資金特別會計法案(政府提出)(第四二號)

ドレダケアルカト云フコトガ疑問デヤナイ
カト思フノデアリマス、唯株價ノ安定適正
ヲ圖ルト、斯ウ申サレマスケレドモ、株價
ノ安定適正ガ眞ニ決マツタト云フナラバ、
ソレハモウ動カヌ、時ニ依ツテハ動クト云
フコトガアレバ、ソレハヤハリ適正デヤナ
イノデアリマス、ソレデサウ云フ方面カラ
考ヘテ行クト、清算取引ニ付テハ中村君カ
ラモ色々御話ガアリマシタガ、清算取引ヲ
殘シテ置ク以上——株ノ高値、或ハ低値、
此ノ高低ノ動キト云フコトハ絕對ニ止メ
ル譯ニハ參リマセヌガ、清算取引ヲ殘シ
テ置キマス、ヤハリ從前ノヤウニ人工
的ニ株價ヲ上ゲタリ、下ゲタリスル行爲
ガ絕對的ニ行ヘヌカト云フト、ヤハリ行ヘル
モノト見テ置カナイトイカヌト思ヒマス、
ソレカラ取引員ノ問題デスガ、取引員ト云
フモノハ適正價格デアラウガナカラウガ、
兎ニ角株價ガ上ツタリ下ツタリスレバソレ
デ手數料ガ取レルモノデアアル、デットシテ
置クト云フコトニナルト、其ノ動キガ少
イ、斯ウ云フコトニナツテ來レバ、其ノ資
金ハ大體實物ニ流レテ行クト云フコトニナ
リマセウガ、併シ實物ノ方ニ流レテ行ツテ
モ、實物ノ株數ハ決マツタモノデアアルカラ、
ソレ以上ノ資金ハ、ヤハリ何カ高利ニ廻ハ
スト云フヤウナ考ヘテ以テ、經濟界ヲ却テ
攪亂スルヤウナコトハナイノカト思ヒマス

ガ、其ノ點ニ付テ政府ハサウ云フ場合ニ對
スル何カ取締方法トカ、何カ他ノ法律ニ依
ツテ公債消化、貯蓄方面ニ廻ハスト云フ方
法ハ御考ヘニナツテ居ラヌモノデセウカ
○田中(豐)政府委員 御話ノヤウニ色々ト
今回改革ハ加ヘマシテモ、別ニ一定ノ値段
デ、公定ニ釘付ケニスル譯デハアリマセヌ

ノデ、色々ト利ヲ追ウテ株價ガ上リ下リス
ルト云フコトハ、改革後ニ於キマシテモア
リ得ルト思フノデアリマス、又はハ唯單ニ
利益ヲ追フ爲ニサウナルニアラズシテ、色
色經濟界ノ變動、其ノ他事情ノ變化ニ依リ
マシテ株價ガ相當ノ範圍ニ於テ上リ下リス
ルト云フコトハ、將來ト雖モ勿論絶無デハ
ナイト思フノデアリマス、併シナガラ今回
ノ改革ニ依リマシテ、色々トサウ云ツタヤ
ウナ要素ガ排除セラレ、或ハサウ云ツタヤ
ウナ値ヲ上ゲ下ゲスル不當買賣等ハ事前
ニ差止めガ出來ル、或ハ各方面ノ改革ヲ行
フ結果、暴騰、暴落ガ少クナルト云フコト
ハ確カニ言ヒ得ルノデアリマシテ、サウ云
ブヤウナ方向ニ此ノ改革ヲ先ヅ行ハントス
ルモノデアリマス、所デサウナツタ結果、
資金ガ何處ヘ行クカ、ソレニ付キマシテハ
抽象的ニハ先程申上ゲマシタ如ク、其ノ資
金ハ國債ノ消化ナリ其ノ他健全ナル産業投
資ナリ、サウ云フ方面ニ廻ルコトヲ期待シ
テ居ルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス

ガ、併シナガラソレハ唯抽象的ニハサウデ
アツテモ、實際ハサウ樹計ツタヤウニ旨
ク行クモノデハナイ、是ハ洵ニ御尤モナ御
話デアリマシテ、何分資金ト云フモノガ特
殊ナ性格ヲ持チ、全體ノ國內資金ト云フモ
ノハ一體性ノモノデアリマス、何處ノ資金
ハ何處ヘ行ケトキチント樹計ツタヤウニ
規制ハ勿論致シ兼ネル譯デアリマスガ、全
體ト致シマシテ、一面ニ於キマシテハ色々
ナ資金ニ關スル統制、資金ノ使用ノ制限等
ヲ強化致シマシテ、統制的ナ方面カラ之ヲ
指導シテ行クノガ一ツ、更ニ貯蓄獎勵、其
ノ他ヲ強化致シマシテ、資金ノ蓄積ヲ圖ル
ト云フ方策ヲ更ニ徹底致シテ行フコトガ一

ツノ方策カト思フノデアリマス、尙又色々
ト利ヲ追ウテ好マシカラヌ方面ニ行クト云
フヤウナ御話モアツタ譯デアリマスガ、經
濟現象トシテ各種ノ投資物件ノ利廻リヲ平
均サセマシテ、國債、社債、株式ト云ツタ
ヤウナ利廻リノ平準化ト云フコトヲ各種ノ
政策上十分講ジマシテ、ソレハ必要ナ方
面ニ均衡ガ取レテ資金ガ流レルヤウナ方策
モ、併セテ行ハナケレバナラナイト考ヘテ
居ル次第デアリマス

○松田(正)委員 先ヅ其ノ方法デナケレバ
ナラナイカト思ヒマスガ、斯ウ云フコトハ
御氣付キニナリマセヌカ、モウ既ニ此ノ法
律ガ議會ニ提出サレルト云フノデ、議會ヲ
通過スルモノト見テシマツテ、昨年ノ下半
期カラ各地方ニ於テ實物投資ガ殖エテ居
ル、此ノ間大阪ヲ調ベテ參リマシタガ、大
阪ニ於テモ株ノ實物投資ガ餘程殖エテ居
ル、是ハ大分殖エテ居ル、隨分今マデ清算
デヤツテ居ツタモノガ、是ハモウ實物デヤ
レバ宜イト云フ傾向ニナツテ來テ居ル、是
ハ洵ニ好イコトナノデスガ、サウシマス
銀行ガ株擔保デ貸付スル利息ヲ、何カ水
準ヲ設ケテ置ク必要ガアルノデハナイカト
思ハレル、ソレデナケレバ、時ニ依ツテハ
一錢三厘デ借リテ居ル人モアルシ、安イモ
ノハ一錢一厘位デ割ツテ貰ツテ居ル者モア
ルヤウデアリマスカラ、サウスルト其ノ採
算ガ違ツテ來ル譯デアリマス、ダカラ苟モ
株擔保デ貸付スル場合ニハ是ダケノ利息
ト云フコトデ、成ベク何カ水準ヲ設ケテヤ
ルトカ何トカ云フヤウナ方針ガ執ラレナケ
レバ、株價ノ利廻ノ安定ト云フコトガ出來
ヌコトニナリマス、願クハ、株ヲ持ツタ
ラ、ソレヲ擔保ニ入レテ擔保ヲ入レテ借り

タ金ヲ以テ又株ヲ買フト云フヤウナコトハ、
成ベクセヌガ宜イノデスガ、ソレハ持ツテ
居ル資産デ利殖ノ途ヲ講ジテ生活ヲスルト
云フ者ハ勢ヒココヘ持ツテ來ルノデアリマ
ス、サウスルト利息ヲ水準ニシナケレバ株
ノ價格若シクハ利廻ト云フモノガ安定セヌ
ヤウニ思ヒマスガ、サウ云フ方面ニ付テハ
御考ヘニナツテ居リマセヌデセウカ

○田中(豐)政府委員 株式擔保ノ貸付ニ付
テノ金利ニ付テ特別ニ考慮ハナイカト云フ
御尋ネデゴザイマスガ、株式ノ買入ノ爲ノ
資金ノ利子ト云フコトナラバ、是亦一ツノ
特殊ナ資金ノ用途ト致シマシテ、考慮ノ餘
地ガアルカモ知レマセヌガ、一般ニ株式擔
保デアルトナリマス、擔保ハ株式デアツ
テモ、其ノ資金ノ用途ハ各方面色々アラウ
カト存ズルノデアリマスカラ、其ノ株式擔
保ノ貸付ノ利子ヲ特別ニ考慮ニ考ヘルト云フ
コトハ困難デハナカラウカト考ヘテ居ル次
第デアリマス、尙ホソレデハ株式ヲ買入レ
ル爲ノ資金、或ハ拂込ノ爲メノ資金ノ際ニ於
ケル金利ノ問題デゴザイマスガ、是ハ銀行
等資金運用令ニ依リマシテ、株式ヲ買入レ
ル爲メノ資金ノ貸出ト云フコトハ相當ノ制
限ヲ現在サレテ居ル實情デアリマス、拂込
資金ニ對シマシテハ相當豐富ニ供給致シマ
スガ、買入資金ハ從來ノ實績等ニ鑑ミマシ
テ相當制限セラレテ居ルヤウナ實情ニアリ
マス

○松田(正)委員 ソレハ宜シイノデス、一
定ノ株以上ノモノヲ抑ヘテ居ル、又拂込等
ニ付テハ相當餘裕ヲ持タセテ居ルコトハ分
ツテ居リマスガ、金利ノコトヲ聽イテ居リ
マス、其ノ點ニ付キマシテモ金利ハ一定シ
テ居ラヌ、今アナタノ御答ヘニナリマシタ

ヤウナ事情デアリマスケレドモ、金利ハ一定シテ居リマセスガ、ソレヲ一定サスコトハ、出来スカト申スノデス

○山際政府委員 有價證券、殊ニ株券ヲ擔保ニ貸出ヲ行ヒマス場合ニ、其ノ貸出ノ金利ヲ何カ統一スルヤウナコトヲ考ヘテハドウカト云フ御尋ネデアリマセスガ、御承知ノ如ク貸出ノ金利ハ單ニ擔保物件ノ如何ニ拘ラズ、其ノ借手ノ信用ノ状況、資金ノ使途、其ノ他各般ノ狀況ヲ綜合致シマシテ、具體的ニ其ノ取引ニ付テ決メテ參ルト云フノガ今ノ實情ニ相成ツテ居ルデアリマス、先程モ御話ガアリマシヤウニ、株式ノ買入、資金ノ貸出ニ付キマシテハ、特ニ銀行等資金運用令ニ依リマシテ比較的嚴格ナル許可主義ヲ執ツテ居ルデアリマス、株式ノ利廻採算トノ關係ニ於テ、劃一的ニ何カ基準ヲ設ケテ株式擔保ノ貸出ニ付テ規格ヲ定メルト云フコトハ、一般ノ貸出取引ノ實情ニ鑑ミマシテ、是ハドウモ一寸此ノ場合實現ガ困難デハナイカト考ヘルノデアリマス、寧ろ何カ特殊ノ狀況デモゴザイマスレバ、其ノ許可ノ際ニ適當ニソレヲ調整スルコトノ方ガ實際的デハナイカト考ヘテ居リマス

○松田(正)委員 サウ致シマスルトヤハリ是ハ大手筋ガ利益ヲ占メテシマフ、ソレガ私ハドウカ知ラント思フノデス、大手筋ハ安イ利息デ借入レル、ソレデ相當制限ハ付ケテ居リマスモノ、資本階級カラ言ヘバヤハリソレニ貸付スル許可ハ今マデ大體與ヘテ居ル、サウスルト金ヲ餘計持ツタ人ハ安イ金ヲ借リルガ、堅實ニヤツテ居ツテ餘リ資産ノナイ人ガ株式投資スル場合ハ、高イ日歩デ借リナケレバナラヌト云フコトニナル、此處ニ國家ノ何カノ發動ガナ

ケレバ、ヤハリ金持ハ金持デ段々金持ニナツテ行ク、終生貧乏人ハ貧乏デ暮サナケレバナラヌト云フヤウナコトニナル譯デアリマス、ソレモ併シ今的確ニト云ヘバ今言ハレル如ク難カシイデアリマスケレドモ、個々ノ場合デモ何カ一ツ考ヘテ戴イテ、出來ルダケ此ノ利息ヲ水準化セシメルト云フコトニ努力ヲ願ハナケレバ、ヤハリ株ノ方ノ上リ下リト云フモノガ自然ニ多ク起ツテ來ル譯デス、ソレデ銀行デ安ク金ヲ借りレバ、相當値ガ上ツテモ買ウテモ宜イ、ケレドモ銀行デ借ルノハ利息ガ高イ、而モ二錢トカ二錢二厘デ借リテ居ツタナラバ此ノ値デハ買ヘスト云フコトニナツテ、ソレデ實株ニ流レル、ソレナラ公債ニ流レルカト云フト、公債ハ三分六厘五毛、郵便貯蓄ハ二分七厘ダ、何カ他ニ此ノ資金ノ流シ方ガナイカト考ヘテ行ク、ヤハリ餘リ金持ノヤラヌコトデアリマスケレドモ、恩給擔保デ高利ニ貸シテ見タイトカ、法律ソレハ禁ジテハ居リマスケレドモ、之ヲヤツテ居ル、ソナヤウナコトニ流レルトカ、或ハ危險ナ貸付ヲシテ經濟界ヲ攪亂スルト云フヤウナコトガ自然ニ起ツテ來ル、ダカラソレハ今難カシイト申サレマスガ、一時ニ水準ヲ設ケルコトハ難カシイカモ知レマセスガ、一々許可スル場合ニハ相當サウ云フコトヲ加味シタル方針ヲ以テ許可ヲ與ヘラレントヲ希望致シテ置クノデアリマス

ソレカラ四十一條ニ「秩序ヲ保持スル爲必要アリト認ムルトキハ」ト書イデアリマスガ、是ハ民法ノ規定ニ於テ秩序ト云フコトデ判決ガ區々ニナツテ居リマス、是ガ非常ニ取引員ニ於テ心配スル所デ、秩序ト云フモノハ言ヒ方、考ヘ方ニ依ツテハドウデ

モ言ヘルノデス、コンナ曖昧ナ文字ヲ使ハレルコトハドウカト思フ、ナゼカト申シマスト、今マデノ株式取引ノ上ニ於テ言ヒマス、今ノ清算取引ニセヨ實物取引ニセヨ、商習慣ト云フモノガアル、其ノ商習慣ト云フモノガアツテモ是ハ秩序ヲ紊スモノデ、法律上保持出來ヌモノダト解釋サレルト、之ニ依ツテ失格スル者ガ澤山出來ルト思ヒマス、是等ノ點ニ付テ、此ノ秩序ト云フノハ例ヘバコンナモノデアツテ、斯ウ云フ方法デアルノダト云フコトヲ一ツ御示願ヒタインデゴザイマス

○田中(豐)政府委員 四十一條ニ、有價證券市場ノ秩序ヲ保持スル爲メ必要アル時ハ取引所ガ取引員ニ對シマシテ制裁ヲ行ヒ得ルト云フ規定ヲ設ケテ居ルデアリマスガ、其ノ秩序ノコトニ關シテ内容ガ曖昧デハナイカ、取引員トシテ不安ガアリハシナイカト云フ御質問デゴザイマスガ、何分ニモ取引所ノ取引ハ、私カラ申上ゲルマデモナク、集團のナモノヲ確實ニ迅速ニ整理シテ行カナケレバナラヌ譯デアリマスノデ、ココデ色々ナ約束ガアツテ、業務規程其ノ他ニ依ツテ色々規制セラレテ居ル所ガアリマシテ、ソレニ依ツテ大量ヲ取引ヲ迅速且ツ整然ト確實ニ取運シテ行ク極ク技術的ナモノデアリマス、其ノ爲ニドウシテモ之ニ一定ノ秩序ト云フモノヲ維持シナイト、取引ガ圓滿ニ行ハレナイト云フコトニ相成ルト思ヒマス、左様ナ趣旨カラ秩序ヲ保持スル爲ニ、必要アル場合ニ於テハ業務規程ノ定ムル所ニ依ツテ、色々取引員ニ對スル制裁ヲ規定シテ居ルデアリマスガ、此ノ規定竝ニ此ノ言葉ハ現在ノ取引所法ニモ此ノ通りニアルノデアリマシテ、大體ニ於キマ

シテ其ノ内容トスル所ハ、例ヘバ亂手ヲ振ルトカ、或ハ不穩ナ行動ヲ行フトカ、或ハ取引所ノ指示シテ指示ニ從ハナイデ勝手ナ行動ヲスルト云フヤウナコトガ豫想セラレテ居ルノデアリマスガ、現行法ニ於キマシテモ、此ノ儘ノ言葉デ支障ナク運行ヲ續ケテ居ル狀態デアリマス

○松田(正)委員 先程モ申シマシタ如ク、此ノ判決例ガ區々ニナツテ居ル、現行ノ法律、民法ニモアリマスガ、區々ニナツテ居ル、所デ是ハ日本證券取引所トナツテカラノ此ノ考ヘト、今ノ取引所當時ノ考ヘト、財界カラ見たナラバ一樣ニハシテ居ラス、由來政府ハ法律ヲ制定スル場合ニ斯ウダ、實施スル場合ニハ斯ウダト云フコトハ答辯モ致シテ居ルシ、法律ノ解釋ニ付テハ雙方ノ間ニ意見ノ一致點ヲ見出スコトニナツテ居リマスケレドモ、情實施シテ見ルト云フト、其ノ解釋ハ自由勝手ニ政府デヤツテ居ル、ソレデ此ノ法律ヲ作ルノ立法ノ精神ガ斯ウデアルト云ウテ其ノ速記録ガアルニ拘ラズ、ソレニ關シテ隨分異ツタ扱ヒヲシテ居ル事例ニ乏シクナイノデアリマス、サウ云フ所カラ見マスルト、今日マデ是ガアツタカラ將來モ置イテ置ク、詰リ今日マデ何カ知ラヌケレドモアツタ、ダカラ今度モ何カ知ラヌケレドモ斯ウシテ置クノダト云フダケデハ、吾々トシテモ不安デアリシ、況ンヤ取引員ハ、極メテ強權ニ出テ來ル法律ノ所謂秩序ト云フモノト、今マデノ所謂取引所ノ此ノ秩序ト云フモノトノ解釋ヲ一樣ニ致シテ居リマセス、ソレデ直グニ停止シテシマフトカ、直グニ過急金ヲ命ズルト云フヤウナコトデハ、取引員ト云フモノハ不安デハナイカ、ケレドモソコマデ御研究ニナ

ツテ居ルナラバ、例へばコンナコトヲト云フ一ツノ例デモ擧ゲテ戴キマス、ソレヲ水準ニシテ解釋が出来ルノデハナイカト思ヒマス、只今手ヲ振ルトカ何トカ云フヤウナコトヲ單純ニ申サレマシタケレドモ、將來ソナコトデナク、何カモウ少シ意味ノアル、斯ウ云フ秩序ヲ保持スルト云フコトニビツタリト來ル例ヲ一ツデモ宜シイカラ擧ゲテ戴イテ、ソレヲ水準ニシタイ

○田中(豐)政府委員 唯從來アツタカラ置イタト云フノデハナイノデアリマシテ、言葉ハ從來ノ用例ニ倣ツテ居リマスガ、取引所ノ取引ハ先程申上ゲタヤウナ特殊ナ取引デアツテ、此處ニ多數ノ人が集ツテ取引ヲスル爲ニハ、ドウシテモ一定ノ秩序約束ノ下ニ行ハレナケレバナライ、其ノ秩序ヲ維持スルコトハ取引所取引ニ於キマシテモ最モ必要ナコトデアリマスノデ、斯ウ云フ規定ヲ設ケタ次第デアリマス、此ノ内容ト致シマシテハ「秩序ヲ保持スル爲ニ必要アリト認ムル」ト云フコトヲ取引所ガ勝手ニ解釋致スノデハナイノデアリマシテ、其ノ斯ウ云フ場合ト云フコトハ全部業務規程ニ詳細ニ定メマシテ、此ノ規程ニ該當シタ際ニ取引ノ差止、營業ノ停止又ハ過急金ヲ課スル、斯ウ云フコトニ相違ル譯デアリマス、然ラバ其ノ業務規程ニ定ムル所ハドウ云フコトカト云フコトデアリマスガ、之ヲ

一(二)例示致シマスレバ、例へば取引員ガ違約處分ニ附セラレタル時、或ハ不正、不穩當ノ行爲ヲシタ時、或ハ取引員ガ取引所ニ納入シタ小切手ガ不渡トナツタ場合、或ハ取引員ガ納メタ營業保證金トカ、賣買證據金等ガ差押ヘテ受ケタ場合、或ハ又市場ニ於テ先程申シマシタヤウナ約束ニ背イタ手

ノ振リ方ヲスル——亂手ヲ振ルト言ヒマシガ、サウ云フコトヲスル、或ハ取引所ノ指示ニ從ハナカツタ場合、サウ云ツタヤウナコトヲ細カク規定致シマシテ、ソレニ觸レタ場合ニ取引所ガ制裁ヲスルト云フコトニ相成ル譯デアリマス

○松田(正)委員 ソレデ大體要領ヲ得マシタ、ソコデ斯ウ云フコトハ入リマスカ、現物ヲ買ツテ、取引ハ例へば十日間ナラ十日間ト云フコト決メタ、サウ云フ時ニ株ハ取引員ノ手ニアル、ケレドモソレハ銀行ニ入ツテ居ル、所ガ其ノ十日ノ間ニ株價ノ狂ヒガアツテ、擔保物ノ價格ガ下落シタ、ソレデ十日間ノ期日ニ渡ス爲メ銀行カラ出サウト思ツテモ出シテ呉レナイノタト云フヤウナ事例ハ今日マデ往々アリマスガ、斯ウ云フモノハヤハリ秩序ヲ維持スル上カラ云ツテ之ニ入リマスカ、ドウデスカ

○田中(豐)政府委員 御擧ゲニナリマシタヤウナ例ニ於キマシテ、株價ノ變動ガアツタ爲ニ結局約束シタ受渡シガ不履行ニナル、擔保物ニ入レタ爲ニ銀行カラソレヲ持ツテ來ルコトガ出來ナクテ、相手方ニ其ノ株式ヲ渡スコトガ出來ナクナツタ、斯ウ云フ状態ニナリマスレバ、是ハ違約ニナリマシテ、取引所ニ於ケル取引ノ履行ヲセザル者デアリマスノデ、此ノ條項ニ該當致スト考ヘテ居リマス

○松田(正)委員 斯ウ云フ行爲ハドウデスカ、株式ノ取引員、店員デスカ、甲ノ室デモ同ジ株ニ付テ買手ガアルト、其ノ株ガ斯ウ云フ譯デ註文モ餘計アルシ、資材モ大變整ツテ居ル、將來發展性ノアル株ダ、斯ウ云フヤウニ買手ニ話シテ居ル、所ガ一方乙ノ室デハ賣手ニ向ツテ、無論是ハ註文ヲ受

ケテ居ルケレドモ資材ガ整ハヌシ、ドウモ今期ノ配當ハ從來通りノ配當ガ維持出來ルカドウカ分ラヌト云フヤウニ、マルツキリ違ツタヤウナコトヲ言ツテ賣買ノ斡旋ヲナスヤウナ行爲ガ往々ニシテ行ハレタノデアリマス、コンナコトハドウ云フコトニナリマスカ、是ガハツキリ分ツタ場合デスカ

○田中(豐)政府委員 御話ノヤウナコトガ、例へば市場外ニ於テ行ハレマシテ、或ル者ニハ同ジ株ヲ非常ニ優良ナ株デアルカラ買ヘト言ヒ、同ジ取引員又ハ其ノ使用人ガ、他ノ者ニハ是非非常ニ惡イ株デアルカラ賣レト獎メテ、客ノ判斷ヲ誤ラシメ、市場ノ取引ニ之ヲ誘ヒ入レ、其ノ證據金其ノ他ノ手數料等ノ利益ヲ受ケタ、斯ウ云フヤウナ行爲ヲ致シタ場合ヲ想像致シマス、是ハ「市場ノ秩序ヲ保持スル爲」ト云フコトニハ該當致サナイト思フノデアリマス、併シナガラサウ云フコトガハツキリ分リマスレバ、取引員ノ行爲ガ不穩當ナ事ヲナス譯デアリマスカラ、取引所ト致シマシテハ一般的ニ取引員ヲ監督スル權限ヲ持ツ譯デアリマスノデ、注意ヲスルトカ、指示ヲ與ヘルトカ云フコトガ可能ダト考ヘテ居リマス

○松田(正)委員 色々サウ云フ策ガ行ハレテ、農民ガコツ／＼ト働イテ溜メタ金ヲ吸收スル爲ニ、高イ株ヲ賣メテ賣付ケル、賣ツテシマツテカラ數日經チマス、東京ノ丸ノ内ニ地方ノ株ガ大體集マルトスルト、其ノ株ノ値ガ又下ルト云フヤウナコトモ今マデ行ハレタ、是ハ眞面目ナ資金ヲ持ツテ居ル者ニ對シテ意外ナ損害ヲ及ボスコトガ隨分アルノデアリマス、將來サウ云フ點ニ付テハ十分指示スルトカ注意スルトカ云フコトニ依ツテ、サウ云フコトガナイヤウニ

御監督ヲ願ヒタイ、同時ニ所謂吞デアリマス、恐ラク中央地方ヲ通ジマシテ隨分是ハアツタデアラウト思ヒマス、今此ノ日本證券取引所法案ガ通過スルコトニ依ツテ、吞行爲ハ絕對ニナクナルト思ハレマスカ、一寸先ニ是ダケ伺ヒマス

○田中(豐)政府委員 事實上絕對ニナクスルコトハ中々困難ナ場合モアラウト存ジマス

○松田(正)委員 ソコガ政府ノ思ウテ居ルヤウニ資金ガ流レテ行カヌト云フコトニナル、一寸司法次官ガ來タラ其ノ點ヲ聽イテ見タイト思フノデスカ、是ガ非常ニ流動資金ト申シマスカ、詰リ懷中ニ資金ヲ蓄ヘテ居ル一ツノ原因ニナル、是ハ博奕デスカ、大藏省ノ方デハ餘リ御承知デハナイデセウガ、同向院デ相撲ヲヤツテ居ルト、ソレヲ「ラデオ」デ放送スル、全國デ此ノ國技館ノ相撲ノ勝負ケニ金ヲ賭ケテ博奕ヲシテ居ルノガドレ位アルト思ヒマスカ、是ハ御承知デアリマス、吾々ミタイナ下層階級ノ者デナケレバ分ラナイト思ヒマス(笑聲)ワザワザ東京ヘ出テ來テ旅館ニ泊ツテ居ツテ、手帳デ以テ「ラデオ」ノ放送ニ依ツテ取引ヲシテ居ル、詰リ博奕デスカ、ソレト同様ニ株ノ清算取引ガ行ハレ、ヤハリ斯ウシタ上リ下リガアルトスレバ、空株ノ取引、進ンデ吞行爲、是ハ今マデヨリモ殖エテ來マス、ト云フノハ資金ガ遊ンデ來マスカラ、表面ダツテヤルノニハ魅力ガナイ、是デヤレバ税金モ何モ要ラナイ、一万圓デモ持ツテ行ケル、税金モ要ラナケレバ公債ヲ買フ必要モナシ、貯蓄ヲスル必要モナシ、儲ケレバ儲ケタダケ懷ロニ入レラレル、資金ガ餘ツテ來ルト斯ウ云フヤウナコトガ盛ンニ

ナツテ來ルノデハナイカト思ヒマスガ、サ
ウ云フヤウナコトハ此ノ法律ヲ御作リニナ
ル時ニ恐ラク御考ヘデハナカツタカト思ヒ
マス、實際之ヲヤツテ御覽ナサイ、キツト
殖エテ來ル、此ノ取締ニ付テハ司法省デア
リマスガ、大藏省ヘドシテ取締ヲシテ行ク
カト云フコトヲ一ツ御示シテ願ヒタイ

○田中(豐)政府委員 先程御答辯申上ゲタ
ノハ、私少シ誤解致シテ居ツタヤウデアリ
マシテ、取引員ガ客ノ委託ヲ受ケテ之ヲ市
場ニ取次ガナイデ、即チ賣付ケ、買付ケ等
ヲナサズシテ之ト同様ノ效果ヲ持ツ所謂吞
行爲、斯ウ云フモノハ將來ドウナルカ、是
ハ禁止ハ致シテ居リマスケレドモ、例ヘバ
泥棒ヲ禁ジテモ惡イ奴ハ絶エナイヤウニ、
根絶スルト云フコトハ困難ダ、斯様ニ申上
ゲタ譯デアリマスガ、場外ニ於キマシテ御
話ノヤウニ取引所ノ相場ニ依リ色々ノ博奕
ヲヤル、是ハ場外ノ取引トシテ從來ト雖モ
嚴重ニ禁止セラレ、又取締モ嚴重ニ行ハレ
テ居ツタ所デアリマシテ、此ノ改正ニ當リ
マシテモ同様ニ之ヲ禁止、又ハ取締リ、罰
則等ヲ設ケテ居リマスガ、之ニ付キマシテ
モ、幾ラ取締ヲ致シマシテモ、サウ云フ賭
博ノ絶エナイト云フコトハ、是モアリ得ル
コトト思フノデアリマス、唯吾々當局者ト
致シマシテハ、場外ニ於ケル斯カル賭博行
爲ノ取締ト云フコトヲ益、強化致シマシテ、
サウ云フコトノ成ベクナクナルヤウニ、根
絶スルヤウニ努力致スト云フコトヲ申上ゲ
ルヨリ外ナイト存ジマス

マスカラ餘程嚴重ニ御取締ニナラヌト資金
ガ此ノ方ニ流レルノデアリマス、銀行預金
ガ少クナリ、懷ロニアル詰リ博奕ノ資金、
ソレガ吸収出來スコトニナリマス、ソレカ
ラモウ一ツ承ツテ置キタイノハ實株ニ付テ
ノ相續稅デアリマスガ、今マデヤツテ居ル
ノハ死シテ相續ヲ開始シタ時ノ實株ノ相場
ヲ基準ニシテト云フヤウナコトニナツテ居
ツタト思ヒマス、所デ今度ノ取引所ガ出來
テカラ何カ方法ガ變ルヤウナコトハナイノ
カ、餘計ニ株ヲ持ツテ居ル人ニ對シテハ、今
日マデモ多少有利ナ相續稅ヲ課ス、比較
的少イ株ヲ持ツタ者ニ對シテハ嚴重ニヤル
ト云フヤウナ苛斂誅求ガ行ハレタ實例ガア
ルノデアリマスルガ、將來是等ニ對スル算
定方法ハドウ云フ風ニシテ行クカト云フコ
トヲ伺ヒタイト思ヒマス

○田中(豐)政府委員 相續稅ニ付キマシテ
ハ相續開始ノ時ノ時價ニ依ルト云フコトニ
稅法ガナツテ居リマス、隨ヒマシテ取引所
ノ相場アル株等ニ付キマシテハ、此ノ取引
所相場ニ依ツテ相續稅ノ課稅標準額ガ算定
サレルコトハ御話ノ通りデアリマスガ、此
ノ證券取引所法ガ出來マシテモ、其ノ點ニ
於キマシテハ從來ト何等差異ナキモノト考
ヘテ居リマス

○松田(正)委員 司法省ノ政府委員ノ御都
合ハ何時頃ニナリマスカ

○山本委員長 一寸ソレハマダ分リマセヌ

○松田(正)委員 サウスルト私ノ質問ノ時
間モ分ラヌト云フコトニナリマスガ、司法省
ニ對シテハ又他ノ機會ニ御質問スルコトニ
シテ、大藏省ニ對スル質問ハ是デ打切ツテ
置キマス

○山本委員長 瀧澤サン、市街地信用組合

ノ質問ヲヤリマスカ

○瀧澤委員 是ハ一寸御伺ヒシテ置ケバ宜
イノデス、昨日大體山田サンガ御聽キ下
スツタコトヲ質問スルノデスガ、市街地ノ
購買組合即チ消費組合、是ハ自然消滅ニナ
ツテ參ルノデアリマスカ

○山際政府委員 市街地ノ消費組合等ハ、
産業組合法ニ依ツテ現在出來テ居ル譯デア
リマスルガ、此ノ部分ハ農業團體ノ今回ノ
法律及ビ市街地信用組合ノ今回ノ法律カラ
外レマシテ、暫ク其ノ儘殘ルコトニ法律關
係ハナリマス

○瀧澤委員 デハ將來ハ自滅ト云フ形デア
リマスカ

○山際政府委員 今回ノ措置ガ農業團體ト
言ヒ、又市街地組合ノ方面ト言ヒ、今マデ形
式ニ産業組合法ト云フモノノ中ニ種々雜多
ナ内容ノモノガ包括サレテ居リマシタモノ、ソ
レゾレ其ノ内容ニ從ツテ其ノ主務的地位ヲ違
ハセテ行カウト云フノガ今回ノ措置デアリ
マシテ、只今御話ノ消費組合ニ關スル分ハ
殘リマスガ、同ジヤウナ趣旨デソレ等ノモ
ノヲヤハリ整ツタ形ニ於テ將來ハ系統付ケ
テ行カネバナラヌモノト考ヘテ居リマス

○瀧澤委員 次ニ此ノ市街地信用組合ハ所
得稅、法人稅、營業稅ヲ課セナイト出テ居
リマスガ、産業組合法ノ方デハ地方稅ヲ含
メルヤウニナツテ居リマスガ、コチラノ方
デハ地方稅ハドウ云フ風ニナリマスカ

○阪田政府委員 今御話ノヤウニ、從來ノ
産業組合法ニ於キマシテハ、産業組合ノ事
業ニ對シテハ地方稅ヲ課セナイト云フコト
ガハツキリ書イテアツタノデアリマスガ、
今回ノ市街地信用組合法案ヲ考ヘマスルニ
當ツテハ其ノ點モ研究致シテ見タノデアリマ

スガ、其ノ後色々稅法等ノ變化ガアリマシ
テ、市街地信用組合ニ付キマシテハ、現在
ノ稅法ノ下ニ於キマシテハ、特ニ左様ナ規
定ヲ設ケナクテモ地方稅ガ課セラレナイ、
斯ウ云フ風ヲ解釋ニナリマシテ、今回ハ特
ニ規定ヲ入レナカツタノデアリマス、ソレ
デハ分ケテ考ヘテ見ルト分ルノデアリマ
スガ、地方稅ヲ課セラレルト云フ場合ハ國
稅ノ附加稅、或ハ地方稅ノ附加稅、或ハ府
縣市町村ノ獨立稅ヲ課セラレル、斯ウ云フ
ヤウナ色々ナ場合ガアルト思フノデアリマ
スガ、國稅ノ附加稅ニ付キマシテハ、國稅
ガ免稅トナツテ居ル關係上、問題ガナイ譯
デアリマス、府縣稅ニ付キマシテハ、府縣
稅ヲ課スベキ費目ハハツキリト稅法ニ定マ
ツテ居リマシテ、特ニ市街地信用組合ノ事
業ニ課シ得ルヤウナ稅目ハ現在ナイ譯デア
リマス、ソレカラ市町村獨立稅ニ付キマシ
テハ、是ハ認可ヲ受ケマスレバ、新シイ稅
目ヲ起スコトガ一應出來ルヤウニナツテ居
リマスカラ、内務省ノ方ニ於キマシテモ、
市街地信用組合ノ事業ニ對シテサウ云フ風
ナ稅金ハ課ケナイ、斯ウ云フヤウナ方針ト
大體諒解致シテ居リマス、此ノ方面カラモ
地方稅ヲ課セラレル餘地ガナイコトニナツ
テ居リマス、結局餘リ必要ノナイ場合ニ、
強ヒテ課ケテ行ク必要ハナイデヤナイカ、
斯ウ云フコトカラ今回ハ抜イタ譯デ、實質
上從來ト何等變リハナイノデアリマス

○瀧澤委員 只今ノ御話デ分リマシタガ、
例ヘバ獨立稅ノ市民稅ノ如キハ、ソレガ除
カレルヤウニハツキリ御交渉ガ付イテ居ル
ノデアリマセウカ

○山際政府委員 御話ノ點ハ、實ハ從來課
ケラレテ居ツタノデゴザイマスガ、現在ノ

所ニ於キマシテハ、其ノ税ハヤハリ從前通りニ扱ツテ貫ヒタイト云フコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ此ノ儘デ行キマスレバ、ヤハリ從前通り課セラレルト云フコトニナリマス

○瀧澤委員 サウスルト今アルモノハ課セラレラレタ、將來サウ云フ獨立税ガ制定サレル時ニハ、ソレハ課カラナイヤウニシタ、獨立税ガ二ツニナルノデスカ

○山際政府委員 今後ト雖モ市街地信用組合ノ事業ニ關スル税ト致シテハ、是ハ課税シナイコトニ打合セ致シテ居リマス、其ノ他ノ事業以外ノ方面ニ於キマシテ、人頭税のニ何カ地方ノ賦課金ヲ受ケルヤウナ場合、是ハ今後絕對課ケナイト云フ話合ニハマダナツテ居リマセス

○瀧澤委員 事業ニ課ケナイト云フコトハハツキリシテ居ルト云フ御話デアリマスガ、是ハ今マデノ斯ウ云フ商組ガ出來ル時ニ於テ、總テノ國稅ヲ免稅スルト云フコト同ジ御取扱ヒニシテ戴キタイト云フコトヲ御願ヒ致シテ置キマス、次ニ役員ノコトデアリマスガ、今度ハ役員ハ總會ノ決議デ組合員デナクトモ役員ニ選定サレルコトガ出來ルヤウニナツテ居ル譯デアリマス、今マデト違ツテ組合員以外デモ誰デモ選任シテ宜イト云フヤウナ事柄ハ、ドウ云フヤウナ御趣旨デナサレマシタカ

○山際政府委員 市街地信用組合ノ事業ヲ益、堅實ニ發達サシテ參リマスル爲ニハ、其ノ役員ニ極メテ適當ナ人ヲ迎ヘネバナラヌコトハ當然ナコトデアリマス、隨ヒマシテ其ノ選擇ノ範圍ヲ成ベク廣ク致シマシテ、必ズシモ組合員デナクトモ、有能ナ人ガアルナラバソレヲ役員ニ迎ヘテ差支ヘナイデ

ハナイカ、恰モ現在ノ商法ニ於キマシテ、有能ナル人ガアルナラバ、必ズシモ株主タルコトヲ要シナイデハナイカト云フノト同ジ趣旨ニ於テ行ハレテ居ルノデアリマス、例ヘバ組合ガ地區ヲ限ツテ組合員ヲ資格付ケテ居ルヤウナ場合ニ、他地域カラ通勤ノ出來ルヤウナ人デ有能ナル人ガアリマシタナラバ、役員ニナツテ差支ヘナイデハナイカ、或ハ職域ニ付テ組合ガ出來ルヤウナ場合ニモ、假令其ノ職域ニ入ツテ居ナイ人デモ偶、有能ナ人デアツタナラバ、其ノ人ニ役員ニナル途ヲ開イテ置イテモ宜イデハナイカ、斯様ナ趣旨カラ成ベク組合ニ都合ノ好イヤウニト云フ趣旨デ設ケル次第デゴザイマス

○瀧澤委員 只今ノ御説明デハ御尤モダト思ヒマスガ、唯私共ガ考ヘルト、何處カラ持ツテ來デモ宜イト云フコトニナルト、總會ノ決議ハアツテモ認可ニナツテ居ルノデスカラ、他ノ會社、營團其ノ他デモ常ニ言ハレテ居ルヤウニ、占イ役人ノ姥捨山ニデモナリハセスカト云フ風ノ危惧ノ念ヲ抱イテ居ル者モアル譯デス、只今ノ御説明ノヤウナラバ、御尤モデアリマスケレドモ、御説明ト實際トハ相當違ツテ居ルノガアルノデス、併シ之ヲドウスルスト云フコトハ今日出來ナイト思ツテ居リマスケレドモ、此ノ點ハ十分認可ガサウ云フ弊ニ陥ラナイヤウニ御取締、御監督ラシテ戴キタイト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○山際政府委員 此ノ規定ヲ設ケマシテ趣旨ハ前段御説明致シマシタ通りデ、御指摘ノヤウナ事例ハ全ク考ヘテ居ラス事柄デゴザイマス、或ハ組合員タル資格ヲ得ルコトハ比較的容易デアルカラ、必ズシモ此ノ規定ガ要ラスデハナイカト云フヤウナ事情モ

ナルカト思ヒマスルケレドモ、實質ニ立入リマスレバ、何モサウ窮屈ニスルニモ及バナイダラウ、寧ロ斯カル規定ガアツタ方ガ更ニ組合ノ發達ヲ期スル所以デアラウ、全ク其ノ心組ミカラ設ケテ規定デゴザイマス、尙ホ將來ノ運用ニ當リマシテハ、其ノ點ニ關シテ聊カモ、疑惑ヲ招クコトガゴザイマセヌヤウニ、十分取扱ヒニ注意スル考ヘデゴザイマス

○瀧澤委員 明快ナ御答辯デ信用組合ノ人達ハ安心スルコト存ジマス、ソレカラモウ一ツ御伺ヒ致シタイノデスガ、東京市内ニハ特別ナル市ノ保障ヲ持ツテ居ル商工信用組合ト云フモノガアリマス、是等ハ將來ドウ云フ御取扱ヒナリマスカ

○阪田政府委員 東京市内ノ商工信用組合ハ、慥カ大震災後商工業者ノ復興ト云フヤウナ意味合ヲ以テ設立セラレタモノト承知シテ居リマスガ、其ノ後實際ノ發達ノ狀況ハ極メテ區々ニナツテ居リマシテ、非常ニ成績ヲ擧ゲテ居ルモノモアリマスルガ、割リニ進展シテ居ナイノモアル、ソレデ其ノ組合ノ實質ニ至リマシテハ、現在ハ最初設立シテ趣旨カラ大分離レテ、普通一般ノ市街地信用組合、準市街地信用組合等ト同一ニ考ヘテモ宜イヤウナ狀態ニナツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ風ニ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、サウ云フ意味合デ今後商工信用組合ヲドウスルカ、東京市内全般ノ市街地信用組合、準市街地信用組合、是ガ相當複雜シタ相互關係ニナツテ居リマスコトハ御承知ノ通りデゴザイマスガ、サウ云フモノヲドウ云フ風ニ持ツテ行カ、斯ウ云フコトヲ考ヘル上ニ綜合的ニ全體ヲ洞察スル、唯商工信用組合ノミヲドウスルト云フコトデナ

ク考ヘテ行キタイ、根本的ニハサウ云フ風ナ方針デ居リマス譯デゴザイマス

○瀧澤委員 サウスルト今ノ商工組合ガ特殊ノ商工組合デアルト云フコトハ御認メニナル、更ニソレガ普通ノ市街地信用組合ト同ジヤウナ意味ニ段々ナツテ來テ居ルカラ、將來ハ又改メテ考ヘテ見ヨウト云フ譯デゴザイマスカ

○阪田政府委員 御説ノ通りデゴザイマス

○瀧澤委員 アレハ實際特殊ナ存在デアル爲ニ、只今御話ノ通りニ非常ニ成績ヲ擧ゲテ居ル所モアルシ、擧ゲテ居ナイ所モアルト云フ御説明デアリマシテ、ソレ等モ承知致シテ居リマスガ、私ノ見ル所デハアレハ特殊ノ存在デアルカラア云フモノヲ唯ヤラセルト云フコトデナク、特殊ニアレヲ一ツ御纏メニナツテ經營サセルヤウナ御考ヘヲ持ツテ居ラウシヤラナイデセウカ

○山際政府委員 御指摘ノ商工信用組合ノ點ニ付キマシテハ、段々御話ノ通り極メテ特殊ノ沿革ヲ持チ、特殊ノ事情ノ下ニアルモノデアリマス、將來是等ノ件ニ關スル事項ヲ取扱ヒマスニ付キマシテモ、能ク其ノ沿革等ニ鑑ミマシテ、篤ト考究致シタイト思ツテ居ル次第デアリマス

○瀧澤委員 大體昨日山田サンガ私ノ市街地信用組合ニ關シテ聽カント欲スル所ハ御聽キニナツタト思ヒマスガ、尙ホ念ノ爲ニ一ツ御伺ヒ致シテ置キマス、市街地信用組合モ將來段々整備サレテ參ルト思ヒマス、サウ云フ場合ニ、或ル場合ニハ區ヲ單位トスルトカ、或ハ其ノ地方ヲ「ブロック」制ニスルトカ云フヤウナコトガ、自然起キテ來ハシナイカト思フノデアリマス、サウ云フヤウナ場合ニハ組合員ノ資格ガ其ノ地區内ニ限

定サレト云フヤウナコトガアツテハ非常ニ困ルカラト云フコトデ、昨日御質問ガアツタノダト思ヒマスガ、市街地信用組合ニ於キマシテハ、其ノ組合員ノ移動其ノ他ニ付テ、地區的ニ嚴重ニ制限ヲナサラズニ御認メ下サルコトハ、ハツキリシテ居ルノデアリマセウカ、例ヘバ本所區ナラ本所區ノ信用組合デアリマスケレドモ、今マデハ地域ヲ定メテ何區々ト云フコトデ、五區ナリ、六區ナリ、七區ナリ、十區ナリヲ其ノ區域ニシデアリマス、所ガ今度假ニ整備ヲシロ、統合ヲシロト云フ場合ガアルト致シマス、サウ云フヤウナ場合ニ此ノ組合ハ此ノ地區ダケデ營業ヲスルト云フコトニナツタ場合ニ、其ノ地區ノ外ニ居ルモノハ——

東京デハ移動ガ激シイノデ、ソレヲ地區内ニ制限ヲサレト非常ニ困ルカラ、東京市ナラ東京市、或ハ東京都ナラ東京都一圓トシテアレバ宜イ、大體基本ハ此ノ「ブロック」、此ノ地域デアツテモ、組合員タルコトハ差支ヘナイト云フノデアナイト非常ニ困ル、斯ウ云フコトナノデアリマス

○山際政府委員 市街地信用組合ノ組織ハ其ノ本質ト致シマシテ、大體ニ於テ地域内ニ於ケル隣保ノ關係、或ハ同一職場ニ於ケル隣保ノ關係、ソレ等ヲ眼目トシテ組成セラレテ居ルモノデアアルコトハ申上ゲルマデモナイノデアリマス、隨ヒマシテ、全然地域トカ職域トカヲ離ス譯ニハ參ラストハ思ヒマスケレドモ、元來ガ左様ナ人ノ繋ガリ合ヒカラ出來テ居ルノデアリマスカラ、ソレヲ機械的ニ地域ヲ限ツテ血ガ出ルヤウニ斷テ切ツテシマフトカ、職場ニ嚴重ニ制限ヲ設ケテ動キガ取レナイヤウニスルト云フノハ、結局組合ノ働キヲ殺サセルヤウナ

モノダト思ヒマス、實情ニ依リマシテ十分ニソレ等ノ裕リガ出來マスヤウナ方針ヲ執ツテ成立シテ行キタイ、斯様ニ思ヒマス

○山本委員長 ソレデハ日本證券取引所法案ニ對スル勅令案ノ御説明ヲ森永政府委員カラ願ヒマス——森永政府委員

○森永政府委員 日本證券取引所法案ニ基キマシテ、勅令又ハ命令ヲ以テ規定スベキ主ナル事項ノ内容ヲ印刷ニシタモノヲ昨日御配リシテゴザイマスガ、ソレニ付キマシテ極ク一通リノコトヲ御説明申上ゲタイト思ヒマス

先ヅ法律ノ第四條デゴザイマスガ、其ノ第二項ニ「出資證券ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」トゴザイマス、是ハ他ノ營團ニモ共通ノ規定デゴザイマシテ、謂ハバ例文ノ規定デゴザイマスガ、其ノ内容ハ此處ニ書イテゴザイマスヤウニ、出資證券ノ記載事項デアルトカ、出資證券ハ記名式トスルトカ、出資ノ持分ノ移轉及ビ之ニ對スル質權ノ設定等ニ關スル規定、出資者原簿、出資者ニ對スル通知、催告、サウ云ツタ極クアリ觸レタ例文の内客デゴザイマス、サウ云ツタ性質デゴザイマスノデ、詳シイ説明ハ省略シマス

次ニ第十條ニ參リマシテ「日本證券取引所ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ登記ヲ爲スベシ」、斯ウ云フ規定ガゴザイマス、是モ他ノ營團ト共通ノ例文ノ規定デゴザイマシテ、其ノ内容トシテハ登記事項デアルトカ、登記ニ付テ認可ヲ要スル場合ノ期間ノ計算方法デアルトカ、裁判所ノ公告、管轄登記所、登記ノ申請ノ書式ハドウナルトカ、登記ハ總裁ガ申請スルトカ、是亦極メデアリ觸レ

タ規定デアリマス
其ノ次ハ命令事項デ第十九條ニ參リマシテ「命令ヲ以テ定ムル者」ト云フノゴザイマス、此ノ第十九條ノ規定ハ日本證券取引所ノ總裁、副總裁、理事、監事及ビ使用人ニ付キマシテ、賣買取引ノ委託ヲ禁止スル、又取引員ノ營業ニ關シマシテ特別ノ利害關係ヲ有スルコトヲ禁止スル規定デゴザイマスガ、其ノ外命令ヲ以テ定ムル者ニ付キマシテモ今申上ゲタヤウナコトヲ禁止スルコトニ致シマシテ、其ノ命令ヲ以テ定ムル者トハ、第七十九條ニ「ゴザイマス所ノ有價證券取引委員會ノ會長、委員、幹事、斯ウ云ツタヤウナ者ハ將來本法ノ施行ニ關スル重要ナル事項ニ參加スル譯デゴザイマスカラ、斯ウ云ツタ者ニ付キマシテモヤハリ賣買取引ノ委託、其ノ他取引員ノ營業ニ特別ノ利害關係ヲ持ツコトヲ禁止スル必要ガゴザイマスノデ、特ニソレ等ノ者ヲ此ノ規定ノ中ニ入レタ譯デゴザイマス

次ノ命令事項ハ第二十條ノ第二項デゴザイマス、日本證券取引所ノ職員ハ公務員ト看做サレルノデゴザイマスガ、全部公務員ト看做ス譯デハゴザイマセズデ、例ヘバ給仕、小使、守衛、サウ云ツタヤウナ専ラ勞働ニ從事スルヤウナ者ハ除外スル、其ノ範圍ヲ命令デ以テ定メルノデゴザイマス
其ノ次ノ命令事項ト致シマシテハ、第十二條ニ參リマシテ其ノ第二項ニ「日本證券取引所ガ有價證券市場ニ於ケル賣買取引ヲナス場合、或ハ其ノ委託ヲスルニ付テ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ定ムルト云フコトガゴザイマスルガ、ソレノ内容ヲ規定スルモノデゴザイマス、即チ日本證券取引所ガ其ノ業務ヲ營ミマス場合ノ業務執行者、

即チ市場ニ參リマシテ賣買ノ手ヲ振ル所謂場立チ、サウ云ツタヤウナモノヲ定メテ主務大臣ニ届出ヅベシトカ、或ハ日本證券取引所ガ此ノ賣買ヲヤリマス場合ニハ、ソレニ依リ損益ハ一般ノ損益ト區分シテ經理セヨ、或ハ又賣買ヲ致シマスル場合ニハ、賣買ヲ致シマシタ結果ニ付キマシテ遲滞ナク之ヲ報告ヲセヨトカ、サウ云ツタヤウナコトヲ命令ヲ以テ規定スル譯デアリマス
其ノ次ノ命令事項ト致シマシテハ、第二十四條デゴザイマス、第二十四條ノ第一項ニ「日本證券取引所ハ市場ヲ開設シ又ハ閉鎖スルトキハ命令ノ定ムル所ニ依ツテ認可ヲ受クベシ」、斯ウ云フ規定ガゴザイマスルガ、其ノ命令ノ定ムル内容ト致シマシテハ、市場毎ニ認可ヲ受ケル、開設ノ場所、或ハ取引員ノ種類即チ一般取引員トカ、實物取引員トカ、サウ云ツタ種類ヲドウスルカ、或ハ又其ノ市場ノ細カイ市場規則、サウ云ツタヤウナコトヲドウ決メル、サウ云ツタヤウナコトヲ決メテ認可ヲ受クベシ、サウ云フコトヲ規定スルモノデゴザイマス、其ノ他、是ハ當然ノトコデゴザイマスルケレドモ、認可申請ノ手續トカ、添附書類、サウ云ツタヤウナコトガ命令ノ事項ノ中ニ入ル譯デゴザイマス

其ノ次ノ命令事項ハ二十五條デゴザイマス、之ニ依リマシテ日本證券取引所ハ命令ノ定ムル所ニ依ツテ、有價證券ノ市場ニ於ケル立會ノ全部又ハ一部ノ停止ヲナスコトガ出來ル、斯ウ云フコトニナツテ居リマスガ、其ノ命令ト致シマシテハ、立會停止ヲ行フベキ場合、其ノ要件ヲ決メルト云フノガ一つデアリマス、其ノ要件ト致シマシテハ、例ヘバ立會ガ公益ニ害ガアル時トカ、

或ハ相場ガ著シク變動スル虞ガアルトカ、
或ハ又取引員ノ行為ガ不穩當ニ互ル虞ガアル、サウ云ツタヤウナ要件ヲ命令ヲ以テ規定スル豫定デアリマス、其ノ他立會停止ヲ行フ場合ニハ、事前ニ餘裕ガアル限り電話デモ何デモ宜イカラ通告セヨトカ、或ハ立會停止ヲ行ツタ場合ニハ遲滞ナク政府ニ通告セヨトカ、サウ云ツタヤウナコトヲ規定スルコトニナル次第デゴザイマス

其ノ次ノ二十六條ニモ命令ガゴザイマス、即チ上場セントスル有價證券ノ銘柄ニ付テ命令ノ定ムル所ニ依ツテ認可ヲ受クベシ、斯ウ云フ規定ニナツテ居リマシテ、此ノ命令ノ内容トシテハ、例ヘバ國債等ニ付キマシテハ認可ヲ受クナクテモ宜イ、届出ダケデ宜イト云フヤウナコトモ規定致シマスルシ、其ノ他市場毎ニ認可ヲ受クベシトカ、或ハ手續、添附書類、サウ云ツタヤウナコトヲ規定スル豫定デゴザイマス、大分澤山命令ガゴザイマスガ、二十七條ニ參リマシテ、取引員タラントスル者ハ命令ノ定ムル所ニ依ツテ免許ヲ受クベシト云フ規定ガゴザイマス、此ノ命令ノ内容ト致シマシテハ、

免許ハ市場毎ニ、或ハ取引員ノ種類毎ニ、取引員ノ種類ト申シマス、清算取引トカ、實物取引トカアリマスガ、サウ云ツタ種類毎ニ認可ヲ受クベシ、或ハ其ノ免許申請書ハ取引所ヲ經由シテ出セトカ、其ノ場合ニ取引所ハ其ノ免許申請書ニ、是ハ免許シタ方ガ宜イトカ、シナイ方ガ宜イトカ云フヤウナ意見書ヲ附ケル、其ノ他免許申請ノ手續、添附書類ト云フヤウナコトヲ規定シマスシ、又免許狀ハドウ云フ手續デ交付スルカ、紛失シタ場合ニハ再下付ヲスル場合ガアルガ、是ハドウ云フ風ニナルカ、書換、返戻、斯ウ云

フヤウナ規定ガ此ノ中ニ入ルノデアリマス
其ノ次ノ勅令事項ハ第二十八條ニ、「取引員タル資格ヲ有スル者ハ資本金額ガ勅令ヲ以テ定ムル額以上ノ株式會社」トゴザイマス、此ノ「勅令ヲ以テ定ムル額」ト云フノハ、資本金ノ最低額ヲ定ムル譯デアリマシテ、目下ノ見込ト致シマシテハ、大體拂込資本金額百萬圓以上ト云フコトニスル豫定デアリマス、但シ百萬圓ト申シマスノハ、清算取引ヲ行フ取引員ニ付テノコトデアリマシテ、市場ニ依リマシテ實物取引シカ行ハナイ市場モアル譯デアリマスガ、サウ云ツタ實物取引ノミノ取引員ニ付キマシテハ、此ノ百萬圓ト申上ゲマシタ金額ヲ更ニ低減致シマスルシ、又場合ニ依リマシテハ市場毎ニ其ノ金額ヲ異ニスル、百萬圓以下ニ色々違ツタ金額ヲ決メル、サウ云フコトモ考ヘナケレバナラナイト思ヒマス

其ノ次ノ勅令事項ハ第三十條デアリマス、三十條ニ「取引員ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ日本證券取引所ニ營業保證金ヲ納付スベシ」ト云フコトガゴザイマシテ、其ノ勅令ノ定ムル事項ト致シマシテハ、先ヅ此ノ營業保證金ノ最低限ヲ定ムルコトデゴザイマス、最低限ヲ如何ニ定ムルカト云フコトハ、マダ確定致シテ居リマセヌガ、例ヘバ東京ノ取引所一般取引員ニ付キマシテハ、現在十五萬圓ト云フコトニナツテ居リマスガ、ソレヲ幾分増加スルコトニナルノデヤナイカト考ヘマス、サウ云フ最低限ヲ決メマス、尙ホ此ノ場合ニモ、先程ノ資本金ト同ジヤウニ、取引員ノ種類毎或ハ市場毎ニ或ル程度此ノ金額ヲ變ヘルコトヲ考ヘル積リデゴザイマス、其ノ他營業保證金ハ、其ノ一部分ヲ有價證券デ代用シテモ宜シイト云フヤウナ

コトモ考ヘナクテハナラナイカモ知レマセヌシ、サウ云フ營業保證金ノ納付ノ方法ニ關スル規定モ、此ノ勅令ニ依ツテ決メル積リデ居リマス、尙ホ申落シマシタガ、勅令ニハ最低限ヲ決メマシテ具體的ノ金額ハ取引所ノ業務規程デ決メルト云フコトニスル積リデ居リマス、其ノ他營業保證金ヲ取引所ガ受取りマシタ場合ニハソレヲ供託スル、是ハ現在モサウ云フ制度ニナツテ居リマスガ、サウ云フ營業保證金ノ處置ニ付テモ、必要ナル規定ヲ設ケナケレバナラナイト思ヒマス

其ノ次ノ命令事項ハ第三十一條デゴザイマス、第三十一條ニ「左ノ場合ニ於テハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ」トゴザイマス、此ノ命令ノ内容ハ大體手續的ナコトガ多イノデアリマスガ、例ヘバ取引所ヲ經由スベシトカ、代理店ヲ設置スル場合ニハ代理店主トナル者ト連署シテ認可申請スベシトカ、サウ云フヤウナコトモ入ルト思ヒマス、又認可ヲ受ケタケレドモ、認可シタ事項ヲ六箇月トカ一定期間内實行致サナイ場合ニハ、其ノ認可ガ效力ヲ失フト云フヤウナコトモ規定シナケレバナラヌカト思ヒマス、ソレカラ暫ク命令事項ガゴザイマセヌデ、第四十四條ニ參リマス、第四十四條ハ取引員ノ使用人、ソレモ支配人其ノ他重要ナ事務ニ從事スル使用人ニ付キマシテ一定ノ缺格條項ヲ設ケマシテ、サウシテ取引員ノ使用人ノ資質ノ向上ヲ圖ラウト云フ規定デアリマスガ、其ノ缺格條項ヲ規定スル使用人ノ範圍ヲ命令ヲ以テ定ムル譯デゴザイマス、其ノ範圍ト致シマシテハ市場代理人——市場ニ於キマシテ賣買ノ手ヲ振ル市場代理人、ソレカラ外務員、サウ云ツタヤウナモノガ主

ナモノデゴザイマスガ、其ノ外ニ特ニ重要ナル事務ニ從事シテ居リマス使用人モ此ノ範圍ノ中ニ入レルコトヲ考ヘテ居リマス
其ノ次ノ勅令事項ハ第四十六條デゴザイマス、四十六條ノ第三項ニ「有價證券市場ニ於ケル賣買取引ノ期限ハ勅令ヲ以テ定ムル期間ヲ超ユルコトヲ得ズ」トゴザイマス、所謂限月ノ問題ガ是デゴザイマシテ、此ノ點ニ付キマシテハ昨日ト一昨日ト何箇月ニスルカト云フ質疑應答ガアツタノデゴザイマスガ、ソレヲ決メル譯デゴザイマス、從來ハ法律デ規定シテ居ツタノデゴザイマスガ、事態ニ應ジテ適當ニ決メマス爲ニハ勅令ニ讓ツタ方ガ宜イト思ヒマシテ、勅令ニ委任シタ次第デゴザイマス

其ノ次ハ四十七條ノ命令デゴザイマス、有價證券市場ニ於テ行フ賣買取引ノ種類ニ付キ命令ノ定ムル所ニ依リ認可ヲ受クベシ、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデゴザイマスルガ、此ノ命令ノ内容ハ大體手續トカ添附書類トカ、サウ云ツタコトデゴザイマル
其ノ次ハ四十八條第一項デゴザイマス、取引所ガ證據金トカ手数料ニ付テ認可ヲ受ケマス場合ノ必要ナル事項ヲ命令ヲ以テ規定スル譯デゴザイマスルガ、手續ノ外ニ證據金ヲ納メル方法、サウ云ツタコトヲ規定スルノデゴザイマス、例ヘバ營業保證金ト同ジヤウナ問題ガアルノデゴザイマスルガ、有價證券ヲ以テ代用ヲ認メルモノモアル、サウ云ツタヤウナコトヲ命令ニ依ツテ規定スルノデアリマス

其ノ次ハ四十九條ノ命令デゴザイマス、是ハ大體手續的ナコトガ多イノデゴザイマスルガ、認可申請書ハ取引所ヲ經由テ提出スベシトカ、其ノ際ニ取引所ガ意見ヲ附ケル

トカ、其ノ他色々手續ノコトデゴザイマス

其ノ次ハ五十二條ニ參リマシテ、取引所ガ損害ヲ賠償スル場合ニ、命令ノ定ムル所ニ依ルコトニナツテ居ルノデアリマスガ、其ノ命令ノ内容ヲ申上ゲマス、具體的ノ賠償ノ方法、ソレノ基準ニナルヤウナコト、ソレヲ勅令デ決メマシテ、細カイコトハ業務規程ニ讓ル譯デゴザイマスルガ、元來此ノ五十二條、五十一條ノ規定ハ所謂取引所ノ強制擔保主義ト申シマス、有價證券市場ニ於ケル賣買取引ニ關シマシテ責任ヲ履行シナイ者ガアル時ニハ、ソレヲ業務規程ノ定ムル所ニ依ツテ處分シ、違約處分ニ致シマシテ、其ノ結果生ズル損害ハ總テ取引所ガ賠償スル、所謂強制擔保主義ヲ採用シタノデゴザイマスルガ、其ノ内容ノ詳細ハ命令デ決メタルコトニナツテ居リマス、五十三條モ只今ノ賠償ニ關聯致シテ居ルノデアリマスルガ、賠償致シマシテ場合ニハ取引所ハ違約致シマシタ所ノ取引員ニ對シテ求償權ノ外ニ色々外債權取引員ニ對シテ債權ヲ持ツテ居ル譯デゴザイマス、サウ云フ求償權トカ、其ノ他ノ債權ニ付キマシテハ、取引員ノ賣買證據金及ビ營業保證金ニ付キマシテ、一般ノ債權者ニ先ダチマシテ辨濟ヲ受ケル、所謂優先權ヲ持ツ、其ノ優先權ヲ行使スル手續ヲ命令ニ讓ツタノデゴザイマシテ、是ハ非常ニ細カイ規定ニナルカト思ヒマスガ、ソレヲ命令ヲ以テ規定スルノデゴザイマス

其ノ次ノ命令事項ハ第五十五條デゴザイマシテ「日本證券取引所ハ命令ノ定ムル所ニ依リ有價證券市場ニ於ケル公定相場ヲ決定シ之ヲ公示スベシ」トゴザイマス、此ノ命令ト致シマシテハ公定相場ヲ決定スル方法ヲ規定スルコトニナリマス、更ニ第二項ノ、命令ノ定ムル所ニ依ツテ取引員ノ賣買高ヲ公示スベシト云フコトガゴザイマスルガ、之ニ付キマシテハ公示シナクテモ宜イヤウナ場合モアルカト思ヒマシテ、サウ云フ除外例ヲ規定スルコトニナルカト思フノデアリマス

ソレカラ暫ク命令事項ガゴザイマセヌデ第六十九條ニ參リマシテ、日本證券取引所ガ配當補給ノ爲ニ受クル補給金ハ、命令ノ定ムル所ニ依ツテ法人税法ニ依ル所得、營業税法ニ依ル純益及ビ臨時利得税法ニ依ル利益ノ計算上之ヲ益金ニ算入シナイト云フ規定ガゴザイマス、其ノ命令ノ内容ト致シマシテハ、損失ノ補填ニ充テタ補給金ハ之ヲ益金ニ算入スル、一寸是ダケ讀ンダノデハ意味ガ分ラナイノデアリマスガ、繰越減損ハナイヤウナ狀態ニスル、サウ云フ必要上斯ウ云フ規定ヲ置イタ譯デゴザイマス、其ノ次ニ第七十七條ニ參リマシテ、一昨日モ話ガ出マシタヤウニ、今度ノ法律デハ、主務大臣ガ本法ニ依ツテ行フベキ職權ノ一部ヲ日本證券取引所ガ代行スルコトガ出來ル、サウ云フ規定ヲ置イタノデゴザイマスルガ、此ノ代行スル場合ニハ勅令ノ定ムル所ニ依ルコトニナツテ居ル譯デゴザイマシテ、其ノ勅令ノ内容ト致シマシテハ、ドウ云フ職權ヲ代行サセルカト云フコトヲ決メルノガ主タル内容デゴザイマス、差當リドウ云フ職權ヲ代行サセルカト云フコトデゴザイマスルガ、是ハ新取引所ガ設立サレマシテ、其ノ成育ノ狀況ヲモ見極メタ上デ適當ニ決メナケレバナラナイト思フノデゴザイマスカラ、隨テ日本證券取引所ノ設立

ト同時ニハ委讓ヲシナイ積リデゴザイマスルガ、將來ニ於テ委讓致シマスモノト致シマシテハ、此處ニ書イテゴザイマセウニ、第三十一條第一號、即チ取引員ノ商號ノ變更ノ認可、其ノ第四號、即チ取引員ノ營業所ノ位置ノ變更ノ認可、サウ云ツタヤウナモノハ新取引所ニ代行セシメルコトヲ考ヘテ居リマス、更ニ又第四十九條ノ取引員ノ委託證據金、手数料及ビ受託契約準則、サウ云ツタヤウナ認可モ是ハ寧ロ取引員ト密接ナ關係ニアル取引所ノ方ガ適當デアルト思ハレマスノデ、適當ナル時期ニ之ヲ新取引所ニ委讓致シマシテ、代行サセルコトヲ考ヘタイト思ツテ居リマス、其ノ外代行サセル場合ノ手續ト云フヤウナモノヲ規定スル次第デゴザイマス

其ノ次ノ命令事項ト致シマシテハ第七十八條デゴザイマス、第七十八條ハ所謂上場制度ノ整備ノ一ツノ内容ヲ成スモノデゴザイマシテ、取引所ガ建株會社カラ業務財産ノ狀況ニ關シテ報告ヲ徵スルコトガ出來ル、斯ウ云フ資料ヲ整備スルコトニ依リマシテ上場物件ノ適格性ヲ確保シヨウ、サウ云フ趣旨デゴザイマスガ、其ノ報告徵取權ノ内容ハ命令ニ之ヲ規定スル譯デゴザイマス、其ノ命令事項ト致シマシテハ無制限ニ報告ヲ徵取スルコト云フコトニ致スコトハ却テ弊害ガゴザイマスノデ、大體斯ウ云フコトニ付テ報告ヲ取り得ル、サウ云ツタ内容ヲ制限的ニ先ヅ決メナケレバナラナイカト思ヒマス、其ノ外軍機等ノ關係上報告ヲ取ラレテハ困ルト云フヤウナコトモゴザイマスルノデ、サウ云ツタ報告徵取權ヲ行使シ得ザル場合ノ規定ヲ設ケナケレバナラナイト思ツテ居リマス、サウ云フコトガ此ノ命令事

項ノ内容デゴザイマス

其ノ次ニ七十九條第二項ニ勅令ト云フ字ガ出テ居リマスガ、是ハ有價證券取引委員會ノ官制ヲ決メタル譯デゴザイマシテ、之ニ付キマシテハ特別申上ゲルコトハナイト思ヒマス

更ニ八十條ノ命令ハ包括的ナル委任命令デゴザイマシテ、即チ本法ニ規定致シテアリマス事項ノ外有價證券市場取引員、取引員ノ代理店及ビ使用人、並ニ有價證券取引員ノ賣買ニ關シテ必要ナル事項ハ命令ニ委任サレテ居ルノデアリマス、非常ニ技術的ナ問題ガ多イノデ斯ウ云フコトニ致シタ譯デアリマスガ、其ノ大體ノ内容ヲ申上ゲマス、先ヅ市場ニ關スル問題ト致シマシテハ、市場ハ毎日一定ノ時期ニ開クベシトカ、サウ云ツタ市場ノ開始ニ關スルコト、其ノ外休業スル場合ニハ届出ガ必要ダトカ、又市場ノ設置ヲ認可致シマシタ場合ニハ、ソレヲ告示スル、サウ云ツタヤウナコト、其ノ次ニ取引員及ビ其ノ使用人、代理店ニ關スル事項ト致シマシテハ、取引員ノ種類、即チ一般取引員トカ、實物取引員トカ、或ハ國債取引員トカ、サウ云ツタ種類ヲ決メマス、又今度ノ取引員制度ハ取引員ハ株式會社ト云フコトニナル譯デゴザイマスルガ、株式會社ノ役員中、取引有價證券市場ニ關スル賣買取引ニ關スル責任者ヲ決メル必要ガアル、サウ云ツタ取引員ノ取引擔任者ヲ決メテ届出スベシ、サウ云ツタヤウナコトモ規定シナケレバナラヌコトニナツテ居リマス、其ノ他使用人ニ關シマシテ、使用人ノ資格移動報告其ノ他實體的ナ取締規定ヲ置カナケレバナラナイト思ヒマス、使用人ニ付キマシテハ現在ハ外務員取締規

則ト云フノゴザイマシテ、所謂登録制ガ採用サレテ居リマス、其ノ外ニ實體的ナ取締規定ハナイノデゴザイマシテ、此ノ使用人ニ付キマシテ監督ヲ嚴重ニスルト云フコトガ從來強ク要望セラレテ居ツタ事柄デゴザイマスルガ、今度ノ法律ニ於キマシテハ、先程御説明申上ゲマシタヤウニ、四十四條ニ於キマシテ使用人ノ缺格條項ヲ法律ニ決メマスト同時ニ、此ノ八十條ノ委任命令ニ基キマシテ、只今申上ゲマシタヤウナ詳細ナル規定ヲ設ケタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、其ノ他代理店ニ付キマシテ、代理店契約ノ内容、或ハ代理店副代理店ヲ設置スルコトノ制限、サウ云ツタヤウナコトヲ規定シタイト思ツテ居リマス

其ノ次ニ賣買取引ニ關シテドウ云フコトヲ決メルカト云フコトデゴザイマスルガ、賣買取引ニ關シマシテハ、本法ニ規定シテゴザイマスルコトハ、四十六條ニ、實物取引ト清算取引ノ二種トス、實物取引ニ付テハ差金ノ授受ニ依ツテ其ノ決済ヲ爲スコトヲ得ナイ、取引ノ期限ハ勅令ヲ以テ決メ、是ダケシカ書イテナイノデアリマシテ、ソレハ取引ノ方法ハ非常ニ技術的デモゴザイマスルシ、又ソレヲ如何ニ定メルカト云フコトニ付キマシテハ多年ノ慣行デモゴザイマスルシ、有價證券取引委員會等ヘノ諮問ヲスル等、慎重ナル態度ノ上決メルト云フコトカラ、總テ勅令ニ讓ラレタ譯デゴザイマス、其ノ勅令ノ内容ニ付キマシテハ一日理財局長カラ御話モゴザイマシタヤウニ、今日ノ所トシテハマダ細カク申上ゲルコトガ出來ナイ譯デゴザイマス、色々ノ問題ガアル譯デゴザイマスルガ、先達テノ局長ノ答辯ニ依ツテ御承知ヲ御願ヒ致シマシタ如ク、法律通過後委員會等ヘノ諮問ヲ經マシテ正式ニ決定スルト云フコトデゴザイマス、其ノ外取引ノ範疇ニ關スル規定トカ、サウ云ツタヤウナコトモ此ノ委任命令ノ所ニ入ルコトニナルカト思ヒマス

其ノ次ハズツト勅令事項ハゴザイマセズデ、第九十八條ニ參リマス、實ハ其ノ前ニ九十五條ニ施行期日ヲ勅令ヲ以テ決メルト云フコトガゴザイマスルガ、是ハ當リ前ノコトデゴザイマシテ、特ニ内容ヲ掲ゲナカツタヤウナ譯デゴザイマス、唯御參考マデニ申上ゲマスレバ、各條文ニ付キ施行期日ヲ決メルト云フコトニナツテ居ルハデゴザイマスルガ、其ノ大體ノ見込トシテハ、第七十九條ノ有價證券取引委員會ノ規定ハ出來ルダケ早ク施行スル、又此ノ附則ノ申ニ設立ニ關係致シマシタ色々ナ規定ガアル譯デゴザイマスルガ、是モ法律公布後出來ルダケ速カニ施行スル、其ノ他ノ規定ハ大體新取引所ガ設立致サレマスト同時ニ施行スル、斯ウ云フコトニナラウカト存ジテ居リマス、其ノ九十八條ノ勅令事項デゴザイマスルガ、是ハ第二項ニ「舊取引所ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ株券ノ名義書換ヲ停止スベシ」トゴザイマス、其ノ株券ノ名義書換ヲ停止スルノハ何時カラヤルノカ、或ハ又ソレヲヤツタ場合ニハ公告ヲスベシト云ツタヤウナ手續ノ規定ヲ之ニ依ツテ規定スル譯デゴザイマス

其ノ次ニ第九十九條デゴザイマス、九十九條ハ舊取引所ノ株式ニ對シマシテ新取引所ノ出資證券ヲ引當テルトニ關シテノ規定デゴザイマス、第一項ニ勅令ノ定ムル所ニ依リ舊取引所ノ株式ニ對シテ出資證券ヲ引當テ認可ヲ得ベシト書イテアルノデゴザイマスガ、此ノ勅令ノ定ムル内容ト致シマシテハ、引當ノ基準ヲ定メルト、是ガ一番重要ナコトデゴザイマス、其ノ他引當ニ適シナイ端株ヲ生ジマシタ場合ニ其ノ端株ヲドウ處理スルカ、大體端株ヲ處分致シマシテ、現金デ以テ株ノ所有主ニ交付スルト云フコトニナラウカト思ヒマスルガ、サウ云ツタ引當ノ基準並ニ手續ヲ第九十九條ノ勅令ニ依ツテ規定スル譯デゴザイマス、尙ホ九十九條ニハ第三項ニ勅令ノ文句ガ出テ居リマスルガ、是ハ取引所資產評價委員會ノ官制デゴザイマシテ、之ニ付キマシテハ格別御説明申上ゲル必要ガナイカト存ジマス

次ノ勅令事項ハ第六百六條デゴザイマス、百六條ニ依リマシテ本法ニ規定スルモノノ外日本證券取引所ノ設立ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ定メルト云フコトガゴザイマス、是ハドチラカト申シマスレバ、補充的ナ意味デゴザイマシテ、色々細カイコトヲ規定シテ居ルノデゴザイマスルガ、其ノ外ニ色々ト公告手續トカ面倒ナ事柄ガゴザイマスノデ、サウ云ツタヤウナコトヲ補充的ニ勅令ヲ以テ規定スルコトニ致シマシテ萬全ヲ期シタ次第デゴザイマス

其ノ次ハ第八條ノ勅令事項デゴザイマス、百八條ノ勅令ハ第二項ニゴザイマスルガ、本法ノ施行前ニ舊取引所ニ於テ行ハレテ居リマシタ取引ヲ新取引所ニ於テドウ處理スルカト云フ問題デゴザイマス、是ハ昨日理財局長カラ答辯ガゴザイマシタヤウニ、出來ルダケ「スムース」ニ育テナケレバナラナイ、其ノ爲ニ必要ナ色々ナ規定ガ豫想セラレルノデアリマスルガ、例ヘバ新法ノ施行前ニ舊取引所ニ於キマシテナシマシタ取引ニ付キマシテハ、尙ホ從前ノ例ニ依ツテソレヲ適用スルコトガ出來ルトカ、サウ云ツタヤウナコトガ此ノ中ニ規定サレル譯デゴザイマス

此ノ次ノ百九條ニ參リマシテ、百九條ノ第一項ニ、今マデノ取引所ノ取引員ハ三年間ハ同ジ取引所ノ取引員ト看做サレルト云フ規定ガゴザイマス、ソレハ命令ノ定ムル所ニ依リ看做サレル譯デゴザイマシテ、其ノ命令ト致シマシテ、例ヘバ今マデノ取引所ニ於キマシテ一般取引員デアリマシタ者ハ、新取引所ニ於キマシテモ一般取引員ト看做ストカ、實物取引員デアリマシタ者ハ舊取引所ニ於キマシテモ實物取引員ト看做ストカ、或ハ新取引所ニ於テ取引員タルコトヲ希望シナイ者ニ對シテハ、申出ニ依ツテ取引員ト看做サナイ、サウ、ツタヤウナコトガ考ヘラレル譯デゴザイマス、百九條ノ第二項ニモ勅令ガゴザイマス、是ハ舊取引所ニ納付シタル身許保證金ノ處置ニ關シテハ勅令ヲ以テ定ムトアリマシテ、其ノ内容ト致シマシテハ、舊取引所ニ納付シタル身許保證金ハ其ノ金額ノ限度ニ於テハ、新シイ法律ニ依ツテ營業保證金ト看做スト云フコト、是ハ金額ガ足りナイ場合デゴザイマスルガ、舊取引所ノ身許保證金ガ新取引所ノ營業保證金ヨリモ多イ場合ニハ、其ノ差額ヲ返シテヤルトカ、サウ云フヤウナコトモ此ノ勅令ノ中ニ入ルカト思ヒマス、更ニ又舊取引所時代ニ於テ身元保證金ヲ以テ擔保セラレテ居リマシタ債權ニ付テハ引續キ之ヲ擔保スル、サウ云フ意味ノ規定モ必要ニナルカト思ヒマス、サウ云フコトガ、此ノ二項ニ於テノ勅令デ豫想サレマス

更ニ命令事項ト致シマシテハ、百十條ノ末項ニ「支配人其ノ他命令ヲ以テ定ムル使用人ト爲スコトヲ得ズ」ト云フコトガアリマス、

ルコトガ出來ルトカ、サウ云ツタヤウナコトガ此ノ中ニ規定サレル譯デゴザイマス

此ノ次ノ百九條ニ參リマシテ、百九條ノ第一項ニ、今マデノ取引所ノ取引員ハ三年間ハ同ジ取引所ノ取引員ト看做サレルト云フ規定ガゴザイマス、ソレハ命令ノ定ムル所ニ依リ看做サレル譯デゴザイマシテ、其ノ命令ト致シマシテ、例ヘバ今マデノ取引所ニ於キマシテ一般取引員デアリマシタ者ハ、新取引所ニ於キマシテモ一般取引員ト看做ストカ、實物取引員デアリマシタ者ハ舊取引所ニ於キマシテモ實物取引員ト看做ストカ、或ハ新取引所ニ於テ取引員タルコトヲ希望シナイ者ニ對シテハ、申出ニ依ツテ取引員ト看做サナイ、サウ、ツタヤウナコトガ考ヘラレル譯デゴザイマス、百九條ノ第二項ニモ勅令ガゴザイマス、是ハ舊取引所ニ納付シタル身許保證金ノ處置ニ關シテハ勅令ヲ以テ定ムトアリマシテ、其ノ内容ト致シマシテハ、舊取引所ニ納付シタル身許保證金ハ其ノ金額ノ限度ニ於テハ、新シイ法律ニ依ツテ營業保證金ト看做スト云フコト、是ハ金額ガ足りナイ場合デゴザイマスルガ、舊取引所ノ身許保證金ガ新取引所ノ營業保證金ヨリモ多イ場合ニハ、其ノ差額ヲ返シテヤルトカ、サウ云フヤウナコトモ此ノ勅令ノ中ニ入ルカト思ヒマス、更ニ又舊取引所時代ニ於テ身元保證金ヲ以テ擔保セラレテ居リマシタ債權ニ付テハ引續キ之ヲ擔保スル、サウ云フ意味ノ規定モ必要ニナルカト思ヒマス、サウ云フコトガ、此ノ二項ニ於テノ勅令デ豫想サレマス

更ニ命令事項ト致シマシテハ、百十條ノ末項ニ「支配人其ノ他命令ヲ以テ定ムル使用人ト爲スコトヲ得ズ」ト云フコトガアリマス、

更ニ命令事項ト致シマシテハ、百十條ノ末項ニ「支配人其ノ他命令ヲ以テ定ムル使用人ト爲スコトヲ得ズ」ト云フコトガアリマス、

此ノ命令ヲ以テ定ムル使用人ハ先程御説明申シマシタ第四十四條ノ使用人ト同ジ範圍デアル、即チ支配人ノ外ニ市場代理人、外務員其ノ他重要ナル使用人ヲ之ニ依ツテ規定スル譯デアリマス、大體勅令、命令事項ノ主ナル内容ハ以上申上デマシタ通りデゴザイマス

○山本委員長 只今ノ説明ニ對シテ御質問ガアリマシタラ質問願ヒマス

○渡邊(善)委員 一寸御尋ネ致シマス、舊取引所ノ現在ノ建株ガ其ノ儘新取引所ニ引繼ガレマスコトハ今同ツタノデアリマスガ、其ノ手續ナドノ爲ニ昨日伺ヒタイト、市場ヲ或ハ一日、二日休會スルコトガアルカモ知レナイト云フ御話デアリマス、成ベク證券ノ圓滑ナ流通ヲ圖ル爲ニ市場ヲ休マセズニヤラレルヤウニ、取引所並ニ取引所員ト協力シテヤルヤウニ出來ナイモノデアリマセウカ、休ムコトハ非常ニ一般ノ金融方面ニモ、今ノ株式市價ノ上ニモ影響シハシナイカト思フ

○森永政府委員 只今ノ御話洵ニ御尤モニ存ズル次第デアリマシテ、長イ間休ムコトハ絕對ニ避ケナケレバナラナイと思ヒマス、一兩日休ムニ致シマシテモ、例ヘバ月末ノ、從來ト雖モ休會日ハゴザイマシタノデアリマスガ、ソレニ該當スルヤウナ日ヲ選ビマシテ、其ノ時ニ一兩日休ミマシテ必要ナル手續ヲ整ヘル、サウ云フコトニ致シタイト存ジテ居リマス

○中井(一)委員 次官ニ伺ヒタイト思ヒマスガ、本法案ニ依リマスト、其ノ第二條ニ「日本證券取引所ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ必要ノ地ニ從タル事務所ヲ設置スルコトヲ得」トアリマスガ、此ノ從タル事務所ト云フノ

ハ具體的ニドウ云フモノヲ謂フノデアリマス

○谷口政府委員 是ハ日本證券取引所ノ事務所トシテノ支店ノヤウナモノデアリマシテ、有價證券市場トハ別ナ觀念ニ考ヘテ居リマス、日本證券取引所ト云フノハ有價證券市場ヲ設置スルコトガ其ノ仕事ノ主ナルモノデアリマスガ、市場ト云フモノト事務所ト云フモノトハ別ノ觀念デアルト云フ考ヘ方ヲ致シテ居リマス、有價證券市場ヲ置キマスル所ニハ事務所ヲ多分置クコトニナルカト思フノデアリマスガ、必ズシモ市場ノアル所ニ從タル事務所アリト云フ譯ニ行カタクテモ宜シイ、サウ云フ考ヘ方ヲ致シテ居リマス

○中井(一)委員 本法ニ依ツテ營業ヲ許サレテ居ル取引員ニ付キマシテハ、代理店若シクハ出張所ト云フヤウナモノヲ御許シニナルト云フ御趣旨ニ拜聽致シマシタガ、是ハドウ云フ法令ヲ詳シイコトヲ御定メニナルノデアリマス

○森永政府委員 只今ノ取引所ノ支店出張所ニ付テハ、第三十一條ニ規定ガゴザイマシテ、其ノ第三號ニ「支店其ノ他ノ本店以外ノ營業所ニ於テ有價證券市場ニ於ケル實價取引ノ取扱ヲ爲シ又ハ有價證券市場ニ於ケル實價取引ノ取扱ヲ爲ス代理店ヲ設置セン」トスルトキ、斯ウ云フ事項ニ該當致シマスル時ニハ主務大臣ノ認可ヲ受ケナケレバナラヌコトニ規定致シタノデアリマシテ、之ニ依リマシテ從來ハ支店出張所ノ設置ハ絕對ニ禁止事項デアリマシタノヲ認可事項ニ改メマシタ、其ノ細カイ點、認可申請ノ様式デアルトカ何トカ云フモノハ、是ハ施行規則等ヲ決メルコトニナツテ居リマス

○中井(一)委員 先般來カラ當局ノ御説明ニ依リマスト、本法ガ施行サレマスト、現在ヤツテ居リマス清算取引市場ト云フモノハ僅カノ數ノ取引所ノミニ限ル、隨テソレ以外ノモノニハ清算取引ハ許サレナイコトニナルト云フコトデゴザイマスガ、其ノ場合清算取引ヲ許サレル所ノ取引所ノ取引員ノ代理店若シクハ出張所ト云フヤウナモノハ、大體ドウ云フ風ニ許サレルノデアリマセウカ、場所的ニ、人的ニ一ツ御説明願ヒタイト思ヒマス

○谷口政府委員 先ヅ私ヨリ大體申上ゲマシテ他ノ政府委員カラ細カイコトヲ補ハセテ戴キタイト思フノデアリマスガ、此ノ法案ニ依ツテ日本證券取引所ハ有價證券市場ト云フモノヲ設ケルコトガ出來ルノデアリマシテ、有價證券市場ヲ開設致シマスコトガ日本證券取引所ノ業務ノ主タルモノデアリマス、現在ニ於キマシテハ十一ノ取引所ガアル譯デアリマスルガ、此ノ日本證券取引所ガ出來マシタ曉ニ於キマシテハ、只今御話モアリマシタ通りニ、清算取引ヲ行フ有價證券市場ハ極ク少數ニ限ルト云フヤウナコトヲ先般來御説明ヲ致シタノデアリマス、其ノ他ノ有價證券市場ハ設ケマスニ致シマシテモ、實物取引ヲ行フ有價證券市場ヲ設ケル、斯様ニ御説明ヲ申上ゲタト記憶シテ居ルノデアリマス、其ノ場合ニ於キマシテ、從來ノ取引員ハ如何ニ相成リマスルカト云フト、實物取引ヲ行フ有價證券取引所ニ於キマシテ實物取引ニ從事スルト云フコト以外ニ、先程三十一條ノコトヲ御説明致シマシタガ、寧ろ第四十五條ト云フ方カラ申上ゲタ方ガ宜イカモ知レナイト思フノデス、第四十五條ノ但書ニ依リマシテ「取引

員ガ主務大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ爲シ又ハ取引員ノ代理店主ガ當該取引員ニ對スル有價證券市場ニ於ケル實價取引ノ委託ノ媒介ヲ爲スハ此ノ限ニ在ラズ」ト云フノデ、取引員ガ認可ヲ受ケマシタナラバ、實價取引ノ委託ノ代理買賣、又ハ取次ヲ營業トナスコトガ出來ル關係デアリマス、ソレデ從來取引員デアツタ方ハ、實際ノ成行ト致シマシテ、其ノ土地ニ於キマシテ實物取引シカ行フコトガ出來ナクナリマシタヤウナ場合ニ於キマシテハ、其ノ實物取引ニ從事致シマスル外ニ、代理店ニナルト云フコトガ考ヘラレマスルシ、又主務大臣ノ認可ヲ受ケテ取次業ヲ營ミマシテ、清算取引關係ノ取次ノ營業ヲ致スコトガ出來ル譯デアリマス、其ノ場合ニ於キマシテノ場所的、人的關係ト云フ仰セデアリマスルガ、サウ云フ取次業トスル乃至ハ代理店デアルト云フヤウナコトハ、別ニドノ場所ダケニ認メルト云フコトハ、是ハ申上ゲテモ居ナイト思フノデアリマシテ、今後ノ方針ニ依リマシテ、恐ラクハサウ大シテ差支ヘノナイ限リハ、是ハ許シテ行クコトニナルノデハナイカト云フヤウニ大キク考ヘテ居リマス、尙ホ細カイ點ニ付キマシテハ他ノ政府委員カラ申上ゲマス

○中井(一)委員 私ノ御尋ネセントスル要點ハ、斯ウ云フコトニ歸スルノデアリマス、僅少ノ取引所ノミニ清算取引ガ許サレルト云フコトニナリマスト、少クトモ東京取引所ダケハ其ノ中ニ入ラレテ居ルモノト思フノデアリマス、ソコデ東京取引所ノ取引員ニ限リマシテハ清算取引モ又實物取引モヤレル、サウ云フコトニナリマスルガ、其ノ東京取引所ノ取引員ノ代理店、出張所ト云フヤウナモノハ何處ニデモ許サレルカ、

例へば甲ト云フ所ニ現ニアリマスル取引所ガ、清算取引ヲスルコトガ出来ナクナツテ、實物取引ヲスルダケノ取引所トナツタ場合ニ於キマシテ、其ノ甲ノ取引所ニ於テ從來ヤツテ居ツタ所ノ取引員以外ノ者ニ、東京取引所ノ取引員ガ其ノ代理店若シクハ出張所トシテノ仕事ヲヤラスコトヲ御許シニナルカ、斯ウ云フコトナノデス

○谷口政府委員 中井サンノ先程カラノ御質問ハ、先般來清算取引ヲヤラセル市場ハ極ク少數ニ限ルト云フコトヲ政府委員ハ説明シテ來テ居リマスノデ、其ノ場合清算取引ヲヤラナクナツテ實物取引ダケヤルヤウナ有價證券市場ガ設ケラレタ場合ニ、取引員ハドウナルカト云フコトカラ關聯致シマシテ只今ノヤウナ御質問ニ相成ツタノデアリマスルガ、其ノ場合ニ於キマシテ今例トシテ御引キニナリマシタヤウニ、清算取引ヲヤラナクナツテ實物取引ダケヤル、其ノ有價證券市場ノ開設セラレテ居ル土地ニ於ケル所ノ從來ノ取引員ト申シマスルモノハ、實物取引ダケシカヤレナイ、其ノ外ハ代理店トシテ取引ヲ得ルト云フコトガ殘ツテ居ルノデアリマス、其ノ場合ニ於キマシテ質問ノ御要點ハ、例へば東京ナラ東京ニ於テ清算取引、實物取引ガ行ハレルトスレバ、從來其ノ土地ニ居ル取引員ニ代理店ヲ頼ムコトヲシナイデ、東京ナドノ取引員ノ代理店ヲドシシ認メルコトニスル積リカドウカト云フコトダト思フノデアリマシガ、是ハ今後ノ運用方針如何ニ依ルノデアリマシケレドモ、左様ナ場合ニ於キマシテハ、動モスレバ從來ノ關係デ色々摩擦ヲ生ゼシメマシタリ、又面白カラスコトヲ生ズルヤウナコトモアリ得ルト思フノデアリマシ

テ、サウ云フコトノナイヤウニ、今後ノ運用ニ於キマシテ十分注意ヲ致スト云フコトニ御答ヘ致シタイト思フノデアリマス、只今ノ所何處ノ土地ニ代理店ヲ設ケタイケナイトカ、何處ダケニ設ケルト云フコトハ別ニ規定トシテ定マツテ居リマセヌノデ、今後ノ運用方針ト致シマシテハ、只今御質問ニナリマシテ御懸念ニナツテ居ルヤウナ點ハ、今後餘リ摩擦ノ出来マセヌヤウニ、ヤトラニ從來ノ取引員デナイ者ニ代理店ヲ頼ンデ、ソコニ色々店ガ出来ルト云フヤウナコトハ成ベク避ケテ行クヤウナコトニ致シタイ、左様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○田中(豐)政府委員 只今次官カラ御説明申上ゲタ通りデアリマスガ、一言補足サシテ戴キタイト思ヒマス、現在市場ガアリマス土地デアツテ、而モ將來清算ガナクナツテ、實物ダケト云フコトニナリマシタ場合ニ於キマシテハ、先程御話ノアリマシタヤウニ取次ヲ認メルト云フコトニナルノデアリマス、ソレデ取次ニ付キマシテハ、其ノ取引員ハ清算取引ノオ得意ヲ相當持ツテ居ル譯デアリマス、サウ云フオ得意カラ清算取引ノ委託ヲ受ケマシタ場合ニ、清算取引ノアル市場デ其ノ委託ヲ取次イデ行フ、斯ウ云フコトヲ認メル法制ニ致シテ居リマス、代理店ヲ設ケマシタ場合ニモ、結局其ノ代理店ハ清算市場、實物市場兩方含メマシケレドモ、主トシテサウ云フ清算ノ取次ヲ致ス店ニナルト思フノデアリマス、隨ヒマシテ清算市場ノアル地ニ代理店ヲ設ケルヨリモ、現在取引員デアツテ、將來清算ガ廢止サレタ場合ニ於キマシテハ、總テノ取引員ニ取次ヲ認メルト云フ方針デ、主トシテ從來清算取引ハ委託者ヲシテ清算市場ニ於テ賣買

ヲ行ハシメテ居ツタ方式ヲ、取次ノ方法ニ依ツテヤツテ行キタイト考ヘテ居リマス、代理店ノ設置ニ付テハ十分制限ヲシテヤツテ行キタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○中井(一)委員 大臣ガ御見エニナリマシタカラ大臣ニ御尋ネテ致シタイト思ヒマスガ、其ノ以前ニ先程カラノ問題ニ關聯シマシテモウ一點ダケ御尋ネテ致シマス、先程從來取引員ノ支店、出張所ナドハ許サナカツタノダト云フコトヲ仰セラレタノデアリマスガ、何故ニ御許シニナラナカツタノデアリマスカ、其ノ許サレナカツタ理由ヲ承リタイト思ヒマス

○田中(豐)政府委員 現行法ニ於キマシテハ支店、出張所ヲ禁止シテ居ルノデアリマスガ、其ノ趣旨ハ取引員ノ支店トカ出張所ト云フモノヲ地方ニ濫設致シマシテ、其ノ結果地方ノ餘リ取引ノコトナドヲ知ラナイ人ナドニ清算取引ノ他ノコトヲ勧誘致シマシテ、其ノ爲ニ各種ノ弊害ガアル、斯様な趣旨カラ禁止サレテ居ツタモノト考ヘテ居リマス

○中井(一)委員 大臣ニ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、今ヤ戰時下ニ於キマシテ財政、金融、經濟、産業各方面ニ於テハ會テ見ザル飛躍ノ事態ガ出現ヲ致シテ參リマス、此ノ事態ニ對應スル爲ニ今回日本證券取引所法案ヲ御提出ニナリマシタト云フコトハ、洵ニ其ノ時ヲ得タルモノトシテ敬意ヲ表スル次第デアリマス、殊ニ其ノ目的トシテ第一條ニ掲ゲラレテ居リマスコトノ如キ、正ニ爾ガアルベキコトデアルト存ズルノデアリマス、就キマシテハ此ノ劃期的ナ法案ガ上程サレマシテ以來今日マデ同僚議員ヨリ各方面ニ互ツテ質問ガアリ、又當局ノ御説

明モアツタノデアリマシテ、大體其ノ御趣旨ハ了承ヲ致シタノデアリマス、唯取引所ニ關シテ多クノ知識ヲ持チマセヌ私ト致シマシテハ、如何ニシテモ了解ノ致シ難イ問題數點ヲ尙ホ殘シテ居リマスルガ故ニ、此ノ點ニ付キマシテ極メテ率直ニ御尋ネテ致シタイト思フノデゴザイマス、大臣ニ於カレマシテハ何卒私ノ納得ノ行キマシヤウ御説明下サラバ洵ニ幸ヒト存ジマス

其ノ第一點ハ、取引所ニ於ケル所謂相場ト云フモノハ或ハ暴騰ヲナシ、或ハ暴落ヲスルコトガアル、其ノ原因ハ自然ナ場合モアルガ、又屢々不自然ナ場合モアツテ、其ノ結果我が國産業、經濟、延イテハ財政ノ方面ニマデ非常ナル迷惑ヲ及ボスト云フコトノアリマシタコトハ洵ニ殘念ニ思フテ居ルノデアリマス、政府ハ今回本法案ヲ御提出ニナリ、有價證券ノ公正ナル價格ノ形成、價格ノ安定及ビ有價證券ノ流通ヲ圓滑ナラシメルコトヲ其ノ目的トスルト云フコトヲ明カニサレタノデアリマシテ、殊ニ公正ナル價格ノ形成及ビ價格ノ安定ヲ以テ本法案ノ骨子トセラレテ居ルト云フコトハ、先般大臣ガ當委員會ニ於ケル御説明ニ依リマシテ正ニ拜承致シタ次第デアリマス、而シテ本法案ニ依リマスルト、元來ハ仲立人若シクハ保證人ノ立場ヲ持つベキ取引所ガ、自ラ進ンデ賣買ニ乗出シ、株式價格ノ操作ヲモナスコトガ出来ルト云フコトニマデナツテ居リマスコトハ、歸スル所公正ナル價格ノ形成竝ニ價格ノ安定ト云フコトヲ特ニ重大視セラレタルガ故デアルト思フノデアリマス、然ラバ何故ニ斯様ナコトヲセナケレバナラヌカト云フ、冒頭申上ゲマシタ如キ株式取引ノ不自然ナル原因ニ依ツテ暴騰、暴落ヲ

スル場合ニ對處スルガ爲メデアルト云フコトハ申スマデモアリマセヌ、然ラバ其ノ不自然ナル暴騰、暴落ハ如何ナル取引ニ依ツテ起ツテ居ルカト言ヒマスルト、是ハ明カニ所謂清算取引ニ依ツテ招來サレテ居ツタノデアリマス、隨ツテ其ノ弊害ノ大ナルモノハ清算取引ヲ認メラレテ居ツタガ爲メデアルト云フコトニ歸スルノデアリマスカラ、本法案御提出ノ精神ニ鑑ミラレマスルナラ、此際百尺竿頭一步ヲ進メラレ、我國ノ取引所カラ清算取引ヲ廢メテシマハレルト云フコトガ拔本塞源ノ方策デアラウト存ズルノデアリマス、此ノ點ニ付テ大臣ノ御所見ヲ承リタイト存ジマス

○賀屋國務大臣 平時デモ左様デアリマスルガ、戰時下ニ於キマシテ過當投機ヲ防止スルト云フコトハ極メテ必要デアリマス、其ノ爲ニ必要ニ依リマシテハ取引所自體ガ賣買ニ乗出スコトモアル、併シ左様必要ガ起ルノハ清算取引ト云フモノガアルカラ起ルノデ、寧ロソレヲ禁止シタラバドウカト云フ御説デアリマス、大體大キナ戰時ニ於キマシテハ、清算取引ヲ許シテ居ル國デモ皆之ヲ禁止シテ居リマス、例トシテハ前世界大戰ニ於ケル英佛獨然リ、今回モサウダラウト思ヒマス、併シ之ヲ停止スルコトガ上策デアアルカト申セバ、ソレハ最上ノ策デハナイ、之ヲ認メテ良キ效果ヲ發揮セシムルコトガ出來ヌモノデアルカラ、已ムヲ得ズ之ヲ閉メサレテ、斯ウ私ハ解釋スルノデアリマス、我が國ハ今國ヲ擧ゲテノ戰時デアリマス、國家興亡ノ關頭ニ立ツテ居リマス、即チ國家興亡ノ關頭ニ立ツテ居ルカラ、俗ニ申ス、少シ言葉ハ惡ウゴザイマスカ、半狂亂ト云フヤウナコトデアリマシテ

ハ、長イ間ノ戰爭及ビ決戰ニ堪ヘ得マセヌ、サウ云フ間ニアツテモ成ベク其ノコトガ圓滑ニ行ク、圓滑ニ行クト云フコトハ、結局大キナ能率ヲ擧ゲルト云フコトデアリマス、其ノ點ニ行キタイ、戰時下ニ於テ清算取引ノ長所ヲ成ベク活カシテ行キタイ、ソレニハ非常ニ弊害ガ伴フカラ是ハ防ガナケレバナラス、是等ガ取引所法ノ改正案ヲ出シマシタ所以デモアリマス、又他ノ株式對策ヲ致シテ居ル所以デモアリマス、然ラバ清算取引ハナゼ惡イカ、ナゼ必要カト云フ面ニナリマス、是ハ物事總テ利弊相伴フモノデアリマス、利ノ方モ中々見逃シ得ナイ、若シモ之ヲ停止致シマシタラバ、總テ全資金或ハ全實株ヲ用意シテ行カナケレバ賣買ガ出來ナイト云フ立場ニナリマス、サウナリマス、或ル人ガ相當多量ノ株ヲ賣ラナケレバナラス、又或ル人ガ買ヒタイ、斯ウ云フナヤナ場合ニ於キマシテ、其ノ時ノ需給ノ工合デ大キナ値ノ變動ガ起ルノデアリマス、大勢ハ左様ニ下落スル必要ハナイガ、實株ノ賣却者ガアツテ、ソレニ對シテ今買手ガサウ付カスト云フ場合ニハ、其ノ所謂出合ヒノ關係デ非常ニ下落致シマス、反對ノ場合ハ騰貴致シマス、此ノ價格ト云フモノハ決シテ實勢ヲ現ハス公正ナモノデハナイト思フ、ソコデ清算取引ノアリマスコトガ、詰リ買方ノ全資金、賣方ノ全實株ヲ用意セザル相當賣買ノアリマスコトガ、却テ値段ヲ落付ケテ、過當ナル騰落ヲ防グ場合、是亦否定シ得ナイノデアリマス、又大イニアルノデアリマス、ソレヲ活カシテ行クコトガ株價ノ動搖ヲ防グ爲ニ亦必要デアル、斯ウ云フ關係ハ、是多クノ人ノ一致スル意見デアリマス、清算取引ノ弊害ダケ

見マスレバ惡イノデアリマスカ、其ノ長所ハ又決シテ見逃スコトガ出來ナイ所デアリマス、之ヲ各國ノ如ク直グ清算取引ヲ閉メルト云フコトニ行カズ、其ノ長所ハアルガ一面非常ニ弊害ヲ起シ易イ清算取引ニ對シマシテ、出來ルダケソレガ騰落共ニ狂態ヲ演ジナイヤウニ弊害ヲ防グ途ヲ講ジテ、長所ノ方ヲ發揮サセタイ、是ガ本當ノ生産擴充、資金ノ蓄積ニモ必要ナコトデアアル、此ノ考ヘカラ出マシタ譯デアリマス、總テ此ノ敵ヲ殺スモノデアリマスカ、間違ヘバ味方ヲモ殺ス、其ノ味方ヲ殺スコトヲ防イデ、敵ヲ斬ル双ニ使ハナケレバナラス、申上ゲレバソレト同ジ思想ナノデアリマス、弊害バカリ見テ之ヲ殺シテシマヒタクナイ、長所ヲ發揮サセタイ、斯ウ云フ考ヘ方ヲ持ツテ居ル次第デアリマス

程劣ツテ居リマス、併シナガラ何ト申シマシテモ東京ハ帝都デアリ、政治ノ中心、財政經濟ノ中心デモアリ、殊ニ大藏省ノ御膝元デ、其ノ直接ノ監督ノ下ニアルノデアリマスカラ、此ノ取引所ヲ限ツテ清算取引ヲヤラセラレト云フコトニナレバ、本法案ノ企圖セラレル所ノ有價證券ノ公正ナル價格ノ形成及ビ價格ノ安定ト云フモノヲ、最モ能ク實現サスコトガ出來ルト思フノデアリマス、然ルニ承ル所ニ依ルト、東京以外ニモ許可セラレルト云フコトデアリマスカ、是ハドウ云フ譯デアリマスカ、寧ロ私ハ此ノ法案ノ目的達成ノ上カラ言ツテ、清算取引所ハ之ヲ東京取引所一本ニスル、而シテ只今大臣仰セノ如キ、長所、妙味ヲ發揮セシムルト云フコトガ、最モ適當ナルコトデハナイカト存ジマス、其ノ點ニ關スル大臣ノ御所見ヲ承リタイ

○中井(一)委員 御意見ハ克了承致シマシタ、然ラバ本法案ヲ施行サレマシタ曉ハ、大臣ノ仰セノ如ク其ノ利ヲ活カシテ、其ノ弊ヲ矯メルコトガ出來ルト御確信ニナツテ居リマスカ

○賀屋國務大臣 出來ルト考ヘテ居リマスカ

○中井(一)委員 第二點トシテ御伺ヒ致シマス、本法案ノ主たる目的ハ第一條ニ示ス通り、公正ナル價格ノ形成及ビ價格ノ安定ト云フコトニアリト致シマスカラバ、清算取引ト云フモノハ、一箇所ノ取引所ダケニ許サレルノガ宜イノデハナイカ、特ニ其ノ一箇所ハ東京取引所ダケデ事足ルノデハナイカト云フコトヲ承リタイノデアリマス、我が國ノ有價證券取引ニ付キマシテ其ノ從來ノ實績ヲ調べテ見マス、東京ガ他ノ取引所ニ比ベテ最キデアリ、之ニ次グモノハ大阪デアリマシテ、其ノ他ノ取引所ハ餘

○賀屋國務大臣 清算取引ハ中々長所モアリマスカ、同時ニ色々餘弊モ生ジ易イモノデアリマス、隨テ清算取引市場ヲ設置致シマスル場所ハ、非常ニ限定ヲ致シタモノニ致シタイト考ヘテ居リマス、法案ノ上ニ於テハ、新取引所ガ案ヲ立テマシテ、政府ノ認可ヲ受クル仕組ニ相成ツテ居リマス、ソレハ今後ニ殘サレタ問題デアリマシテ、何處ニドウスルカ、場所ノニ只今確定ヲ致シテ居ル次第デアリマセヌ、アリマセヌガ、極メテ限定ヲシタ場所ニ置キタイ、斯様ニ存ジテ居リマス、只今東京一箇所ト云フ御説モアリマシタガ、東京一箇所ニシマスカ、シマセヌカ、ソレハハツキリ申上ゲル譯ニ參リマセヌ、他ノ場所ニ置クカ置カヌカ、是モハツキリ申上ゲルマデノ段階ニ至ツテ居リマセヌガ、相當大量ヲ需給ガアリ、ソコ

デ多數ノ主要ナル銘柄ノ株ガ殆ド下場ヲシ得ルト云フヤウナ實勢ニアリマスル極メテ少數ノ場所ニ限りタイ、斯ウ云フ考ヘデ居リマス

○中井(一)委員 ソレナラバ、只今ノ所少クトモ東京以外ニモヤハリ許サレル、其ノ數ハ固ヨリ未定デゴザイマセウガ、東京ダケニ限ルノデハナイ、其ノ他ノ場所ニモ許サレルノゴト云フコトダケハ間違ヒゴザイマセウカ

○賀屋國務大臣 ソレモ斯ウデアリマストハ、今申上ゲタヤウナ事情デアリマスカラ、ハツキリ、申上ゲ兼ネマス、東京ノミニ限ルト云フコトハ無論今明白ニ申上ゲラレマセヌ、只今申上ゲマシタ通りニ極メテ大量ノ取引ガアル、極メテ少數ナ場所ニ限りタイ、斯ウ御承知ヲ願ヒマス

○中井(一)委員 御言葉付キカラ見マスルナラバ、許サルベキ場所ハ單數デハナクテ、複數デアルト云フコトダケハ分リマス、何箇所カト云フコトハ固ヨリ分リマセヌガ、複數デアルト云フコトダケハ分リマス、其ノ程度ノ御内意ト承知シテ宜シイノデゴザイマセウカ

○賀屋國務大臣 ドウモ是ハ御推測ニ任スヨリ外アリマセヌ、私ノ答辯ト致シマシテハ前ニ申上ゲタ通りデアリマス

○中井(一)委員 ソレハヤハリ此ノ際具體的ニ數ト場所トヲ明カニセラレナクテモ、大體ノ所ハハツキリシテ戴カヌト困リマス、法案ハ出來タ、併シソレダケデ宜イト云フ譯デハアリマセヌ、法案ガ出來、ソレニ依ツテ取引所ハ市場ヲ設置スル、清算又ハ實物ノ取引ヲヤラセル、コゴデ初メテ此ノ法案御制定ノ目的ガ達セラレルノデアリマス、

隨テ此ノ法案ヲ活カスカ殺スカト云フ問題ハ、結局之ヲドウ御運營ニナルカト云フコトニ依ツテ定マリマス、隨テ本案審議ニ當リマシテハ、其ノ御運營ノ實際ト云フモノヲ承ラナケレバ、私共ハ是ガ善イカ惡イカト云フコトヲ決メルコトガ出來マセヌ、此ノ問題ハ別ニ只今始マツタ問題デハゴザイマセヌ、各方面ニハ色々噂モアリ、大體政府ノ才肚モ決マツテ居ルノデハナイカト思ヒマス、願クハコホハ一ツ率直ニ仰シヤツテ戴イタ方ガ、本案ヲ審議致シテ參ル上ニ、非常ナ幸ヒヲ得ルカト思ヒマス、寧ろ審議ヲ進メルガ爲ニハ、此ノ點ヲ明カニスルコトガ先決問題カトモ思フノデアリマス

○賀屋國務大臣 御話ノ趣キニハ御尤モノ點モアルト存ジマスルガ、清算取引ヲ認メルト云フ大キナ方針ハ法文ノ上ニモ明瞭デアリマス、何處ニ設置スルカト云フコトハ、取引所ノ申請ニ基イテ認可スルト云フ建前ヲ表ハシテ居リマス、其ノ上ニ運用ニ付キマシテハ、是ハ何モ彼モ申上ゲル方ガ御分リニナリ易イノデアリマスガ、是ハ大體ノ主義方針ハ申上ゲマサルガ、具體的ノ運用ハ法案成立後ノ情勢ニ依ツテ決マルモノモ相當アルノデアリマシテ、今ノ清算取引所ヲ設置スル問題ニ付キマシテモ、只今申上ゲマシタヤウニ、清算取引所ノ長所ハ活カシタイ、餘弊ハ非常ニ多イモノデアルカラ、ソレニ付テハ餘程制限的ニ考ヘタイ、大量ノ取引ガアリマスル極メテ少數ナ場所ニ限リタイ、ト云フ邊デ一ツ御考ヘヲ願ヒタイドウモ之ヲ何處ノ場所ニ設置スル、シナイト云フ問題ヲ今明瞭ニ申上ゲルコトモ如何カト思ヒマスルシ、大體其ノ邊デ法律案ノ精神モ御酌取ヲ願ヘルカト思ヒマスノデ、

地名ナドヲ申上ゲルコトハ今ハ差控ヘルコトニドウ御諒承ヲ願ヒタイト存ジマス

○中井(一)委員 地名ヲ御聽キハ致シマセヌ、東京取引所ダケヲ認メラレルノカトモ申シマセヌ、日本證券取引所ガ我が國ニ於テ設置スル市場ハ一箇所カ、一箇所以上カ、斯ウ云フコトダケ御伺ヒシタイノデアリマス

○賀屋國務大臣 一箇所以上ト申上ゲテモ非常ニ漠ト致シマス、率直ニ申上ゲマス、私ノ今考ヘテ居ルコトハ結論デアリマス、私ハ今一箇所ヨリ以上ノコトヲ考ヘテ居リマスガ、ソレハ非常ニ少イ數デアルト斯ウ御考ヘヲ願ヒマス

○中井(一)委員 能ク了承致シマシタ

第三ニ御伺ヒ致シタイコトハ、世間ノ噂ニ依リマス、現存致シマスル十一箇所ノ取引所ノ中デ、其ノ大部分ニハ清算取引ハ置カレナクナル、恐ラクハ東京ト大阪トダケニ限ラレルノデアラウト云フコトガ、専ラ傳ヘラレテ居ルノデアリマス、ソゴデ私共ノ如キ、此ノ方面ニ多クノ知識ヲ持チマセヌ者ニハ、如何ニシテモ解シ難イ疑問ガ起ルノデアリマス、政府ハ清算取引ノ長所ヲ認メテ、之ヲ御許シニナル、又之ヲ許サレル市場ハ單數デナクテ複數デアル、而モ清算取引ノ上ニ最モ憎ムベキ、過當投機ハ本法案ノ實施ニ依ツテ防止スルコトガ出來ルト云フコトデアリマスルナラバ、何故ニ從來通り十一箇ノ取引所ニ清算取引ヲ御許シニナルコトガ出來ナイノデアルカ、東京、大阪ニ清算取引ヲ許スモ弊害ナシ、其ノ他ノ取引所ニ許スナラバ弊害アリト云フコトデアリマスルナラバ、此ノ際先ヅ此ノ問題ヲ明瞭ニ御説明ヲ願ハナケレバナラヌト思フノデ

アリマス、東京、大阪ノ取引ヲ從來ノ經過ニ依ツテ見マスルナラバ、率直ニ申上ゲルト過當投機ヲ最モ多ク致シテ參ツタノハ此ノ兩取引所デアリマス、若シ我が國ノ相場界ニ混亂ヲ生ゼシメタル其ノ首魁者ハ何人カト云ヘバ、此ノ兩取引所コソ正ニ其ノ責任者ダト言ハナケレバナラヌト思フノデアリマス、然ルニ其ノ元兇ニミハ清算取引ヲ許サレルガ、其ノ以外ノ取引所ニ付テハ之ヲ許サレルコト云フコトハ、私共ノ常識ヲ以テシテハ判斷ガ付カヌト云フノガ大臣ニ重ネテ其ノ所見ヲ承ラナケレバナラヌ譯ナノデアリマス、此ノ點ハ一ツ私共ノ納得ノ行キマスルヤウニ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 ソレハ斯ウ考ヘテ戴ケバ分ルト思ヒマス、東京、大阪デ成程大キナ暴騰、暴落ガ起ツタコトハ事實デアリマス、併シソレデヤ東京、大阪ニ取引所ヲ設置シナカツタナラバ、清算取引ノ效果ガ他ノ地方取引所デ十分擧ツテ弊害ガ起ラナイカト云フ問題ヲ考ヘルト、私直ガ分ルト思フ、迎モ清算取引ノ利益ノ點ハ發揮シ得ナイト思フ、ト同時ニ若シモソレニ依ツテ相當取引ガ出來ルナラバ、東京、大阪デ會テ起ツタヤウナコトハ皆地方デ起ツテシマフ、偶々東京、大阪ガアツテ、地方ハ殆ド清算取引ト云フモノハ特殊ノ株以外ハ寫眞相場シカナイト云フ狀況デアリマタカラ、東京、大阪ダケガ火元ニ見エタノデアリマスガ、東京、大阪ガナカツタナラバ投機心ハ地方デ爆發シテ居ル、其ノ意味ニ於テ東京、大阪ト云フ土地ガ投機ヲ起ス場所デアリ外ハ起サヌト云フ關係デハナイト思ヒマス、其ノ點ヲ能ク御諒承願ヒタイト思ヒマス、ソレ

デ大體投機取引云フノハ餘弊ガ非常ニア
ルノデスガ、是ハ大量ノ需要ノアルノガ主
デアリマスカラ、ドウシテモ大量ノ出合ガ
アル所ニ持ツテ行ツテ、其ノ外ノ所ハ成ベ
ク之ヲナクシマセヌト、監督ノ眼モ届キ
マセヌ、外ハサウ云フコトガ起ラヌト云
フ土地デヤナイノデス、其處ヘ集中スレ
バヤハリ其處ニ起ル、ソコデ監督ノ眼モ
多數デハ届キ兼ネマスルシ、多ク弊害ガ起
ラヌト云フノハ、殆ド清算取引ノ機能モ
大局ニ於テハ十分ニ果ス必要モナケレバ、
果シテモ居ナイ、唯追隨シテ動イテ居ル、
ソレダカラ弊害モ起ラヌノデアリマスカラ、
今日ノ實情ヲ考ヘマシテ、東京、大阪ガ惡
イト云ヒマスケレドモ、所謂其ノ意味ノ元

兎デハ決シテナイト私ハ思ヒマス、唯問題
ハソレナラバ東京、大阪ダケデナク外モヤ
ラセテ宜イデヤナイカト云フコトデアリ
マスガ、投機取引ノ餘弊ト云フモノハ非常
ニ多イモノデアリマス、サウ各地ニ置キマ
シテハ監督モ十分ニ出來マセヌシ、今日ノ
清算取引ト云フモノハ最少限ニ認メテ其ノ
間ノ效用ヲ發揮サス面カラ見マシテ、東京
大阪等極メテ限ラレタル——大阪ニヤルカ
ヤラヌカト云フコトモ申上ゲラレマセヌガ、
極メテ少數ノ大量ノ需給ノアル所ダケ目
的ハ達シ得ル、サウシテ弊害面ヲ除ク、ソ
レガ適當シテ居ル、斯ウ云フ風ナ考ヘ方デ
アリマス

○中井(一)委員 大藏大臣ノ御答辯トモ思
ヘヌノデアリマス、初ニ私御伺ヒ申シマシ
タ如ク、此ノ法案ヲ施行サレルナラバ過當
投機ハ防ギ得ラレルカトノ御尋ネニ對シ、
大臣ハ防ギ得ラレルト御言明ニナツタノデ
アリマス、ソレナラバ、東京、大阪以外ノ

場所ニ清算取引ヲ御許シナサレタ場合、東
京、大阪ダケデハ防ゲルガ其ノ他ノ取引所
ハ防ゲヌト云フ理由ハナイト思フ、況ンヤ
大臣モ仰セノ通り、過當投機ノ最モヒドク
行ハレタノハ從來東京、大阪デアツタト云
フコトハ、是ハ顯著ナル事實デアアル、此ノ
元兎ノ取引所、最モ過當投機ノ行ハレル虞
ノアル場所、其ノ市場ニ於テサヘモ本法施
行ノ上ハ之ヲ抑壓シ得ルト御言明ニナツタ、
ソレナラバソレヨリモズツト取引量ノ少イ
地方取引所ノ清算取引ガ、此ノ法案ノ威力
ニ依リマシテ、又其ノ運營ニ依リマシテ其
ノ弊害ヲ抑壓スルコトガ出來ナイト云フ理
由ハナイ筈デアリマス、重ネテ御尋ネ致シ
マス

○賀屋國務大臣 本法案ノ運用ニ依ツテ防
ゲルト申上ゲマシタ其ノ本法案ハ、取引所ノ
設置場所ハ大藏大臣ガ適當ト認メテ認可ス
ルコトニナツテ居ル、此ノ作用ガ過當投機
ヲ防グ一ツノ作用デアリマス、此ノ法案ガ
アルカラ全國到ル所ニ作ツテモ過當投機ガ
防ゲルカト云フトサウデナイ、場所等ヲ選
定シマスルコトガ本法案ノ運用ノ一ツ、詰
リ過當投機ヲ防グ手段ノ一ツデアリマス

○中井(一)委員 實ニ巧妙ナル御答辯ヲ拜
聽致シマシテ敬意ヲ表シマス、私ハ只今ノ
御説明ハモツト外ノ御説明デアアルベキデハ
ナイカト思フ、東京、大阪以外ノ取引ト云
フモノハ極メテ少イノデアリマス、少イノ
ヲ廢メサスコトガ過當投機ヲ防グ所以ダト
云フコトガ實ニドウモ分ラナイノデアリマ
ス、況ンヤ大臣ハ先程東京、大阪以外ノ取引
所ハ、寧ロ寫眞相場ガ多カツタト云フコト
ヲ御答ヘニナツタ、或ル場合ハ其ノ通りデ
アリマスガ、或ル場合ハサウデハゴザイマ

セヌ、假ニ總テノ取引所ガ大臣仰セノ如ク、
從來多ク寫眞相場ノヤウナコトヲヤツテ居
ツタト云フコトデアリマスナラバ、寫眞ノ
原板ハ何處ニアルカ、東京、大阪デハゴザ
イマセヌカ、若シ此ノ寫眞相場ヲ阻止シヨ
ウトセラレルナラバ、原板ヲ押ヘズニ、影
ダケヲ押ヘテドウシテ其ノ目的ガ達セラレ
マスカ、私ハ此ノ一點カラシテモ、東京、大
阪ヲ其ノ儘ニシテ置イテ、其ノ他ノ小サイ
モノヲ抑ヘルト云フコトニ依ツテ、本法案
ノ主タル目的ガ達セラレルナドト云フヤウ
ナ大臣ノ御答辯ハ、是ハ事實ヲ無視シタル、
如何ニシテモ納得ノ行カナイ御説明ダト思
ヒマス、重ネテ御所見ヲ承リタイト思ヒマ
ス

○賀屋國務大臣 少クトモ東京ニ取引所ヲ
置キマセヌデハ、清算取引ハ置カヌ方ガ宜イ
ノデアリマス、置ク以上ハ一番需要ノアル所ニ
置カナケレバナリマセヌ、ソレデ餘弊モ出ル
カラ、色々苦心ヲシテ取締ルノデアリマス、サ
ウ云フ餘弊ガ出ルモノガ全國ニ澤山アリマ
スト、益、サウ云フモノハ色々ナ時ニ餘弊ヲ
助長スルノデアリマス、東京ハ餘弊ダケ考ヘ
レバ、東京ニ置カナイ方ガ宜イ、或ハ外ノ
場所ニモ置カヌ方ガ宜イノデアリマス、併シ
是デハ清算取引ト云フモノヲ絶滅スルヤウ
ニナリマス、是ハ置カザルヲ得マセヌ、サウ
スレバ、其ノ弊ハ少シデモ出ナイヤウニ配
慮ヲ致サナケレバナリマセヌ、是ハ私ハ
極メテ少數ニ限ツタ方ガ、全國經濟界カ
ラ見マシテ餘弊ハ排除サレルト思ヒマス、
是ハドウ考ヘマシテモ私ハサウダト思ヒマ
ス、何處ニ置ク、何處ニ置カヌト云フコト
デハナイ、全國ノ經濟界ヲ健全ニスルカシ
ナイカト云フ問題デアリマス、監督カラ申

シマシテモ、多數全國ニアリマシテハ、ド
ウシテモ目カラ逃レルコトガ出來ルノデア
リマス、ソコハ實需及ビ大勢ノ反映スル程
度ニ置カナケレバナリマス、ソレ以外ハ出來
ルダケ斯ウ云フモノハ餘弊ヲ少クシナケレ
バナラス、是ガアレバ投機心モ助長シマス、
中小商工業者ナドニ於キマシテ整理ガアリ
マシテ、一時遊金ガアルト、ツイ之ヲ使フ
ト云ツテ、私共ニモ投書ガ澤山來テ居リマ
スガ、サウ云フヤウナ實需ノ實際、大勢ヲ
反映スルコトニ殆ド效用ガ少イ、惡ク言ヘ
バ賭博類似ノ行爲ガ起ルヤウナ所ヲ、多數
置イテオクコトハ宜シクナイト思ヒマス、
其ノ意味ニ於キマシテ極メテ少數ノモノニ
限リタイト思ツテ居リマス

○中井(一)委員 一萬圓ノ賭博ヲスル者ガ
二人アツテ、一圓ノ賭博ヲスル者ガ九人ア
ル、大臣ノ仰セニ從フナラバ、一萬圓ノ賭
博ヲスル者ハ二人シカナイカラ、金額ハ多
クトモ許シテオイデ認メテヤツテモ差支ナ
イ、一圓ノ賭博ヲスル者九人ハ、金額ハ少
イガ人數ガ多イカラ、之ヲ罰シテ廢メサス
方ガ國家ノ爲ダ、斯様ナ御論議ト同様ダト
思フノデアリマス、事モ茲ニ至リマスナラ
バ、問答ハ無用ダト感ゼザルヲ得マセヌ、
隨ヒマシテ私ハ改メテ他ノ方面カラ御所見
ヲ伺ヒタイト思ヒマスガ、其ノ以前ニ伺ヒ
タイコトハ、先程丁度大臣ノ御出席ノ前後
ニ互リマシテ、質疑應答ノ重ネラレテ居ツ
タ代理店、出張所ノ設置ノ問題デアリマス、
理財局長ニ念ノ爲ニ御尋ネシテ置キマスガ、
從來法律ノ上カラハ取引員ノ支店、出張所
ト云フモノハ、必ズシモ禁ゼラレテ居ナイ
ノデアリマス、然ルニ之ヲ禁ゼラレタ理由
ハ何處ニアルカ、先程局長ハ支店、出張所等

シマシテモ、多數全國ニアリマシテハ、ド
ウシテモ目カラ逃レルコトガ出來ルノデア
リマス、ソコハ實需及ビ大勢ノ反映スル程
度ニ置カナケレバナリマス、ソレ以外ハ出來
ルダケ斯ウ云フモノハ餘弊ヲ少クシナケレ
バナラス、是ガアレバ投機心モ助長シマス、
中小商工業者ナドニ於キマシテ整理ガアリ
マシテ、一時遊金ガアルト、ツイ之ヲ使フ
ト云ツテ、私共ニモ投書ガ澤山來テ居リマ
スガ、サウ云フヤウナ實需ノ實際、大勢ヲ
反映スルコトニ殆ド效用ガ少イ、惡ク言ヘ
バ賭博類似ノ行爲ガ起ルヤウナ所ヲ、多數
置イテオクコトハ宜シクナイト思ヒマス、
其ノ意味ニ於キマシテ極メテ少數ノモノニ
限リタイト思ツテ居リマス

ヲ許スト弊害ガ簇出スルカラ之ヲ許サナイト御答ヘニナツタト記憶致シマスガ、其ノ點ソレニ相違ゴザイマセヌカ

○田中(豐)政府委員 現行法ニ於キマシテハ、同一取引所ノ賣買取引ノ取扱ニ付キマシテ、取引員ガ其ノ營業ヲナス場所ヲ二ツ以上設置スルコトハ禁止セラレテ居リマス、其ノ禁止セラレテ居リマス理由ハ先程申上ガマシタ如ク他ニモ理由ガアリマシタラウガ、私ノ記憶致シマス所デハ、地方ニ支店、出張所等ヲ設ケテ、ソレニ依ツテ清算取引ナドニ地方民ヲ餘リ勧誘シテ廻ルコトハ弊害ガアル、斯様ナ趣旨カラ禁止ノ意見ガ設ケラレテ居ルト記憶致シマス

○中井(一)委員 果シテ左様デゴザイマシタラ、此ノ度假ニ東京、大阪ダケニ清算取引ガ許サレル、而シテ東京、大阪ノ取引員ノ支店、出張所ヲ地方ニ許サレルト云フコトデゴザイマスナラバ、只今局長自ラ仰セニナツタ其ノ弊害ヲ、改メテ出現スル結果ニハナリマセヌカ、若シ局長仰セノ通りデアルトスルナラバ、東京、大阪ノ取引員ノ代理店、出張所ヲ地方ニ置クコトヲ許サヌト云フコトヲ、御決定ニナラナケレバナラヌ筈ダト思ヒマルノニ、本法案ノ布カレタコトニ依ツテ、從來御禁制ニナツテ居タモノガ許サレルト云フコトハ、當局本來ノ目的ニ反スル結果ヲ生ズルト思フノデアリマス、御所見如何デアリマスカ

○田中(豐)政府委員 洵ニ御尤モナ御質問デゴザイマシテ、支店ヤ出張所ヲ設ケテ大イニ清算取引ヲ勧誘シテ廻ルト云フコトニナリマスナラバ、是ハ仰セノ通りデゴザイマス、今回法案ニ於キマシテ支店ヤ出張所ヲ設ケルコトモ、勿論認可ヲ致シテ設ケシ

メルノデアリマスガ、サウ云フ嚴重ナル方針ノ下ニ此ノ認可ハ銓衡致シマスガ、兎モ角サウ云フ支店、出張所ヲ開キ得ル途ヲ設ケマシタノハ、決シテ清算取引ヲ中央市場ニ導入スルト云フ趣旨デハナイノデアリマス、取引員ハ御承知ノ通り清算取引ニノミ從事スルバカリデナク、實物ノ取引ニモ從事致シマス、今回取引所ノ新シイ業務トシテ、有價證券ノ引受賣買、特ニ株式ナドノ發行ニ當リマシテ、今度大衆層ニモ浸潤サシテ行ヤウナ機構モ持ツ譯デアリマス、主トシテサウ云ツタ業務ノ必要上支店、出張所等ヲ設ケマシテ、是モ勿論嚴選致シマスガ、地方ノ取引員或ハ地方ノ現物屋トノ關係ニ於テ、廢擦ヲ避ケルコトヲ考慮シマシテ、支店、出張所ヲ開ク途ヲ此ノ際法律デ設ケタ次第デアリマス

○中井(一)委員 ソレナラバ從來各取引所ニ認可サレテ居リマス取引員ハ、嚴選ヲサレズニ御認可ニナツタノデアリマスガ、私共ノ承ル所ニ依リマス、取引員ガ其ノ店ヲ開キマスコトハ、色々ナ條件ニ付テ嚴重ナル御取調ガアツタ後デナケレバ許サレナカツタト承知致シテ居リマスガ、從來認可ノ方法ニ付キマシテハ大藏省ハ好イ加減ナ所デ御許シニナツテ居タノデアリマスガ

○田中(豐)政府委員 從來ノ取引員ヲ免許致シマス際ニハ、勿論十分嚴選シテ居ツタ、古ク認可サレテ居ル者ガ多イノデアリマスガ、當時ニ於キマシテモ十分嚴選シテ認可サレテ居ルト思ヒマス、而シテ取引員ノ支店、出張所或ハ代理店ヲ設ケルニ當ツテ嚴選スルト申上ガマシタノハ、何モ中央ノ取引員ノミニ限ラナイノデツテ、今後改正ニナリマシタ曉ニ於キマシテハ、現在十一ノ

市場ガアリマスガ、其ノ市場ハ少クトモ皆實物ノ取引市場トシテ、又其ノ取引員ハ取引員トシテ殘ルノデアリマス、ソレ等ノ總テノ取引員ノ支店、出張所ヲ設ケマス場所ニハ現物屋モアリマスシ、サウ云ツタヤウナ關係ニ於テ十分調整ナドヲ考ヘナガラ嚴選シテ設ケル、斯ウ云フ方針デアルト申上ガタ譯デゴザイマス

○中井(一)委員 大臣ニ御伺ヒ致シマスガ、只今私共ノ質疑應答ニ依ツテ御承知ノ通り、從來ノ取引員ハ地方ノ者ト雖モ總テ嚴選ノ結果認可ヲサレテ居ルノデアリマスガ、左様デゴザイマス以上、本案施行ノ曉ニ於キマシテ、是等ノ人々ヲ此ノ取引所ノ傘下ニ集メラレ、清算取引ニ付テモ國策ニ順應シテ公正ナル取引ヲ致シヤウ協力セシメラレマスナラ、彼等ハ喜んで其ノ御趣旨ヲ體シテ働クデアラウト思フノデアリマス、隨テ地方取引所ノ清算取引ヲ其ノ儘ニ認メルト、過當投機ヲ助長スル虞ガアルト云フ御心配ハ御無用ニナルデアラウト思フノデアリマス、若シ地方取引所ノ清算取引ヲ廢シテ、而モ中央取引員ノ支店、出張所ヲ認メラレルト云フコトニナルナラバ、本法案所期ノ目的ニ反スル結果ヲ見ルコト火ヲ睹ルヨリモ明カデアル、若シ地方取引所ノ清算取引ヲ御廢止ニナリマスナラバ、地方ノ取引ハスツカリ場外取引ニ陷ツテ、本當ノ博奕行為ガ横行スルノデハナイカト心配致シマス、即チ現行法ニ依レバ取引員ノ支店、出張所ヲ許シテハナラヌト云フ規定ハナイケレドモ、其ノ弊害ノ發生ニ鑑ミテ之ヲ許サナカツタト云フ大藏省ノ御考ヘ方ハ、此ノ際コノ最も有力ニ本案運営ノ上ニ働カナケレバナラヌト信ズルノデアリマス、此ノ趣旨ニ

於キマシテモ寧ロ地方取引所ニ清算取引ヲ認メラレ、總テヲ新取引所ノ傘下ニ抱擁シテ從前通り大藏省ノ嚴重ナル監督ノ下ニヤラサレルト云フコトガ、本法案ノ使命ニ最も適合スルモノダト考ヘルノデアリマス、此ノ點ニ付テ大臣ノ御所見ヲ承リタイ

○賀屋國務大臣 取引員ノコトデアリマスガ、今マデモ嚴選シテ商工省時代カラズツト參ツテ居リマス、併シ現狀宜シイトハ思ツテナイ、ソレデ取引員ノ資格等ニ付キマシテモ從來ニナイ規定ヲ置キマシタ、隨分取引員ニモ良イ方モアリマスルガ、評判ノ好クナイ人モアリマス、良イモノニシタイ、ソレデ取引員ノ資格モ新タニ法案デ尙ホ向上致シヤウナ規定ヲ置キマシタ、取引員ノ使用人ニ付キマシテモ同様ニ、餘程是ハ改善向上サレルト云フコトヲ私共ハ考ヘテ、若干ノ規定モ置イタヤウナ次第デアリマス、現行ノ取引員ヲ皆惡イトハ無論申シマセヌ、大多數良イ人デアリマス、併シ改善ノ必要ガアル、ナゼ三年間置イタカ、ソレハモノノ遷リ變リデアリマス、本法案ヲ施行スル——一舉ニ新シイ資格ヲ備ヘナケレバ何モ出來ヌト云フノモ苛酷デアリマズルノデ、遷リ變リノ時代ニ三年間ノ猶豫ヲ置イタノデアリマス、此ノ點ハ只今御示シニナリマシタ地方ニ清算取引所ヲ多ク認メルカドウカト云フコトハ、別ノ關係デ考ヘテ居ル次第デアリマス

○中井(一)委員 次ニ御伺ヒ致シマスガ、假ニ地方取引所ニハ清算ヲ許サヌ、實物ダケデ行カナケレバナラヌト云フコトニナリマシタ場合、ソレ等ノ取引所ノ取引員ハ其ノ營業ヲ繼續シテ行ケルトノ思召デアリマスカ、如何デゴザイマスガ、商賣ハ固ヨリ

損ヲシテマデヤレルモノデハナイノデアリ
マス。カラ、暴利ヲ貪ルコトハ許サレナクテ
モ、其ノ營業ニ依ツテ生活ダケハシテ行ケ
ルト云フ程度ノ利益ハナカラネバナリマセ
ス、サウ云フ意味ニ於キマシテ、私ハ若シ
地方取引所ニ清算取引ヲ許サズ、實物ダケ
ガ許サレルト云フコトニナルナラバ、地方
ノ取引員ハ結局ヤツテ行ケナクナルノデ
ナイカ、斯ウ云フコトヲ心配致スモノデア
リマス、現ニ取引員ハ左様ニナルト申シテ
居ルヤウデアリマス、果シテ左様デゴザイ
マスナラバ、此ノ法案施行ニ當ツテ地方取
引所ニハ實物ヲ許シテヤル、ダカラソレダ
ケデ満足シタラ宜イデヤナイカト言ハレル
大藏當局ノ話ト云フモノハ、實ニ殺生ナ話
ダト思フ、形ノ上デハオ前達ガヤツテ行ケ
ルヤウニ營業ヲ許シテ居ルデヤナイカト言
ヒナガラ、其ノ實ハ其ノ内ニハオ前達ハヤツ
テ行ケナクナルダラウ、其ノ内ニハ消エテ
ナクナレ、斯ウ仰シヤルノト同ジコトダト
思フノデアリマス、國策ノ犠牲者ヲ斯カル
窮狀ニ置キマスコトハ、實ニ氣ノ毒デアリ
マスカラ、寧ろ地方ノ取引所ハ之ヲ廢メテ
シマツテ、東京、大阪ノ二本建デオヤリニ
ナルノガ宜イノデハナイカ、サウシテ廢業ス
ル取引員ニ對シテハ、何カノ方法ヲ以テ其ノ
人々ガ行キ得ル道ヲ與ヘラレルト云フコト
ガ政治ノ親切ナル親心デハナイカト思ヒマ
ス、寧ろ此ノ際彼等ニ廢業ヲサセテシマフ
ト云フ思ヒ切ツタ態度ニ出ラレル御意思ハ
ゴザイマセヌカ、之ヲ伺ヒタイト思ヒマス
○賀屋國務大臣 私人大東亞戰爭下ノ日本
ノ將來ハドウナルカト云フト、非常ナル有
價證券ノ激増ニナルト思ヒマス、日本人ノ
財産ハ有價證券ニナル、其ノ見返リガ内地、

大陸、南方諸島等ニ於ケル各種ノ鑛山、
工場、船舶、鐵道トナル態勢ニナルト思ヒ
マス、國債ノ如キ既ニ支那事變前百億デア
リマシタモノガ今年ハ五百億ニモ相成リマ
セウ、社債モ非常ニ増加デアリマス、株式
是レ亦昨年デモ三十億ノ増加デアリマス、
株式ト社債ト國債ト云フモノガ日本人ノ財
産ニナル時代ガ來ル、現ニ非常ニ速度デ増
加シツツアル、毎年百億以上、二百億ト云フ
ヤウニ増加シテ居ル、十八年度ハ又非常ニ
増加シマセウ、此ノ貯蓄増加額ト云フモノ
ハ殆ど國債、社債、株式ニナル、私ハ全國
ニ健全ナル有價證券ノ取引網ト云フモノヲ
考ヘナケレバナラナイト思フノデアリマス、
以前ハ有價證券ト云フモノハ一部ノ特殊ナ
専門家ヤ金持ノ持ツモノデアツタガ、今ハ
日本全國民ガ株ヲ持チ、社債ヲ持チ、國債
ヲ持ツト云フコトニナツタ、隨テ常ニ簡便
ニシテ公正ナル値段段デ賣買ノ出來ル途ヲ開
イテ置クコトガ必要ナノデアリマス、其ノ
意味カラ國債ニ付キマシテモ、社債ニ付キ
マシテモ、専門家の多量投資家ノ利用シマ
ス機關以外ニ、新シク社債、國債ノ所有者
層ニ對スル公正簡易ナル機關ヲ出來ルダケ
工夫シテ參リタイト思ツテ居リマス、今回
提案致シマシタ法律モソレニ關係シテ用意
シテ居ルモノガ相當ゴザイマス、株式ニ付
キマシテモ非常ニ其ノ點ヲ考ヘテ、本取引
所ハ株式ノ引受ケ及ビ實物ノ一般ノ投資的
賣買ガ出來ル途ヲ開イタ、斯ウ云フ機關ガ
ナカツタノハ今マデノ缺點デアリマシテ、
ソコニ行ク大キナ使命ヲ出シテ居ル、社債、
國債ニ付テモ今相當ナル機關ガアリマスガ、
全部此ノ取引所ガヤルト云フ譯ニハ參リマ
セヌ、此ノ意味ニ於テモ出來ルダケ之ヲ活

動サセテ參リタイト思ツテ居リマス、從來
ノ取引所、所謂株ヲヤル所ダト云フ以外
ニ、大キナ株式其ノ他ノ有價證券ノ賣買
機構タル中樞ヲナシタイト云フ考ヘヲ持ツ
テ居リマス、大東亞戰爭後ノ大東亞共榮圈
ノ確立ト云フモノハ、前申シマシタヤウニ
漸次是ガ發展ヲシテ、社債、株式、國債ノ
大増加ヲ來ス必然ノ運命ニアルノデアリマ
ス、營團ナドガアリマス、是ハ全出資ノ
中ノ極メテ小部分デアリマシテ、滔々トシ
テ株式ガ増シテ參ルト思ヒマスサウ云フ點
カラ考ヘマシテ私ハ實物取引機構ハ成ベク之
ヲ擴ゲタイ、今急ニ擴ゲルコトモ出來マセヌ
ガ、寧ろ今取引所所在地ニアリマス大部分ノモ
ノハ、之ヲ基盤トシテ擴ゲテ行ク、地域的ニ
申シマシテモ取引所ハ東京ヨリ西ニバカリア
ツテ東北ノ北海道ニハナイノデアリマスガ、是
等ノ地方ニモ實物取引所ガ追々ニ出來ル狀
態ニナツテ來ルノデハナイカ、否サウシナケ
レバナラナイノデハナイカト考ヘテ居ル位
デアリマス、今地方取引所デ清算取引ヲ廢
シテ實物ダケヲ殘シマス、ソレハ御話ノ
ヤウニ當分ハ營業量モ減ルト思ヒマスガ、
今後ハ私ノ申上ゲタヤウナ實物取引網ノ發
展ト云フコトニ着眼シテ戴キタイ、一時相
當ノ打撃ハアルト思ヒマスガ、將來ハ伸ビル
ト云フ見込ミヲ持ツテ居リマス、ソレデ政
府委員モ説明シタヤウニ、サウ云フ意味カ
ラモ取引所ノ代理店ノ關係モ出來テ宜イ
ノデハナイカ、仕事ハ殖エルトデハナイカ
ト思ヒマス、地方取引所ノ實物取引ヲ廢止
スルト云フ考ヘハアリマセヌ、將來ハ實物
取引ノ方ガ主デアル、唯ソレデハ値段段ノ出
會ヒガ皆ク行カナイモノガアリマスカラ、
若干ノ所ニハ清算取引ヲ殘シマスガ、實物

取引ハ發展サセタイ、斯ウナレバ日本ノ財
産ハ株式ト社債ト國債ト云フコトニナル、サ
ウ云フヤウナ考ヘ方カラ一時ハ狀態ノ變化
モアリマセウガ、將來ハ悲觀スルコトハナ
イト考ヘテ居リマス
○中井(一)委員 地方取引所ニ清算ヲ許サ
レスト云フ問題ニ付キマシテハ段々御尋ネ
ヲ申上ゲマシタガ、御答辯ニ依リマシテハ
未ダニ納得ハ出來マセヌト云フコトヲ申上
ゲマシテ次ノ問題ニ移リタイト思ヒマス、本
法案第十九條ニハ「日本證券取引所ノ總裁、
副總裁、理事、監事及使用人並ニ命令ヲ以
テ定ムル者ハ何人ノ名義ヲ以テスルヲ問ハ
ズ有價證券ヲ賣買取引スル市場(以下有價證
券市場ト稱ス)ニ於ケル賣買取引ノ委託ヲ爲
シ又ハ取引員トノ間ニ資金ノ供與、損益ノ
分配其ノ他取引員ノ營業ニ付特別ノ利害關
係ヲ有スルコトヲ得ズ」云々ト書イデゴザイ
マス、又第八十五條ニ依リマス「第十九條
ノ規定ニ違反シ有價證券市場ニ於ケル賣買
取引ノ委託ヲ爲シ又ハ取引員トノ間ニ其
ノ營業ニ付特別ノ利害關係ヲ生ズルコトヲ
目的トスル行爲ヲ爲シタル者ハ五千圓以下
ノ罰金ニ處ス」ト書イデアリマス、更ニ第八
十七條ニハ「當該官吏、有價證券取引委員會
ノ會長委員幹事若ハ第二十條ニ規定スル日
本證券取引所ノ職員又ハ其ノ職ニ在リタル
者本法ニ依リ職務執行ニ關シ知得タル法人
又ハ人ノ業務上ノ秘密ヲ漏洩シ又ハ竊用シ
タルトキハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス」其ノ
他之ニ類シタル箇條ガ數箇所ニ散見サレル
ノデアリマス
〔委員長退席、古田委員長代理着席〕
私思ヒマスノニ大東亞戰爭下ニ於ケル國內
情勢ト致シマシテ、統制會社等恰モ政府ノ

官廳ト同様ナル組織ノモノガ多數出來テ參リマシタ、ソレ等ノモノハ總テ偉大ナル力ヲ以テ國民生活ノ上ニ臨ンデ居ルノデアリマス、其ノ力ガゴザイマセネバ其ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイノデアリマスカラ、其ノ力ハ強ク行ハナケレバナラス、併シ同時ニ其ノ力ヲ濫用スルガ如キコトハ斷ジテ許セナイ、左様ナコトヲ致ス者ガアレバ正ニ公敵ダト考ヘテ宜シイノデアリマス、此ノ事ハ最近官公吏等ノ綱紀ノ肅正ト云フ問題トナリマシテ、國民ノ輿論ニハ相當凄イ動キガゴザイマス、是ガ反映致シマシテ、本議會ニ於テモ近ク決議案トシテ提案サレント致シテ居ル實情デアアルコトハ大臣御承知ノ通りデアリマス、而シテ本案ヲ見マサルニ、從來ノ取引所法ナドトハ其ノ機構、機能ニ雲泥ノ差デアアルノデアリマシテ、或ル意味ニ於テハ實ニ我が國産業經濟界ノ全權ヲ握ツテ居ルトサヘモ言ヒ得ル程強力ナモノダト思フノデアリマス、私ハ今ヤ非常時デアリマスルニ依ツテ其ノ強大ナル力ガ十分ニ發揮サレテ、本案ノ目的ノ達成サレシコトヲ衷心ヨリ希望致ス者デアリマス、ソレデアリマスカラ、若シ此ノ取引所ノ役職員等ニシテ其ノ偉大ナル力、其ノ大切ナル地位ヲ利用シテ或ハ相場ヲ張り、又機密ヲ漏洩シ、ソレニ依ツテ自ラ利益ヲ得、或ハ他人ヲシテ利益ヲ得シメルト云フコトヲヤリマシタナラバ、是ハ實ニ大變ナコトニナルト思フノデアリマス、産業經濟ニ及ボシマス直接ノ影響ハ固ヨリ、人心ノ上ニ實ニ容易ナラザル結果ヲ生ジマスルコトハ申上ゲルマデモゴザイマセス、隨テ斯様ナ場合ニ於テハ、國家ハ峻嚴ナル態度ヲ以テ臨ムベキダト思フノデアリマス、若シ經濟統

制違反者ニ對シテ嚴罰ヲ以テ臨マネバナラスト云フコトデアリマスレバ、ソレ以上ニ此ノ取引所ノ役職員デ不正行為ヲ致シマスル者ニ、最モ嚴酷ナル刑ヲ以テ臨ムノガ至當デアルト考ヘルノデアリマス、然ルニ本案ノ規定ニ依レバ、五千圓以下ノ罰金デアリマス、自ラ相場ヲ張りマシテ多額ノ金ヲ儲ケテ五千圓出セバ終ルト云フコトデハ、如何ニシテモ納得ハ出來マセヌ、先般此ノ點ニ付テ同僚議員ヨリ當局ニ御伺ヒ致シマシタ所ガ、現行取引所ニ於テモ同様ナ規定ガアル、其ノ科刑ガ五千圓デアツタカラ之ヲ踏襲シタノダト云フ御説明デゴザイマシタガ、此ノ法案ガ現行取引所法ト内容ヲ同一ニ致スモノデアラナラバ、其ノ御説明ヲ必ズシモ不當トハ思ヒマセヌ、併シナガラ此ノ法案ハ實ニ國家ノ仕事ニ乗出スコトヲ規定シタモノデアリマス、隨テ其ノ役職員ハ亦實ニ重大ナル職責ヲ持ツ、然ルニ此ノ職責ニ違反シテ右様不正ナコトヲ致スト云フ場合ニ對シ、現行法ト同ジヤウナ罰金刑ヲ踏襲シタト云フノデハ納得ガ出來マセヌ、何故斯カル輕イ科刑ヲ以テ満足サレタカ、大臣ノ御所見ヲ承リタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 國家ノ經濟總力ヲ戰爭目的、其ノ他國家の目的ニ集中スル爲ニ、色々權力のニ強力ニ進メテ行カナケレバナラヌ必要ガ各方面ニ出テ來マシタ、何レノ方ニモ力ガナク、力ノ分散ニ依ツテ不正或ハ有害ナコトガ出來マイト云フ顧慮ノミデハ、一方積極のニ力ヲ有效ニ活動セシメルコトガ出來ナイ體制ニ相成リマシタ爲ニ、各方面ニ相當ノ權力ヲ持ツテ居ル者ガ法規上、事實上出來ルコトニ相成ツテ居リマス、是ハ戰爭體制ト致シマシテ必要ナコトダト思ヒマス、同時ニ左様ナ場合ニ於テ是ハ眞ニ國家ノ爲ノ必要ニ依ツテヤルノデアアル、是ガ賢明ナラザル爲ニ運用ヲ誤マルト云フコトガアツテハナラヌ、誠心誠意何ガ最善カト云フコトニ付キマシテ眞ニ努力シ、考ヘテ參ラネバナラスモノデアリマス、其ノ思慮及バズシテ間違ヒラナスコトモ私ハ宜クナイト思ヒマスガ、況ヤ私心ヲ挾ンデ權力ヲ濫用スルガ如キコトハ、實ニ御話ノ如ク憎ムベキコトデアルト思フノデアリマス、其ノ意味ニ於キマシテ斯カル立場ニ立チマシタ者ハ、眞ニ戒慎ヲ致シテ唯消極的ニ身ヲ持スルコト正シキノミナラズ、積極的ニヨリ正シカラシムコトヲ努メ、人ニモ努メサセテ行ク位ノ意氣込ニナラナクテハナラスト私ハ思ツテ居ルノデアリマス、御趣旨ノ點ハ私ハ最モ同感デアリマス、唯此ノ刑罰ノ量ニ付キマシテハ、他種ノ刑罰トノ權衡其ノ他カラ、司法省ノ専門家が主トシテ考ヘマシタモノデ、率直ニ申上ゲマスレバ、私ハモット是ハ強クテ宜イト思フノデアリマスガ、全體ノ専門的の見地カラ協議ヲ致シテ、斯ウ決マリマシタ譯デアリマス、ソレデハ如何ナル權衡カラ斯ウナツタカト御尋ネニナリマス、實ハ私ハ御答ヘ申上ゲル知識ヲ持ツテ居リマセヌ、必要ガアリマスレバ司法省、其ノ他カラデモ御答ヘ申上ゲタイト存ジマス、尙ホ一點念ノ爲ニ申上ゲマスルガ、今回ノ施策ハ凡ル方面カラ考ヘマシテ、出來ルダケ騰落ノ値幅ヲ少クスル、其ノ方向ニ全部集中シテ居リマス爲ニ、所謂之ニ乗ジテ儲ケル機會ヲ極メテ少クスルヤウニ總テノ施策ガ相成ツテ居リマス、從來ノ狀況ニ於テ機密ヲ握ツテ動クト云フヤウナ餘弊ノ場合ハ、全體ノ動キハ其

ノ點ニ於テモ餘程違ヒガアルト思ヒマス、併シサウ云フコトノ如何ニ拘ラズ、當初ノ目的ハ大體御話ノ通りデアリマシテ私ハ全然御同感デアリマス

○中井(一)委員 此ノ問題ニ付テ大臣カラ其ノ罪モット重クテモ宜イト思フトノ御言明ヲ得マシテ洵ニ満足ヲ致シマス、私ハ質問ヲ此ノ程度ニ止メテ更ニ機會ヲ得テ改メテ當局ニ質問致シタイト存ジマス

○古田委員長代理 吉田君

○吉田(敬)委員 大臣ニ御伺ヒ致シマスガ、只今清算取引所ノ御許可ニ相成リマスル大體ノ根本の基準ハ極メテ大量ノ取引ノアル場所ト云フ御話ガアリマシタガ、是ハ過去竝ニ現在ニ於テノ取引ノ狀態ヲノミ御考慮ニオ入レニナツタモノデアツテ、將來大量ノ取引ノアルヤウナコトガアツタ場合ニハ、ドウ云フ御處置ニ相成ルノデアリマセウカ

○賀屋國務大臣 サウ云フ點ハ長イ間ノコトヲ法律的ニ確定致シマスルト圓滑ニ參リマセヌノデ、法律上デハ場所ヲ明定致シマセヌデ、法律以下ノ運用ニ任セテアル次第デゴザイマス

○吉田(敬)委員 大臣ハ此ノ方面ニ於テ十分ノ御知識ヲ持ツテオイデニナルノデアリマスガ、極メテ大量ノ取引ト云フモノハドウ云フ要素ニ依ツテ出來テ居ルデアリマセウカ、唯東京、大阪ノ經濟實力ノミニ依ツテ此ノ大量ノ取引ガ出來テ居ルモノトハ私ハ信ジマセヌ、大臣ハ之ニ對シテ東京、大阪ノ經濟實力ニ依ツテ今日ノ大量取引ガ出來テ居ルト御考ヘニナリマス、各地ノ地方取引所カラ相當程度ニ於ケル資金ノ増大竝ニ建株ノ増加ヲ希望シテ居リマシタ

ガ、ソレハ根本方針トシテ殆ト禁止のナ制限ヲ受ケテ居リマスノデ、是デハ地方ノ經濟實力ト云フモノハ本當ニ正直ニ表現化スルコトハ出來ナイノデアリマシテ、依然トシテ東京、大阪ノ中心のナ方面ニ流レテ居ルノデアリマス、是ハ經濟實力ニ依ルニアラズシテ、行政的ナ實力ノ發現ニナツテシマフノデアリマス、隨テ將來大東亞共榮圈ヲ御考ヘニナリマス場合、國土のナ計畫ヲ御考ヘニナル場合ニ、私ハ過日ノ質問ニ於テ御尋ネシタノデアリマスガ、此ノ取引所ノ設置ト云フヤウナコトハ、唯過去竝ニ現在ノ實情ト云フコトヲ御考ヘニナルノミナラズ、將來ノ發展性ト云フモノヲ相當考慮ニ入レラレテ御考ヘニナルコトガ、適當ナル法ノ運用ヲ期スル所以デハナイカト考ヘルノデアリマスガ、將來性ニ付キマシテ大臣ハ運用ノ妙ヲ期セラルコトト存ジマステレドモ、大東亞共榮圈確立ノ意味ニ於キマシテモ、又今日中央ニ餘リ色々ノ文化的機關、經濟的ナ機關ガ中樞的ニ集中統合シテシマフコトハイカスト云フコトデ、大體國土計畫的ニ見テモ、地方分散的ニ御執リニナツテ居ルノデヤナイカト思ヒマスガ、斯ウ云フ點ト睨合ハセテ運用ノ妙ヲ期セララル御覺悟ガアルカドウカ、一應ノ御所信ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

〔古田委員長代理退席、委員長着席〕

○賀屋國務大臣 御話ノ如ク十分ニ將來モ考ヘマシテ運用ノ妙ヲ期スル必要ガアルト思ヒマス、唯他ノ工場、事業場トハ違ヒマシテ、需給ノ出合ヒ、ソレモ實物ヲ運搬セズシテノコトデアリマスカラ、成ベク需給ガ一ツ所ニ集中スル、少イ所ニ集中シマスル方ガ大勢ヲ現ハスノデアリマスカラ、無

論是ハ今申上ゲマサウニ日本ノ伸ビ上ル範圍ガ非常ニ廣クナル、只今マデノ考ヘ方ダケデハトモ行クモノデハアリマセヌ、其ノ點ハアリマスルガ、國土計畫的ニ考ヘマシテモ、他ノ鑛山トカ工場トハ多少趣ヲ異ニシテ考ヘルベキ事態モアルト思ヒマス

○吉田(敬)委員 其ノ點ハ御尤モト思ヒマスガ、併シ今日ノ實情ニ於キマシテ、唯總テ經濟的、文化的ナ機關ハ東京、大阪ノ中心地ノミニシマシテ、サウシテ地方的ナ發展性、國土計畫、便益、又地方住民ノ將來性ト云フコトヲ十分ニ御勘考ニナツテ、法ノ運用ヲ期セラレル場合ニ於テ、私ハ其ノ運營ニ付キマシテハ大臣ニ御信賴致シマシテ、唯希望スルニ止メテ置キマス

ソレカラ次ニ御伺ヒシタイコトハ、ドウモ私ハ先刻カラ承ツテ居リマス、是ハ意見ニ互ルカモ知レマセヌガ、實物取引ノミデ運用ノ妙ヲ期セラレルノデアリマセウカ、詰リ證券取引所ノ機構ノ萬全ヲ期スルト云フ意味ニ於キマシテ、私ハ實物取引ヲ補充スル意味ニ於キマシテ、證券ノ流通性ヲ圓滑ナラシメル意味ニ於キマシテ、需給ノ出合ヒヲ圓滿ナラシメル上ニ於キマシテ、又地方資金ヲ吸收スルコトヲ便宜ナラシメル上ニ於キマシテ、ドウシテモ是ハ補充的ニ清算取引ト云フモノヲ御認メニナルコトガ、取引所ノ眞ノ機構ヲ十分ニ發揮セシムル所以デハナイカト私ハ考ヘルノデアリマス、之ヲ全然除外シマシタル取引所ト云フモノハ、甚ダ片跛ナ、又自分ノ機能ヲ發揮シ得ザルモノガ出來マシテ、有名無實化スルヤウナ點ガアツタノデハナイカト思フノデアリマス、此ノ點ハ聊カ意見ニ互ルヤウニ存ジマステレドモ、兎モ角モ眞ニ此ノ立法ノ趣

旨ヲ御貫徹ナサル上ニ於キマシテ、苟モ經濟取引所ト云フモノハドウシテモ大事ダ、證券取引所ト云フモノハ大事ダト云フコトニナレバ、其ノ機能ヲ發揮セシメテこそ、初メテ法ノ目的ニ副フモノデヤナイカト存ジマスルガ、此ノ兩方ノ補充作用ト云フモノニ付キマシテ、大臣ハドウ云フ御考ヘデアリマスカ、御所信ヲ伺ヒタイノデアリマス

○賀屋國務大臣 今補充作用ト云フ表現デ御述ベニナリマシタガ、是ハ先刻私ノ申シマシタヤウニ、有價證券、特ニ株式ニ於キマシテハ單純ナル實物ノ出合ヒダケデハ公正ナ出合ヒガ出來ナイ、是ハ私モサウ考ヘテ居リマス、戰時下ト致シマシテハ凡ユル弊害除去ノ方策ヲ講ジテ、外國ノ如クデナク清算取引ノ場面ヲ殘シテ置キタイ、此ノ觀點ハ全ク御意見ト同ジデアリマス、然ラバ實物市場ガアリマスル何レノ場所ニモ清算市場ガナクテハイカヌカドウカ、是ハ又私ハ大分趣キガ違フノデヤナイカト思ヒマス、今日日本證券取引所トナツテ、實物市場ガ幾ラ殘ルカ、清算市場ガ幾ラ殘ルカト云フコトハ、私ハ清算市場ハ極ク少ク實物市場ハ比較的多イ、此ノ程度ニ申上ゲテ居ルノデアリマスガ、ソレデモ今ノ清算面ノ長所ノミヲ伸バセバ多イ程——ト云フコトニナルカモ知レマセヌガ、又弊害等モ考ヘマシテ、兎ニ角少數ノ場所ニ清算取引ガアレバ價格決定ノ全體トシテノ調節ハ是デ大體目的ヲ達スルノデヤナイカ、斯ウ考ヘマス

○吉田(敬)委員 實ハ先日カラ理財局長ニ御話ヲ承ツタノデアリマスガ、ドウモ清算取引ト云フモノヲ唯價格構成ノ一ツデア

ル、價格決定、公正ナ價格ヲ作り上ゲルト云フ點ニノミ非常ニ重點ヲ置カレマシテ、清算取引ト云フモノハ、價格構成ノ機能ヲ發揮セシメレバ、其ノ他ノ何物モナイヤウナ感じガ私致スノデアリマスガ、私ハ寧ろ公正ナル價格ノ決定、價格ノ公正ト云フ機能モ、重大ナル清算取引ノ一ツノ機能デハアリマセウケレドモ、同時ニ圓滑ナル資金ノ吸收デアリマストカ、需給ノ調節ト云フ點モ非常ニアルノデハナイカト考ヘルノデアリマス、此ノ點聊カ意見ニ互ルヤウデアリマスガ、價格ノ決定ダケナラバ、東京一本建デ宜イノデハナイカト私ハ考ヘル譯デアリマス、將來段々國土計畫ガ進行スルニ連レマシテ、地方ノ經濟實力ト云フモノモ相當伸ビテ來ルデアラウト思ヒマスカラ、サウ云フ方面ノ公正ナル意見ヲ、又評價ヲ相場ノ上ニ盛上ゲテ行クト云フコトモ、却テ本當ノ公正ノ價格ヲ形成スル所以デハナイカト思フノデアリマス、此ノ點ハ私ノ意見ニナリマスカラ、御參考ニ御含ミヲ願ツテ置キマス

次ニ御伺ヒシタイコトハ、過當投機ト云フ言葉デゴザイマスガ、ドウ程度ヲ指シテ過當投機ト仰セラレルノカ、御伺シタイト思ヒマス、常識的ニ唯暴騰暴落ト言ヒマスレバソレガ過當投機カノヤウニ考ヘマスガ、過當投機ト云フノハ何處ノ點ヲ指シテ過當投機ト言ヒマスカ、此ノ點ハ參考ニ是非御意見ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 過當投機ト申シマシテモ筋ヲ引張りマシテ、是カラガ過當投機、是カラガサウデナイト云フヤウナコトハ言ヘマセヌ、私ハ雲ノヤウナモノダト思ヒマス、

何處カラ入ツタカ分ラヌ、併シ雲ト云フモノハアル、是其ノ時其ノ時認定シマシテ、是レ以上上ルノハ上リ過ギル、是ハ下リ過ギル、其處ハ認定ヲ持ツテ行カナケレバナリマセヌノデ、ドウモ筋ヲ引イタヤウニ申上ゲル譯ニモ参リマセヌ

○吉田(敬)委員 御説洵ニ御尤モト思ヒマス、ソレデハ重ネテ御伺ヒ致シマスガ、此ノ過當投機ノ弊害ヲ恐レラレマシテ、地方ニ清算取引ハ成ルベクナラバ認メナイ、斯ウ云フ御話デアリマシタガ、是ハ先日來モ度々本委員會ニ於キマシテ御意見ノ出タコトデ、重複スルカニ存ジマスケレドモ、兎モ角モ今度ノ此ノ法案ニ依リマシテ、政府ハ非常ナ強力ナル監督權ヲ御持チニナル譯デアリマシ、又取引所員モ其ノ質ノ改善ヲ御圖リニナリスマシ、市場ノ金融ニ付キマシテモ強力ナル統制權ヲ御持チニナツテ居リマス、二重、三重、四重ノ監督權ヲ御持チニナツテ、而モ尙ホ極ク少數、一箇所——全部トハ申シマセヌガ、或ル程度ノ取引所ヲ表面御認メニナリマシテモ、其ノ過當投機化スルコトヲ、ソレダケノ監督權ヲ御持チニナツテモ監督シ得ナイト云フコトハナカラウト私ハ存ズルノデアリマス、又是ガ百箇所、二百箇所ニモナレバソレハ目ガ届カヌト云フコトモアリマセウケレドモ、大凡極ク少數ノ個所デアルトシマスレバ、是ハ十本ノ指ニ足ルカ足ラヌカノ範圍デモアリマスシ、殊ニ地方廳ニ對スル所ノ權限委譲デモナサレバ、尙ホ監督ハ十分出來ルノデヤナイカト思ヒマスガ、ソレダケノ監督權ヲ以テシテ尙ホ御監督ガ出來ナイト云フコトナラバ、是ハ私ハ行政ノ貧困ヲ意味スルモノデハナイカト斯ウ思フノデアリ

マス、此ノ點ニ付キマシテハ私ハ政府ノ悞レラレル程ノ弊害ハ將來起ラナイモノデヤナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、寧ロ眞ニ清算取引ノ長所アリトスレバ、先刻大臣モ仰セラレマシタ通り、其ノ缺點ヲ出來ルダケ矯メマシテ、長所ヲ成べく利用スルト云フコトガ私ハ賢明ナ策デアラウト思ヒマス、然ルニ餘リニ弊害ノ方ニ過敏ニナラレマシテ、其ノ長所ノ方ヲ總テ減殺スルト云フヤウナコトニナリマス、是ハ角ヲ矯メテ牛ヲ殺スト云フヤウナコトニナルノデヤナイカト、斯様ニ私ハ考ヘルノデアリマス、ソコデ是ダケノ監督權ヲ御持チニナツテモ、尙且ツ或ル程度ノモノヲ許可ナスツテ監督ガナシ得ナイト云フコトハアリ得ナイト思ヒマスガ、其ノ點ニ付キマシテ大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 今御話ニナリマスヤウニ中々難カシイノデアリマス、唯普通ノヤウニ規則デスウヤル、私ナラ私ガは何圓ニナツタラ上リ過ギルカラ、ソレ以上上ラヌヤウニシロ、ソナヤウナコトヲ言ツテ任シテ置クヤウナコトデハ迎モイケナイ、全經濟情勢、戰況、其ノ會社ノ事業トカ色々ナモノヲ睨ミ合ハセル、而モソレハ非常ナ加減ガ要ル點デアリマス、率直ニ申シマシテ中々地方廳ノ役人ナドニ此ノ運用ハ出來マセヌ、ソレデ大藏省デモ極メテ少數人間ヲ一心ニ勉強サセテヤラナケレバナリマセヌ、勉強サセテ刀ヲ振廻シタラ、大變ナコトニナルケレドモ、極メテ「デリケート」ナ問題ナノデス、色々ナ所ニ影響ガアリマスノデ、極メテ公平ナ、先程中井君ノ御話ニナツタヤウナ立派ナ氣持ヲ持チマシタ上ニ、必要ナ基礎的知識ノ上ニ、纖細ナ感觸

ヲ持ツテ行カナケレバナラヌモノデアアル、大體前申シマシタヤウニ、前世界大戰デモ、今次戰爭デモ清算取引ヲ止メサセルト云フカ、止メザルヲ得ナイ、日本ノミガ取引所ヲ今マデ置イテ來タ、他ノ國ハ皆止メテ來タ、實物ダケヲ許シテ皆株式ノ賣買ヲ止メテ居ル狀態デアリマス、戰爭ノ時ニハ總テ身輕ニナラナケレバナリマセヌノデ、清算取引ヲサウ云フ所ニ置クノハ、寧ロ私ハ最善ノ策デナイカラ、何トカ主ナモノダケハ殘シテ置ク、併シナガラアトハ全部餘弊ガナイヤウニ持ツテ行カナケレバナラヌ、是ハ一寸以前ニ本會議デアリマシタカ申上ゲタコトガアルト思ヒマスガ、唯過當投機——上リ過ギタカライカヌ、下リ過ギタカライカヌト云フ問題デハナイノデス、戰時ノ全經濟面ガ是カラ崩レルカ崩レヌカト云フ問題ナンデス、戰時ニハ何トシマシテモ金ガダブツイテ、物が足りナクナルト云フノガ大勢デアリマス、ソコデ所謂換物運動、惡性「インフレ」ト云フモノガ起ル、前世界大戰ニハ皆是デ失敗シマシタ、今度ハ漸ク各國トモ——ソレ以來人智モ進ミ、經驗モアリマスカラ、私ハ日本モ餘程巧キヤツテ來タ積リデアリマス、又此ノ戰爭ガ起ツテ、「ドイツ」「イギリス」米國、向フヲ見マシテモ中々巧キヤツテ參ツテ居ル、是ハ實ニ大キナ穴デアリマシテ、一タビ是ガ換物運動ニ發展シテ來ルト是ハ騰落ト云フ問題デナク、全經濟面ノ崩壞問題ノ端ヲ發スル、私ハ是ダケハ萬全ナ注意ヲ以テ行キタイ、株式ノ清算市場ヲ許シナガラ、ソレヲヤラウト云フコトハ、或ル意味ニ於テ大膽ナル處置デアリマス、併シ敢テヤラウト思ヒマスカラ法規的ニハ最低最高價格ノ權能ヲ持チマスシ、所

謂實彈ヲ以テ賣買ヲスル用意モスル、サウシテ取引所内ノ機構ニ付キマシテモ十分必要ナ手ヲ入レルノデアアル、中々是ハ他ノ際ニモ申上ゲタノデスガ、一ツ斯ウナツテ居レバ宜イト云フモノデハナイノデス、凡ユル方面カラドラニモ完璧ニ動ケル、而モソレハ押ヘル一方デナク、軟カニ押ヘナガラ物ヲ制シテ行ク、洪水デモ眞正面ニ打突ツテ押ヘルノハ、私ハ最下ノ策ダト思ヒマス、最高價格、最低價格ナドハソレデアリマス、其ノ前ニ水ヲ自然ノ方ニ、害ガナク流レル方ニ、水勢ヲ作用サセテ行ク、此ノ作用全體ノ地形ヲ相シマシテ、流ス方向ヲ考ヘ、堤防ヲ考ヘ工事ヲ考ヘ、サアト云フ時ニハ何處ヘ放流スルカト云フコトヲ考ヘ、ソコデ治水工事が本當ニ出來ルノデアリマス、私ハ株式ノ操作モ、其ノ位ニ全面的ノ用意ヲシテ行クト云フヤウナ觀點デ考ヘテ居リマス、斯ウシタカラ此方ハ大丈夫ダト云ツテ中々私ハソレデ安心シマセヌ、是ハ凡ユル角度カラジツテ持ツテ行ク積リデ、色々ナ施策ヲ考ヘテ居リマス

○山本委員長 田中君

○田中(藤)委員 中井委員ノ質問ノ中デ一點ダケ漏レタ點ガアリマスノデ、大臣カラ御伺ヒシタイト思ヒマス、ソレハ第十九條ニ官吏ヲ入レル御意思ガアルカドウカト云フコトデアリマス、ト申シマスノハ日本證券取引所ノ役員ガ相場ヤルコトハイゲナイ、ヤレバ嚴罰ニ處スベキデアルト云フコトハ先程大臣ノ御答辯ノ通りデアリマス、現在ノ刑ガ輕キニ失スルノデハナイカト云フ感サヘアルト云フ點ニ於テ私共全ク同感ナノデアリマス、ソコデ官吏ガ此ノ取引ヲヤツタ場合、或ハ資金ヲ供與シタ場合其ノ他取

引員トノ間ニ利害關係ヲ持ツタ場合ニ於テ
罰スル規定ガナイ譯ナンデス、官吏ノ服務
紀律ニ依ツテ罰セラレルコトハ當然ダト思
ヒマスガ、ソレダケデハドウカト思ヒマス、
法律ハ永遠デアリ人ハ短イ、ソコデ永遠ノ
法律ヲ決定スル場合ニ於テハサウシタ官吏
ガ利害關係ヲ持ツヤウナ穴ヲ置イテハイケ
ナイノデハナイカ、即チ外形的ニサウシタ
官紀ヲ正スベキ規程ガアツテ宜イノデヤナ
イカト云フ氣ガ致シマス、況ヤ今日現在ニ
於キマシテハドチラカト云フト、闇ノ横行
ニ依リマシテ動モスレバ國民道義ガ案レン
トスルヤウナ傾向ニアリマス、此ノ時ニ於
テ官吏自ラガ律スルニ嚴ニシテ、以テ官紀
ヲ正スト云フトハ國民道義ヲ確立スル所
以ダト思フノデアリマス、斯様ナ意味合ヒ
ニ於テ自ラ官吏ガ律スルニ嚴ナルコトヲ示
スト云フ建前ニ於テ、此ノ十九條ニ官吏ヲ
御入レニナル御意思ガアルカドウカト云フ
コトヲ御伺ヒシタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 結論ヲ申上ゲマス、私
ハ命令ヲ以テ官吏ヲ指定スル意思ヲ持ツテ
居リマセス、然ラバ官吏ニ寛アルカト云
フト、決シテ左様デナイ、官吏ガ斯ウ云フ
コトデ問題ヲ起シマスヤウナコトデハ到底
私ハ今ノ日本ハヤツテ行ケナイト思ヒマス、
之ニ關係致シマス者ハ大藏省ノ中デモ極ク
少數ノ中樞部ニ居ル官吏デアリマス、私モ
考ヘマシタガ、之ヲ入レル積リナラバ初メ
カラ其ノ他命令ヲ以テ定ムト致シマセヌデ、
チャント名前、官名等ヲ擧ゲテ規定スルノ
ガ本當ナノデアリマス、其ノ他命令ヲ以テ
定ムト云フノハ是ハ詰リ取引所ノ關係者、
ココニ擧ゲテ居リマス者以外ノ者デ同様
ノ禁止ノ必要アルモノ一切ヲココニ法文ノ

上デ盛ルコトハ困難デアリマスカラ、是ダ
ケヲ擧ゲタヤウナ譯デアリマス、是デ規定ス
ル位ナラバ私ハ官吏ヲ頭カラ擧ゲテ行キタ
イ、實ハ此ノ時モ考ヘマシタガ、現在ハ増
資ヲ許ス、會社ノ新設ヲ認メル、經理統制
令デ配當ヲドウスル、實ハ株價ノ非常ナ大
キナ變動ヲヤルヤウナコトハモウ既ニ政府
ノ責任デヤツテ居リマス、官吏ニ扱ハセテ
居リマス、實ハ是ヨリモツト大キナ、株價
ノ變動ヲ起スヤウナモノモ出デ居リマス、
私共實ハ小乗的ニ申シマスレバサウ云フ問
題ニ携ハルコトハ消極的ニ云ヘバ君子危キ
ニ近寄ラズデアリマスガ、併シ今ノ日本ノ
經濟ヲヤツテ行ク場合ニ於テハ斷乎トシテ
危クモテ出ナケレバナラス、ソレダケノ意
氣込ミヲ持ツテ、サツキ中井君モ仰ツシヤ
ツタヤウニヤツテ行カケレバナラス、本
當ニ官吏ガ、サウ云フ意氣込ミデ眞面目ニ
ヤツテ行クト云フトコトデナケレバ到底イカ
ヌ時代デアリマスカラ、寧ろ是ハ法ニ規定
セラル以外ニ道義的ニ全責任ヲ持ツテ行
カウ、其ノ氣持ハ法デ縛ラレルヨリモツト
切實ナル氣持デ行カウ、斯様ニ考ヘテ居リマ
ス、然ラバ何故ニ十九條デ斯ウ云フ規定ヲ
置イタカト云ヘバ、是ハ從來斯ウ云フ經濟
事情ニ關係致シテ居リマス方面ハ古イ意識
ト申シマスカ、兎角民間人ト云フモノハ前
ノ自由經濟時代ノ頭デ動イテ居ル、現在有
識者ノ中ニハ時局ノ見透シノアル人モアリ
マスガ、何ト申シマスルカサウ云フ傾向モ
アリマスカラ、是ハヤハリ法律ニ規定ヲシ
テ行ク方ガ宜シイ、斯ウ考ヘマシテ取引所
關係等ニハ規定ヲ置キマシタガ、官吏ニ付
キマシテハ右申上ゲマシタヤウナ考ヘ方ヲ
致シテ居リマス

○田中(藤)委員 御答辯ノ趣旨ハ諒解致シ
マシタガ、第八十七條ノ所謂秘密漏洩ニ付
テハ當該官吏ガ含マレテ居ル譯デアリマス、
所謂法律ヨリモ道義ダト云フ點ハ洵ニ其ノ
通りデアリマス、寧ろ斯ウシタ規定ガナク
トモ道義ニ依ツテ、官紀嚴肅ニ依ツテ行ハ
レルコトハ吾々ガ希望スル所デアリマス、
併シナガラ往々ニシテ多數ノ役人ノ中ニハ
一人、二人ノ過チガアリ得ルト思フ、現ニ
昭和十六年、十七年ノ司法省刑事局ノ統計
ニ依リマス、遺憾ナガラ本省關係ニ於テ
ハ大藏省ノ起訴、收賄ノ吏員ガ一番多イ、
斯ウ云フトハ言ヒタクゴザイマセヌガ、
斯ウシタコトガアリマスル以上ハ、永遠ヲ
保證スル法律ニ於テハ其ノ點ヲ嚴ニ正サナ
クチャナラナイノデハナイカト思フノデア
リマス、此ノ點ニ付テ更ニ大藏大臣ノ所見
ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 只今御述ベニナリマシタ
大藏省ノ本省ガ一番收賄其ノ他ガ多イト云
フノハ或ハ誤リデヤナイカト思ヒマス、先
ヅソレハ兎ニ角ト致シマシテ私共ノ考ヘ方
ハ今申シタ通りデアリマス、是ハ私ノミナ
ラズ、誰ガヤリマシテモ私ノヤウナ考ヘデ
ヤラナケレバ今後イカント思ヒマス、御説
モ尤モナ點モアリマス、一理アルト申シテ
ハ言ヒ方ガ失禮カモ知レマセヌガ、相當理
由ガアルト思ヒマス、是ハ御意見トシテ承
ツテ置キマスガ、私ハ今申上ゲタ意氣込ミ
デ參リタイト思ツテ居リマス

○田中(藤)委員 私ハ此ノ程度デ質問ヲ打
切リマス

○山本委員長 中村君

○中村(三)委員 甚ダ遅ク恐縮デスガ、一
昨日理財局長ト私トノ質疑應答ニ依ツテ私

ノ聽カントスル所ハ大體輪郭ハ明カニナツ
テ居リマス、併シナガラ政府委員デアリマ
スカラ言ヒ切レナイ所モアツタラウト私ハ
思フ、又アツタノデス、ソコデソレ等ノ點
ニ關シマシテ大藏大臣ノ所信ヲ伺ツテ置キ
タイノデアリマス、取引所改革ト云ツタギ
ウナ大キナ仕事ハ國家經濟ノ全機構ト云フ
モノガ國家目的達成ノ爲ニ改革サレテ行ク
ト云フ其ノコトニ依ツテナシ遂ゲラレテ行
クノデアリマス、即チ計畫經濟ガ高度化シ
テ來ル、ソコニ取引所改革ト云フモノハ圓
滑ニ行ク、斯ウ云フ順序ニナルガラウト思
フ、即チ取引所改革其ノコトダケデヤツテ
ハ、是ハ手ヲ燒イテシマフ、即チ自由經濟
ト云フモノガ次第ニ時代ノ要請カラ遠クナ
ツテ來テ、計畫經濟ト云フモノガ進捗シテ
來タ、其ノ刹那ニ茲ニ取引所改革ト云フモ
ノガ出來ル、是ハ大藏大臣ノ勇斷デアルト
同時ニ、時代ノ要請ガ今日ノ取引所改革ヲ
シテ非常ニ圓滑ニシテ居ル、取引所改革案
ガ發表セラレテモ、取引所ハ之ニ合ツテ行
ク調子ヲ今現ニ示シテ居ル、是ハ時期モ得、
又當局ノ決意モ得タモノデアルト信ジマス
ルガ、將來日本ノ計畫經濟ガモツト高度化
シテ行ク、現在ハ不完全、矛盾拙劣ガ多イ
ト云フトハ、私共屢、指摘スル通りデアリ
マス、ソコデ日本ノ計畫經濟ガ高度化シテ
行クト云フ場合ニ於テ、此ノ取引所改革案
ガ更ニ又意義ヲサナクナル、他ノ言葉デ
申シマスナラバ、改革サレタ取引所ガ更ニ
弱體化シテ行ツテ物ノ役ニ立タナイト云フ
コトニナラザラ得ナイト思フ、然ラバ第
二次改革ト云フモノハ免レナイ、隨テ日本
ノ此ノ計畫經濟ノ進ミ方ト、此ノ取引所ト
云フモノトヲ、ドウ云フ風ニ步調ヲ合ハセ

テ行カレルカ、現段階ニ於テハ此ノ程度ノ改革ヲ宜シ、併シナガラ次ノ段階ガ進歩シタ時ニハ、尙ホ相當思切ツタコトモ必要デアルノデアルマイカト云ツタヤウナ考ヘ方ニ付テ、私共ハ大藏大臣ノ所信ヲ明カニシテ戴キタイノデアリマス

○賀屋國務大臣 只今中村君ノ仰セニナリマシタコトニ對シテハ、當分ハ是デ宜シイト思ツテ居リマス、端的ニ言ヘバ一定不動ノ價格デ宜シイト云フ時代ガ來ルカ來ナイカ、何トモ私ニハ分リマセヌ、サウデナイ以上ハ斯ウ云フ組織ガ一番良イト思ツテ居リマス、隨ヒマシテ本案ノ彈力アル範圍内ニ於テ、十分ニ運用シテ參リタイト思ヒマス

○中村(三)委員 サウスルト大藏大臣ハ現段階ニ於テハ、株式ヲ公債化スルヤウナ觀念ハナイ、モツト彈力性アルモノトスル、斯ウ解釋シテ宜シイノデアリマスカ

○賀屋國務大臣 私ハ株式ヲ公債化スルト云フ考ヘハ持ツテ居リマセヌ

○中村(三)委員 問題ハ將來コナンデス、ダカラ現段階ニ於テハ今ノ程度ノ御改革ニナル、私ハ今日ノ日本ノ經濟界ノ段階ニ於テ、今日ノ改革案ト云フモノハ、一面カラ見レバ微溫的ニ見エルガ、或ル意味ニ於キマシテ、實情ニ即シテ居ルト云フ批評モ出來ルト思ヒマス、其ノ意味ニ於テ此ノ法案ハ先ヅ適當ナモノト云ツテ宜シイ

更ニ進シテ大藏大臣ノ御所見ヲ伺ハナケレバナライコトハ、適當投機ヲ抑制スルト云フコト、サウシテ只今仰セザレタヤウニ値巾ヲ縮少シテ行キタイ、ココラガ狙ヒ所デアリマセウ、適當投機ヲ抑制スルト云フコトナラバ、現在ノ取引所ノ制度、斯

ウ云ツタヤウナモノガ適當投機取引ヲ助長スル制度デアルト私ハ思フ、其ノ適當投機ヲ助長スル制度ヲ、今回ノ法案竝ニ今後ノ大藏省ノ對策ニ依ツテ、切開シテ行カナケレバナライ、中ニハ痛ミタイモノノガアルカモ知レナイガ、出來ルダケ之ヲ切開イテ行カナケレバナライ、此ノ點當所株上場ノ制度ヲ禁止スル、田中政府委員ノ答辯ノ如ク、自肅的ニ各取引所ハ三月一日カラ之ヲ上場シナイト云フコトニナツタ、是ハ一ツノ適當投機ノ集中スル痛ヲ切開シタノデアルガ、是ダケデ宜イカドウカ、私ノ間ハントスル所ハ茲デアリマス、マダ外ニ現在ノ取引所ニ於テ適當投機ノ集マル所ガアル、助長スル原因ノモノガアル、其ノ一、二ノ例ヲ申上ゲマスレバ、早受渡シノ制度乃至ハ代用證券制度ノ如キモ、私ハ例ニ擧ゲテ宜シイト思フ、私バカリデハナイ、世間ノ研究者ハ之ヲ擧ゲテ居ル、當所株上場ヲ廢メサセラレタト同時ニ、今例ニ擧ゲタヤウナ制度モ廢メサセラレカドウカ、之ヲハツキリシテ戴キタイ

○賀屋國務大臣 株式ガ一番難カシイノデアリマシテ、清算取引ノ必要デアル、同時ニ餘弊ガアル、ソコデ吉田君ガ先刻御話ニナリマシタガ、清算取引ノ惡イ方ヲ強ク考ヘ過ギマス、角ヲ矯メテ牛ヲ殺サスマデモ、牛ガ二進モ三進モ動カヌヤウニナツテシマフト云フコトモアリマス、是ハ一方ニ偏ツテ考ヘニクイ所デアリマス、限月問題ニシマシテモ、今ノ早受、早渡ノ問題ニシマシテモ、小口落ノ問題ニシマシテモ、是ハ色々世間説モアリマスルガ、俄カニ之ヲ早く斷定スルト云フコトハ、私ハ宜シクナイト思ヒマス、私モ色々考ヘテ、今自分ノ

傾向ヲ言フト、是ハ廢メテシマヒタイ、是ハ斯ウシタイ、是ハドノ程度ニシタイト色々考ヘテ持ツテ居リマスガ、皆兼合ヒノ問題デアリマス、相當思切ツテ改メル方面モ考ヘテ居リマスルガ、サウ云フ問題デアリマスカラ、法案ノ上ニハ皆之ヲ限定致シマセヌデ、必要ニ應ジマシテハ委員會等ニ諮問シマシテ、能ク慎重ニ考究シマス、但シ慎重ニ考究スルト申上ゲマスノハ、世間デ言フヤウニ微溫的ニスルト云フ代名詞デ申上ゲルノデハナクテ、ヤル所ハキツパリヤリタイト思ツテ居リマス

○中村(三)委員 今大臣カラ私ノ聽イタコトニ對シテハツキリ御答ヘニナルト、影響ガアルコトハ分リマスガ、私ハハツキリヤルト云フ決意ヲ貫徹シテ貫ヒタイ、サウデナケレバ此ノ改革案ト云フモノハ死ンデシマフ、私達ハ此ノ改革案ニ何故ニ贊成スルカ、アナタノ手ニ於テ生カサナケレバイケナイ、私共ハ熱意ヲ以テ此ノ法案ヲ希望シテ居ル、ドウカ一ツサウ云フ風ニ御進ミ願ヒタイト思ヒマス

ソレカラモウ一ツ私ハ大藏大臣ノ率直ナル所ヲ聽イテ置キタイノデアリマス、短期取引ヲドウスルカ、短期取引ノ今日ノ運用ヲ見テミマス、種々ナル缺陷ガアル、世間之ヲ評シテ万年取引ト云ツテ居ル、ナゼ万年取引ト云フカト段々聽イテ見ルト、乗替制度ガアツテ、其ノ爲ニ万年取引ヲサレテ居ル、之ヲドウシテ行カ、短期取引ニ付テ大藏大臣ハ廢メラレラカ、運用ヲ改善セラレラカ、是位ハハツキリセラレナイトチツトモ分ラナイノデス、適當投機ヲ抑制スルト仰シヤラナラバ、今言フ其ノ制度ノ切開ヲナサラナケレバイケナイノデスカラ、

是ハ或ル程度仰シヤツテ戴キタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 其ノ點モ前ニ御答辯致シマシタノ範圍内ニ入レテ置イテ戴キタイト思ヒマス、ヤルモノハキツパリヤリマス

○中村(三)委員 私ハ大藏大臣ヲ信ジテ置キマス

ソレカラ私ハ是モ田中局長ハ消極的ダト思フノデスガ、一ツ大藏大臣ニ御考ヘ願ヒタイコトガアルノデス、ソレハ株式會社ト云フモノハ上場セラレテ居ルモノハ別ト致シマシテ、株式會社ト云フモノガ何ガ故ニ創意ガ發揮サレルカ、何ガ故ニソコノ業績ノ向上ニ努メルカト云フ一點ハ、上場セラレタ株式會社ノ株券ト云フモノガ公定相場ニ依ツテ公ニ批判サレテ居ル、上場セラレタ株式會社ノ自己ノ株ガ公定價格ニ依ツテ批判サレテ居ル、ウツカリシテ居レバ下ゲラレル、成績ガ惡ケレバドンナ批判ヲ取引所ニ於テ受ケルカ分ラナイ、斯ウ云フコトニ依ル刺戟ガ株式會社ヲシテ業績ノ向上セシメル大キナ原因ダラウト私ハ思フ、然ルニ此ノ國策會社ノ一部——國策會社デモ一流ノモノハ上場セラレテ居リマスルガ——國策會社ノ一部ダノ、或ハ又統制會社デアルトカ或ハ營團、金庫、私ハ斯ウ云フヤウナモノノ株式、社債、債券類ハ取引所ニ上場スレバ宜イト思フ、何故ナラバ以前ノ取引所ナラバ、是ハ大藏大臣ノ言ハレル適當投機機關デスガ、今回ハ大藏大臣ノ言ハレル如ク、公ノ國家ノ機關デアリ投資ノ機關デアルト云ツテ居ラレル、然ラバサウ云フモノヲ上場ナスツテ、ソレガ相場ヲ通ジテ批判ヲサレテ行クト云フコトガ、世間ニ兎角噂セラレレル、又非難セラレレル、斯ウ云フ國策

會社トカ、統制會社トカ、營團、金庫ノ成績ガ舉ガラナイト云フ點ヲ、寧ロ私ハ舉ゲテ來ルンデヤナイカ、斯ウ云ツタヤウナコトモ私ハ必要デヤナイカト思フ、何故ナラバ今回ノ改革ニ依ツテ投資機關ニナルノデアリマスカラ、私共ハ斯ウ云フ上場シテモ宜シイ——斯ウ云ツタヤウナコトハ新機軸デモナイガ、是ハ私共ハ考ヘテ斯ウ云フヤウナコトヲセラレコトガ、國策會社デアルトカ其ノ他ノ統制會社等ノ業績ヲ舉ゲルコトニナルト思フノデアリマスガ、是等ニ付テモ何カ新工夫——私ソコマデ生意氣ナコトハ申シマセヌガ、御考ヘガアルベキデヤナイカト思フノデス

○賀屋國務大臣 ソレハ確カニ一ツノ御着眼デアラウト存ジマス、唯營團ノモノデアリマシテ、配當率ガ決マル、殘餘財産ハ假令所謂經濟的ニ業績ガ良クテ資産ガ殖エマシテモ、政府ニ歸屬スルト云フヤウナモノハ、株式市場ニ於ケル批判ノ對象ガ寧ロナイ譯デアリマシテ、サウ云フモノハ業績ガ良クテモ市價ニハ現ハレヌ點ガアル、國策會社ナドデ現ニ相當上ツテ居ルモノガアリマスガ、サウ云フ風ニ所謂業績ト云フモノハ殘餘財産及ビ配當、社內蓄積ハ結局殘餘財産ニナリマセウガ、サウ云フ風ニ經濟的批判ノ的ニナリマスモノハ確カニ御話ノヤウニ着眼サレル點ダラウト思ヒマス、唯、一方民間デ持ツテ居リマシテ、賣買ノ對象ニナリマス株ノ目的物ガ餘リ少イヤウナ場合ニハ、又一寸不適當カト思ヒマス、實際ノ其ノ國策會社等ノ今申上ゲタヤウナコトニ關聯シタル狀況カラ判斷ヲシマシテ、上場スベキモノハ上場シテ行キタイト思ヒマス

○中村(三)委員 私ハは一ツ御研究ニナツテ上場シタル宜イト思フ、何故ト云フト、此ノ頃ハヤレ人的資源ガドウトカ、國策會社統制會社ノ人間ガ何處其處ノ出身デアルトカ、或ハ月給ガドウトカ云フ議論ガアル、私ハ其ノ議論ヲ惡イトハ言ハヌ、併シ其ノ議論ヨリモ、今言フ大キナ所デ國策會社トカ統制會社トカヲ批判ヲサシテ、本當ノ實力ヲソコニ發揮サセル丁度好イ機會デアルト思フ、今回ノ改革ニ依ツテ取引ノ公共機關ニナルカラ、是ハ私モマダ考ヘガ足ラヌト思ヒマスガ、當局ニモ御考ヘヲ願ツテ置キタイ

居ラレルモノモ亦同ジモノデアリマスガ、最近個人ノ持ツテ居ル所ノ公債ノ割合ト云フモノハ相當多クナツタト思ヒマス、公債所有別ヲ見マシテモ多イ、是ハ理財局長タル田中政府委員ハ御承知ダラウト思フ、私ハ之ヲ稱シテ或ル點ニ於テ手放シ得ル浮動のナ公債ト言フ、是ノ行方ヲ何處ニシテヤルカ、現在何カ臨時資金調整法ヲ御變ヘニナツテ、公債トカサウ云フモノヲ——國庫證券デスカ——アア云フヤウナモノヲ公定價格ヲ拵ヘ、公債ハ買ツタガ金ニ詰ツタカラ、質屋ニ持ツテ行ツテ二束三文ニ叩カレルコトヲ防ガウト云フ御考ヘガアルヤウデスガ、何處デ公定價格ヲ御定メニナルカ、私ハ斯ウ云フヤウナモノハヤハリ國債消化機關ト云フモノカラ出來ル、所謂取引所ニ於ケル國債市場ニ現ハレタ公定價格ヲ以テ一ツノ標準トセラレヤウナコトニナサル必要ガアルデハナイカト思フ、此ノ意味ニ於キマシテ、國債市場ト云フモノヲ擴大強化スル、其ノ新取引所ノ新シイ使命ヲドウシテ御與ヘニナルト云フ御考ヘガアルカ、又其ノ對策アリヤ否ヤ、此ノ點ハ大藏大臣御答ヘ下サツテモ差支ナイコトダラウト思ヒマス

マスト、三分半九十八圓、是ハ餘程前ノ話デアリマス、大分好クナツタ、之ヲ九十八圓五十錢デ發行シテ見タラドウカ、サウシテ見レバ、是ハモウ實賣買ハ一枚カ二枚カ三枚シカナイ、百枚アツタラ直グニ三圓下ル、現在國債ニハ餘リ大キナ賣買ハ少イノデアリマスカラ、是ハ私ハ寧ロ取引市場ニ於ケル相場ニ依ラナイデ、モウチヤント九十八圓ナラ九十八圓ト、償還期日ニ近クナレバナル程、ソレガ其ノ割デ上ル、別ノ言葉デ申セバ、大軍ヲ進メル者ハ一時ノ利不利ニ動カナイ、今後年幾ラノ公債ヲ發行シテ何十年ヤツテモ、價格ガ堂々ト眞直グ行ツテ、一時ノ好イコト一時ノ惡イコトハ總テ同様ニ排スル方針デアリマス、ソレデ民衆カラ買上ゲマスル國債ニ付キマシテモ、是ハ民衆カラノ賣買等ノ際ニ償還期日マデノ期間等ニ依ツテ、餘リ細カク發行價格ト其ノ額面トノ差トヲ計算シマスコトガ、民衆ノ賣買ニ不適當デアリマスカラ、コラヲ人爲的ニ或ル區切デ計算シ易イ方法ヲ執ラウト思ツテ居リマス、ソレデ價格ノ構成ニハ、今申上ゲマシタヤウニ取引所ヲ用ヒル考ヘハ毫モアリマセヌ、唯賣買等ニ付テハ出來ルダケハ利用シテ行キタイ、併シ第一ハ是ハ株ニ於テ使命ヲ果スコトガ主デアリマス、清算取引市場ガ健全ニナリ、實物市場ガ旨ク運営サレ、其ノ次ト申シマスガ、ソレト並ブト申シマスガ、株式ノ引受、或ハ株式ノ引受ニ代ルヤウナ募集ノ取扱、ソレニ代ルヤウナ賣買、斯ウ云フ方ノ機能ヲ十分盛シマシテ、サウシテ次ニ全國ノ現物賣買ノ總纏メニナル、斯ウ云フ株式關係ヲ一番力ヲ入レテ行キタイ、ソレト同時ニ併用シテ行ク面ニ於テ、社債、國債ニ相當ノ貢獻ヲシ得ルヤウニナシタイ

ト思フノデ、ヤハリ第一義ハ株式ニ置イテ
参リタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○中村(三)委員 今ノ國債ハ裸相場ヲ中心
ニ市場デヤツテ居ルヤウデアリマスガ、餘
リニ狹過ギテ效果ハアルカナイカ分ラナイ、
極端ニ言ヘバサウナル、店頭賣買バカリデ
ス、是ハイケナイ、私ハモウ少シ善導サス
必要ガアルト思フ、案ハ私見ニナルカラ申
上デラレナイガ、兎ニ角新シイ改革ガ出來
テ、取引所ト云フモノハ從來ノ過當投機機
關デハナイト云フコトニナツテ、斯ウ云ツ
タヤウナ國策的的使命ヲ一ツ與ヘテ、取引所
ト云フモノノ使命ヲモツト向上サスト云フ
コトモ考ヘラレナケレバナナイコトデア
ルト思フノデアリマス

最後ニ一言此ノ法案ニ付テ、今ノ大藏大
臣ノ御説ニ關聯シテ私ノ考ヘヲ申上ゲテ置
キマス、吾々ニ示サレタル案ニ對シ、大臣
初メ政府委員ノ御答辯ト云フモノハ、突込
ンデ來レバ隠サレテシマフ、現ニ取引所令
ト云フモノヲ御出シニナツテ、森永君ノ非
常ナ時間ノ御説明、私ハ其ノ勞ヲ多トシマ
スガ、本當ノ肝腎ノ所ハ出テ居リマセス、
是ハ私率直ニ申上ゲル、ソレハ出シ得ラレ
ナイデセウ、ソレハ私ハ分ル、大藏當局ガ
此ノ今日ヲ控ヘテ慎重ナル態度ヲ執ラナケ
レバナラヌト云フコトハ分ル、併シナガラ
私ハソレデ分リマスガ、澤山ノ委員ノ中ニ
ハモツト徹底シタコトヲ聽キタイト云フ御
方ガアルノデハナイカト私ハ思フ、此ノ點委
員長モ大藏大臣モ深ク御考ヘニナラレンコ
トヲ希望スルノデアリマシテ、何等カノ方
法ニ依ツテ或ル程度御話ニナラント、唯紙
ニ書カレタ表面ダケノコトヲ吾々ハ知ルダ
ケデ、此劃期的ナ改革案ニ賛成セヨトハ、

吾々トシテハ寧ロ十分職責ヲ盡シタトハ自
ラ言ヘナイ、ドウゾ此ノ點私ノ率直ナル意
見ヲ申上ゲテ、御考慮ヲ煩ハシタイ

○山本委員長 ソレデハ本日ハ是ニテ散會
致シマス、次回ノ委員會ハ公報ヲ以テ御知
ラセ致シマス

午後五時三十四分散會